Canon

PUB. DIJ-298B

HDビデオカメラ

iVIS HG21

使用説明書



iVIS を使って

楽しく作ろう!! 思い出ライブラリー

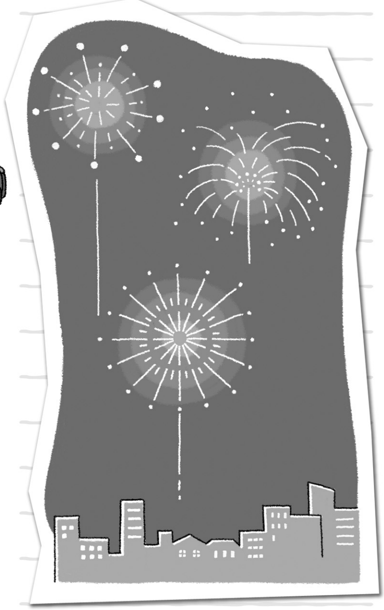
赤ちゃんが初めて歩いたときの感動。
一等賞をもらったうれしそうな笑顔。
ドーンと響く夏の夜の大輪。
心をくすぐる瞬間をiVISに収めましょう。



スペシャルシーンを撮る

花火も鮮やかに……………… 54

夏の夜を彩るワンシーン。
夜空に咲く花火をキレイに
表現します。



テープとはココが違う！ ハードディスクはスゴい!!

1 大容量で残量を気にしない……………… 10

大容量120GBの内蔵ハードディスクに、最高画質のMXPモードで約11時間撮影可能。残量を気にせず、買ったその日から家族の笑顔が残せます。

大切な一瞬を収める
写真も撮れる …… 112

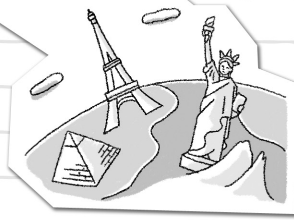
ビデオで撮った決定的瞬間を、あとから写真にできます。



世界の電圧/周波数に対応
海外でも安心 …… 176

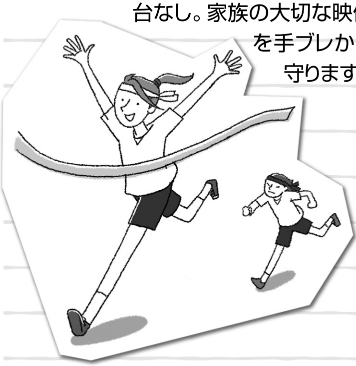
変換プラグがあれば、どこでも充電可能です!
一部の国ではテレビで見られます。





光学式手ブレ補正
手ブレも恐くない …… 78

感動的な映像もブレては台なし。家族の大切な映像を手ブレから守ります。



シネマエフェクトを使う
映画風に撮る …… 58

旅先での印象的な場面。映画のようにしっとりとした雰囲気で撮影しましょう。



2 重ね撮りの心配がない

撮影した映像は、記録メディアの空いているところに記録されますので、誤って重ね撮りして大切な記録を消してしまうおそれがありません。

3 一覧画面から一発再生 …… 39

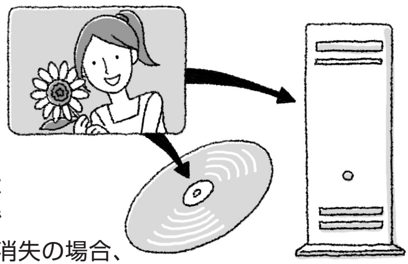
見たいシーンを探すとき、テープのように巻き戻し、早送りで頭出しする手間は一切不要。インデックス画面からパッと選んで一発再生です。

4 パソコンで保存や編集

ImageMixer 3では動画、DIGITAL VIDEO Solution Diskでは静止画のパソコンへの保存や管理などができます。詳しくは各ソフトウェアの説明書をご覧ください。

ハードディスクを使うときに知っておいていただきたいこと

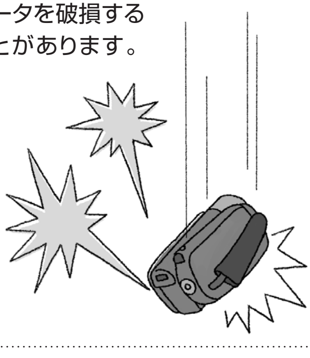
撮影したデータは**必ずバックアップ**してください



万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータはパソコンやDVDなどにこまめに、重要な撮影後は必ずバックアップしてください。データ消失の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

振動や**衝撃**を与えないでください

ハードディスクは精密機器ですので、落下や振動・衝撃を与えないでください。記録したデータを破損することがあります。



落下検出は**通常は「入」**にして使います

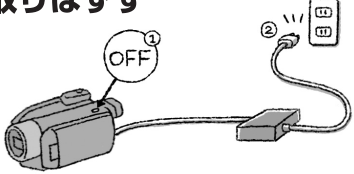
落下検出を「入」にすると落下時にハードディスク保護機能が働き、「切 OFF」にすると働きません。落下の状況によっては、落下検出を「入」にしていても保護できないことがあります。

電源ON時、アクセスランプが**点灯中/点滅中**や**スタンバイ中**は電源を切らない

ハードディスクを損傷するおそれがあります。

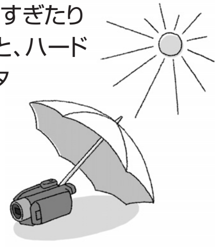
ハードディスク（HDD）は長時間記録ができて、とても便利ですが、
他の記録メディアと注意するポイントが違います。
ここに記載していることは、
ハードディスクを使う上でとても大切なことです。
必ず守ってください。
詳しくは169ページをご覧ください。

電源を切ってからバッテリーや電源コードを**取りはずす**



本機の**温度**にご注意ください

本機の温度が高すぎたり低すぎたりすると、ハードディスクのデータ保護のために録画/再生できなくなることがあります。

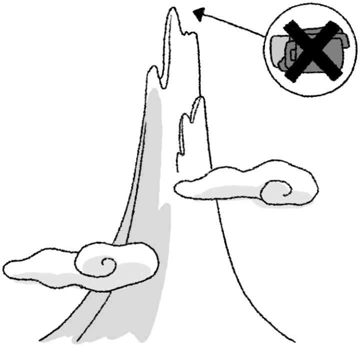


本機を譲渡/廃棄するとき、**個人情報の流出**にご注意ください

ハードディスク内のデータは、消去や初期化をしても完全には消えません。

高地（海抜3000m以上）では使わないでください

気圧の低いところではハードディスクを損傷するおそれがあります。



映像が正しく記録/再生できないときは**初期化**してください

長時間、映像の撮影/消去を繰り返すと、ハードディスク内のファイルが断片化されて映像が正しく記録/再生できなくなることがあります。そのときはハードディスクを初期化します。

CONTENTS

もくじ

ハードディスクビデオカメラを使うときに知っておいていただきたいこと 4
さっそく撮ってみよう 10
ハイビジョンを楽しもう 12
この本の読みかた／使う前に知っておいてください ...14
そろっていますか？ 16
各部のなまえ 18

Chapter 1
準備する

1 バッテリーを充電する 22
2 付属品を準備する 24
3 時計を合わせる 25
4 液晶画面を調整する 26
位置を調節する 26
画面の明るさを調節する .. 26
カードを使う 27
使えるカード 27
カードを入れる 28
記録メディアを準備する 29
記録メディアを選ぶ 29
初期化する 30

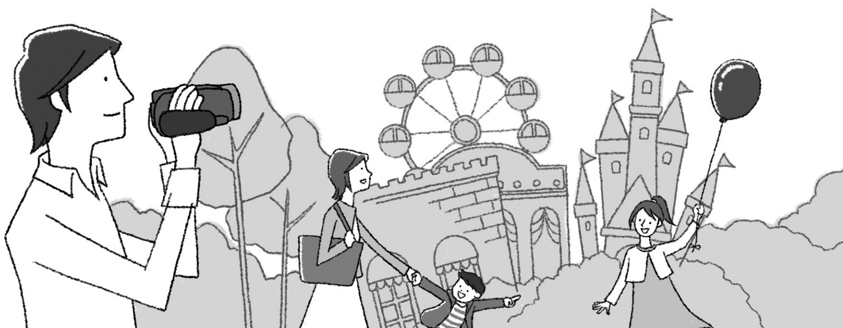
Chapter 2
ビデオ

かんたんに撮る(基本編)

ビデオを撮る 32
かんたんモード/応用モード《かんたんボタン》....... 33
拡大して撮る《ズーム》....... 35
画質を選ぶ《録画モード》....... 36
撮影チャンスを逃さない《クイックスタート》....... 37
いま撮ったシーンを確認する ... 38
いま撮ったシーンを消す 38

かんたんに見る(基本編)

ビデオを見る 39
インデックス画面の表示を切り換える 41
早送り、早戻し、さまざまな再生.. 42
見たいシーンを探す 43
お好みのコマから再生する.... 45
シーンを消す 46
選択設定する 48
テレビで見る 50



こだわって撮る／見る

場面に合わせて撮る
《スペシャルシーンモード(SCN)》........ 54
動きの速いものを撮る
《シャッタースピード》／
背景をぼかして撮る《しぼり》....... 56
映画のように撮る
《シネマエフェクト》.......................... 58
セルフタイマーを使う.............. 59
明るさを調整する《露出》............. 60
ピントを合わせる《フォーカス》..... 61
色合いを調整する
《ホワイトバランス》......................... 62
好みの画質にする《画質効果》....... 64
場面の切り換えと特殊効果
《デジタルエフェクト》...................... 65
画面の表示を切り換える........... 67
録音時の音量を変える《録音レベル》.. 68
　録音レベルを表示する 69
ヘッドホンを使う 70
ミニアドバンスシューを使う.. 72
メニューの設定を変える........... 74
　メニューの紹介....................... 75

編集する

シーンを分割する 86
プレイリストを作る.................. 88
　プレイリストにシーンを追加する .. 88
　プレイリストのシーンを消す... 90
　プレイリストのシーンを並べ換える .. 91
ビデオをコピーする.................. 92

Chapter 3
写真

かんたんに撮る(基本編)

写真を撮る 96
　いま撮った写真を消す............ 97
画質やサイズを選ぶ.................. 98

かんたんに見る(基本編)

写真を見る 100
　インデックス画面から選ぶ... 100
　順番に再生する《スライドショー》.. 100
　10枚/100枚ごとに探す 101
写真を消す《静止画消去》............ 102
写真を拡大して見る《再生ズーム》.. 104



CONTENTS

もくじ

こだわって撮る／見る(応用編)

フラッシュを使う.................... 105
  写真の明るさを図で確認する
  《ヒストグラム》........................ 106
連写する《ドライブモード》........... 107
ビデオを撮りながら写真も撮る
《同時記録》................................ 108
明るさの調整のしかたを選ぶ
《測光》...................................... 109
写真でも使える便利機能 110

編集する

映像を写真として切りとる
《あとからフォト》......................... 112
写真を保護する《静止画プロテクト》.... 113
写真をコピーする.................. 115

印刷する

写真を印刷する 117
印刷する範囲を選ぶ《トリミング》.. 122
印刷する写真を選ぶ《印刷指定》.. 123

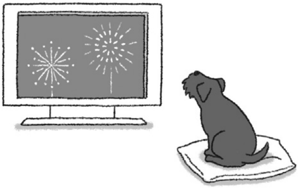
Chapter 4
保存

映像をバックアップする.......... 128
ハイビジョンDVD／
フォトDVDを作る................... 129
  ハイビジョンDVDを見る 132
  フォトDVDを見る 133
ほかのビデオ機器へ録画する .. 134
パソコンに写真を取り込む
《ダイレクト転送》......................... 136
パソコンに送る写真を選ぶ
《送信指定》................................ 139

Chapter 5
ふろく

故障かな？ 144
メッセージが出たら？ 152
安全上のご注意...................... 165
取り扱い上のご注意............... 169
日常のお手入れ...................... 175
海外で使う............................. 176
アクセサリー紹介................... 178
FUNCメニューの紹介 180
画面の見かた.......................... 182
主な仕様 184

さくいん................................. 188
商標について.......................... 193
保証書とアフターサービス 194
修理について.......................... 195



やりたいこと目次

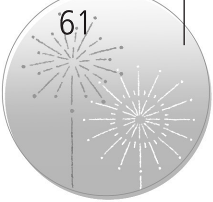
赤ちゃんの表情を明るく撮りたい
明るさを調整する 60
逆光補正 60



暗い場所でも子供の寝顔を明るく撮りたい
ナイト 54



夕焼けや花火を美しく撮りたい
夕焼け 55
打上げ花火 55
遠くにピントを合わせる 61





南国の海の青さをそのまま撮りたい
色合いを調整する 62



テレビにつないで家族で見たい
テレビで見る 50
写真を順番に再生する 100



一等賞の笑顔を写真に残したい
映像を写真として切りとる 112



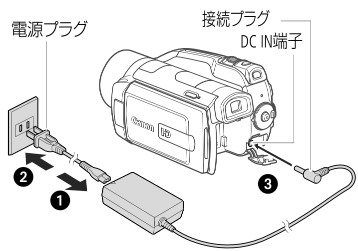
走る犬を連続して写真撮影したい
連写する 107
三段階の明るさで写真を撮る 107

さっそく撮ってみよう

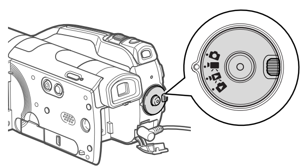
箱から出して、今すぐ撮影してみたい…という方のために一通りの操作を説明します。まずはハードディスクに気楽に撮ってみましょう。



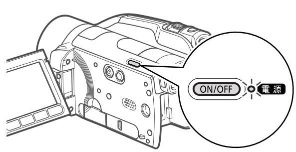
1 コンセントにつなぐ



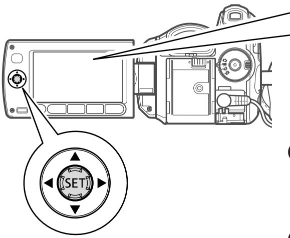
2 にする



3 押す



4 時計を合わせる





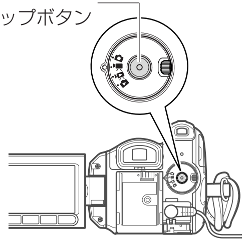
❶ 上下に押して、年を設定する。

● 左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❷ 左右に押して **OK** を選ぶ→ SET を押す。

5 押す ▶ 撮影開始！

スタート/
ストップボタン

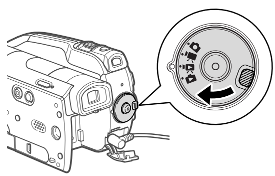


もう一度押すと撮影終了

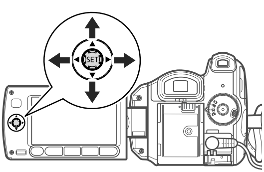
映像を再生してみよう

電源を切らずにそのまま操作してください。

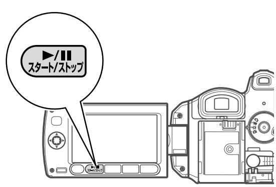
❶ (再生モード) にする



❷ 見たいシーンを選ぶ



❸ 押す ▶ 再生開始！



● 再生を終えるときは (■) を押す。

ハイビジョンを楽しもう

本機は高精細なハイビジョン映像を撮影することができます。写真は、説明のためのイメージ写真です。

ハイビジョンは美しい

ハイビジョン画質 1920×1080画素*1



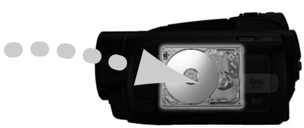
標準画質（従来） 720×480画素



フルHD CMOSセンサーによって、フルハイビジョン（水平1920×垂直1080画素）で映像を読み出し、そのままの画素数で記録*1しますので、すみずみまで精細な美しさを再現します。

*1 録画モードがMXPとFXPの場合。他の画質では、水平1440×垂直1080画素にリサイズして記録します。豊富な情報量からのリサイズですので、高精細な映像を実現します。

たっぷりキレイ ハードディスクとSD/SDHCカードに高画質で長時間撮れる!

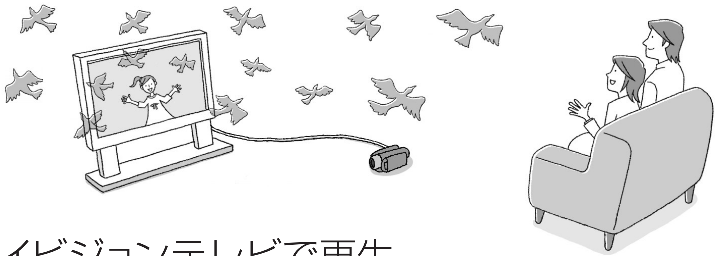


撮影したハイビジョン映像は内蔵ハードディスクまたはSD/SDHCカード*2に記録されます（AVCHD規格*3で記録）。大容量ハードディスクとカードのダブル記録システムなので、高画質の動画を長時間撮影できます。


（別売）

*2 使えるSD/SDHCカード（📖 27）。

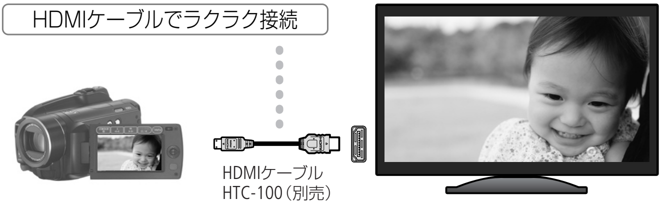
*3 ACVHD規格とは
ハイビジョン信号を記録するための新規格で、映像はMPEG-4 AVC/H.264方式で圧縮し、音声はドルビーデジタル方式で記録します。



ハイビジョンテレビで再生

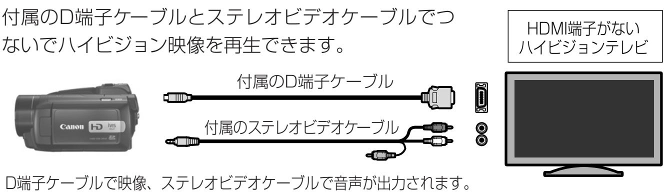
HDMI™端子のあるハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

HDMIケーブル（別売）でつなぐだけ。もっとも美しく、カンタンにハイビジョン映像をお楽しみいただけます。



ハイビジョンテレビで見る　ハイビジョン画質

付属のD端子ケーブルとステレオビデオケーブルでつないでハイビジョン映像を再生できます。



D端子ケーブルで映像、ステレオビデオケーブルで音声が出力されます。

カードスロットのあるテレビやレコーダーで再生する　ハイビジョン画質

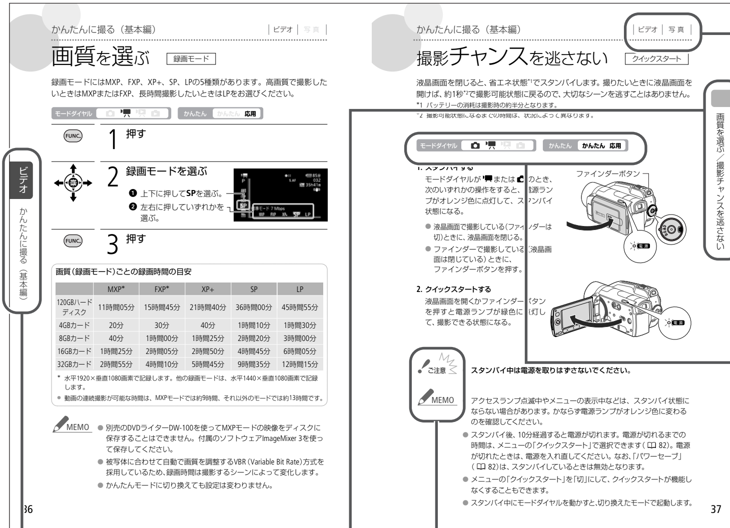
SD/SDHCカードスロットのあるAVCHD規格対応*4のテレビやレコーダーであれば、映像を記録したカードをカードスロットに入れて再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。



*4 AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。

別売のDVDライターDW-100を使ってMXPモードの映像をディスクに保存することはできません。付属のソフトウェアImageMixer 3を使って保存してください。

この本の読みかた


かんたんに撮る（基本編）　ビデオ｜写真

ビデオ　かんたんに撮る（基本編）

画質を選ぶ　録画モード

録画モードにはMXP、FXP、XP+、SP、LPの5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

1 押す

2 録画モードを選ぶ
❶ 上下に押してSPを選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

3 押す

画質（録画モード）ごとの録画時間の目安

	MXP*	FXP*	XP+	SP	LP
120GBハードディスク	11時間05分	15時間45分	21時間40分	36時間00分	45時間55分
4GBカード	20分	30分	40分	1時間10分	1時間30分
8GBカード	40分	1時間00分	1時間25分	2時間20分	3時間00分
16GBカード	1時間25分	2時間05分	2時間50分	4時間45分	6時間05分
32GBカード	2時間55分	4時間10分	5時間45分	9時間35分	12時間15分

* 水平1920×垂直1080画素で記録します。他の録画モードは、水平1440×垂直1080画素で記録します。
● 動画の連続撮影が可能な時間は、MXPモードでは約9時間、それ以外のモードでは約13時間です。

MEMO
● 別売のDVDライターDW-100を使ってMXPモードの映像をディスクに保存することはできません。付属のソフトウェアImageMixer 3を使って保存してください。
● 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。
● かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。

36

かんたんに撮る（基本編）　ビデオ｜写真

撮影チャンスを逃さない　クイックスタート

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻るので、大切なシーンを逃すことはありません。
*1 バッテリーの消耗は撮影時の約半分となります。
*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

1. スタンバイする
モードダイヤルがまたはのとき、次のいずれかの操作をすると、電源ランプがオレンジ色に点灯して、スタンバイ状態になる。
● 液晶画面で撮影している（ファインダーは切）ときに、液晶画面を閉じる。
● ファインダーで撮影している（液晶画面は閉じている）ときに、ファインダーボタンを押す。

ファインダーボタン

2. クイックスタートする
液晶画面を開くかファインダーボタンを押すと電源ランプが緑色に点灯して、撮影できる状態になる。

ご注意　**スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。**

MEMO
アクセスランプ点滅中やメニューの表示中などは、スタンバイ状態にならない場合があります。かならず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。
● スタンバイ後、10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、メニューの「クイックスタート」で選択できます（📖 82）。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。なお、「パワーセーブ」（📖 82）は、スタンバイしているときは無効となります。
● メニューの「クイックスタート」を「切」にして、クイックスタートが機能しなくすることもできます。
● スタンバイ中にモードダイヤルを動かすと、切り換えたモードで起動します。

画質を選ぶ／撮影チャンスを逃さない

37

探すための見出し

知りたい機能をすばやく探すための見出し。左ページに章タイトル、右ページには機能の名前を載せている。

本文中の表記

📖10（📖 10）	参照ページを示す。
参考 ▶▶	参考になるページなどを示す。
画面	「液晶画面」または「ファインダーの画面」のこと。
カード	SDメモリーカード、SDHCメモリーカードのこと。
メディア	動画/静止画を記録/再生する「ハードディスク」または「カード」のこと。
ImageMixer 3	付属のソフトウェア「PIXELA ImageMixer 3 SE」のこと。

* 画面の写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

ビデオと写真のどちらで使えるかを示すマーク

ビデオ

動画の撮影や再生で使える機能。

写 真

静止画の撮影や再生で使える機能。

ダイヤルの位置やボタンの状態を示すマーク

モードダイヤル

モードダイヤルの位置。この場合は の位置に合わせる。ほかに 、 、 がある。

かんたん かんたん 応用

かんたんボタンを押すたびに、**かんたん**（ボタンが点灯）または**応用**（消灯）に切り換わる。この場合は**応用**にする。

コラムのマーク

ご注意

守ってほしいこと。

MEMO

知っておいてほしいこと。

使う前に知っておいてください

かならず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

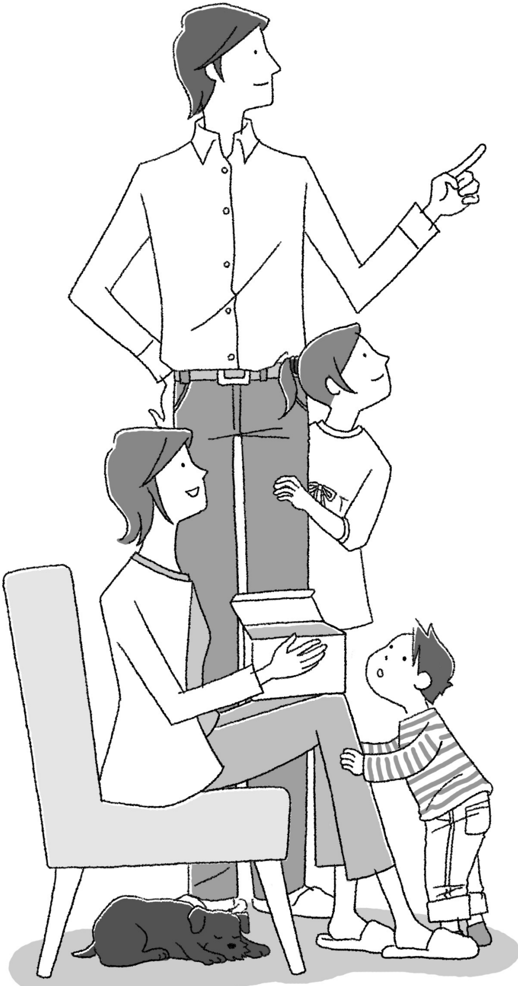
液晶画面やファインダーについて

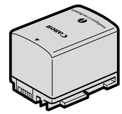
液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

箱を開けたら、まず確認

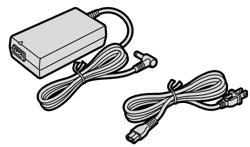
そろっていますか？

本体以外の付属品がそろっているかチェックしましょう。





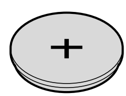
バッテリーパック
BP-807



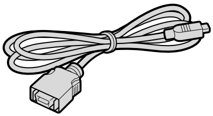
コンパクトパワーアダプター
CA-570と電源コード



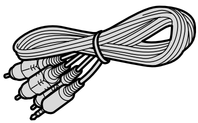
リモコン（ワイヤレス
コントローラー）WL-D88



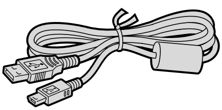
コイン型リチウム電池
CR2025（リモコン用）



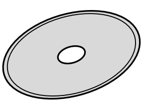
D端子ケーブル
DTC-100/S



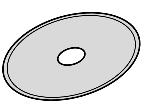
ステレオビデオケーブル
STV-250N



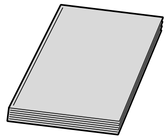
USBケーブル
IFC-400PCU



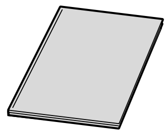
ピクセラ　イメージミキサー
PIXELA ImageMixer 3 SE *1
（動画の保存、管理、編集、再生用）



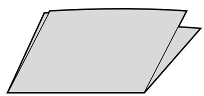
DIGITAL VIDEO Solution Disk *2
（静止画の保存、管理、印刷用）



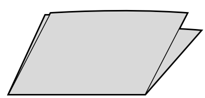
iVIS HG21
使用説明書（本書）



操作早わかり
ガイド



PIXELA ImageMixer 3 SE
インストールガイド



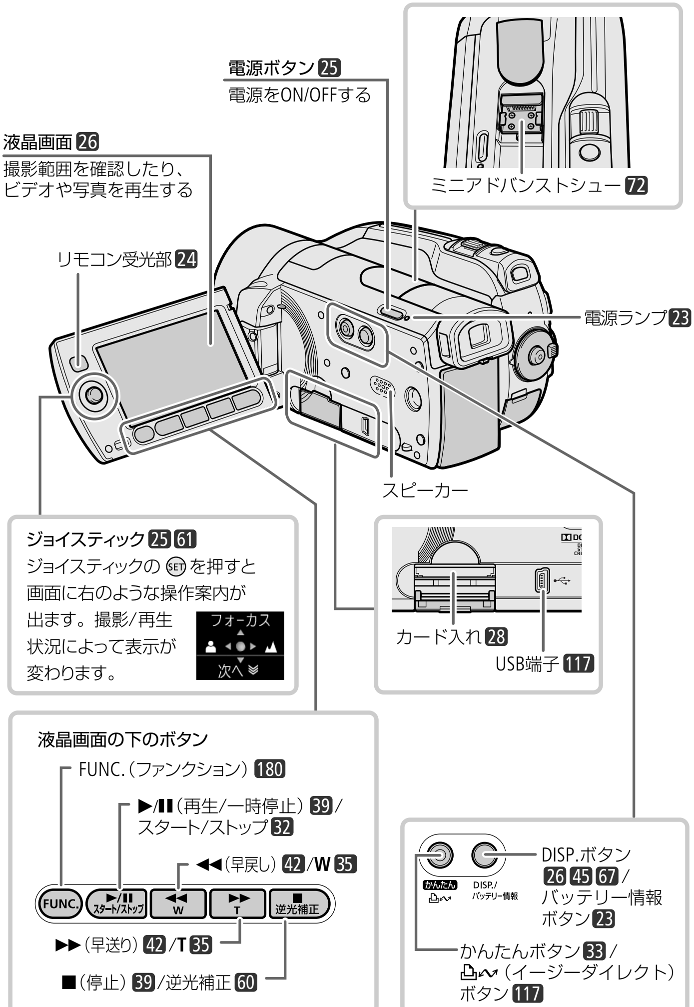
DIGITAL VIDEO
Solution Disk
スタートガイド

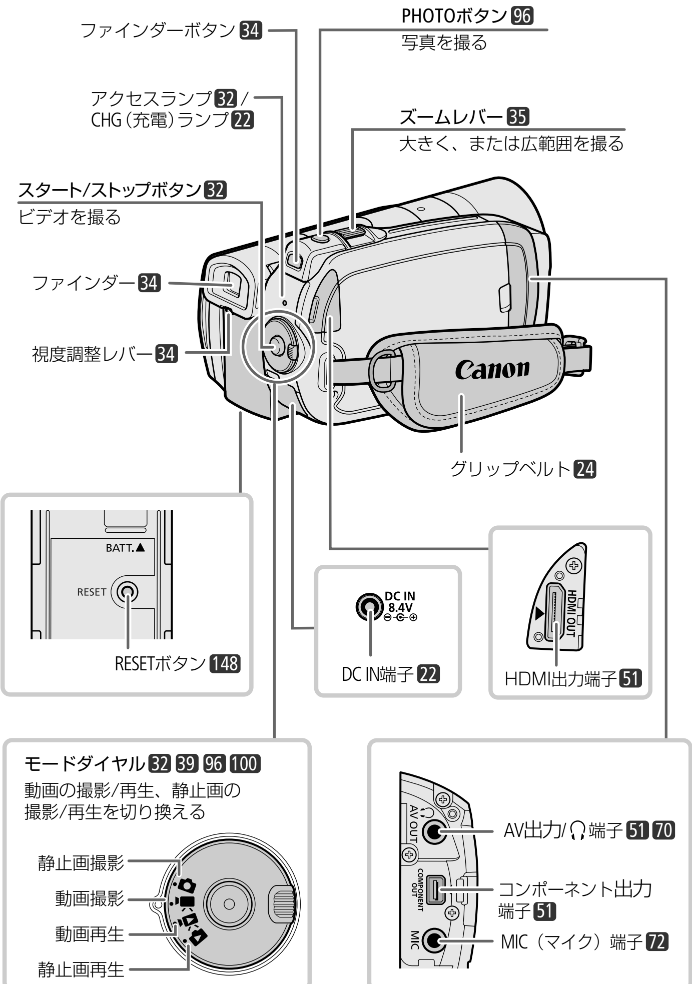
*1 PIXELA ImageMixer 3 SE取扱説明書がPDFデータとして入っています。

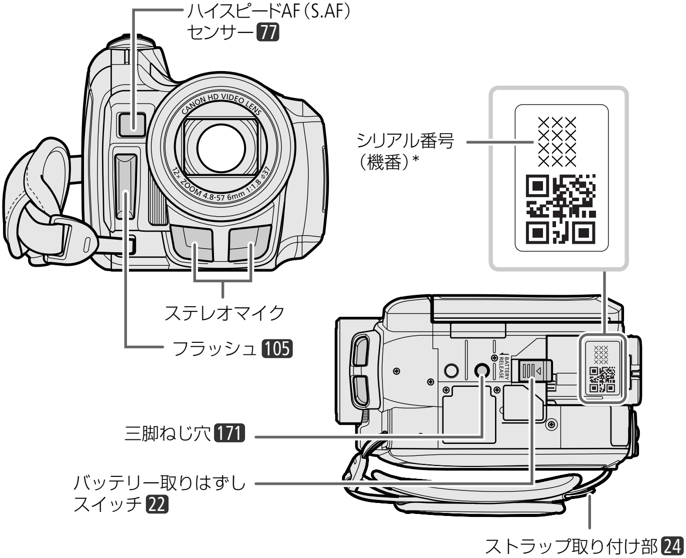
*2 Digital Video Softwareの使用説明書がPDFデータとして入っています。

各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。 ■ 内の数字は参照ページです。

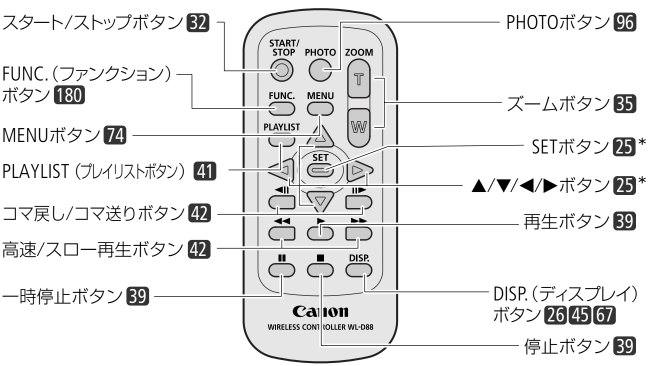



ファインダーボタン 34
PHOTOボタン 96
写真を撮る
アクセスランプ 32 /
CHG（充電）ランプ 22
ズームレバー 35
大きく、または広範囲を撮る
スタート/ストップボタン 32
ビデオを撮る
ファインダー 34
視度調整レバー 34
Canon
グリップベルト 24
BATT.▲
RESET
RESETボタン 148
DC IN
8.4V
DC IN端子 22
HDMI OUT
HDMI出力端子 51
モードダイヤル 32 39 96 100
動画の撮影/再生、静止画の
撮影/再生を切り換える
静止画撮影
動画撮影
動画再生
静止画再生
AV OUT
AV出力/🎧端子 51 70
COMPONENT OUT
コンポーネント出力
端子 51
MIC
MIC（マイク）端子 72



* シリアル番号は、バッテリーを取りはずして底面から確認します。

リモコン各部のなまえ



* 本文中では、「ジョイスティック」という言葉で説明しています。

Chapter
1
準備する

Getting Started

1 バッテリーを充電する …… 22
バッテリーを取り付け / 取り外すときや充電するとき。

2 付属品を準備する …… 24
グリップベルトやリモコンなどを準備するときにご覧ください。

3 時計を合わせる …… 25
日時を設定するときにご覧ください。はじめて使うときは日時の設定画面になります。

4 液晶画面を調整する …… 26
液晶画面の位置や明るさを調整するときなどにご覧ください。

カードを使う …… 27
SD/SDHCメモリーカードを使うときなどにご覧ください。

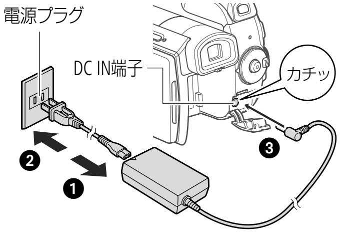
記録メディアを準備する …… 29
ビデオや写真を記録するメディアを選択したり、初期化したりするときにご覧ください。



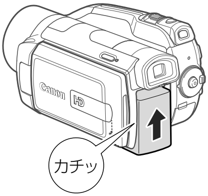
バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

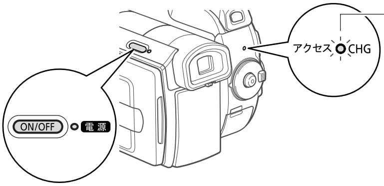
1 コンセントにつなぐ



2 バッテリーを取りつける



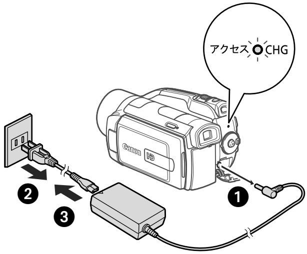
3 電源OFFで充電開始



CHGランプが1秒に1回点滅

他のパターンで点滅しているときは、「故障かな?」(📖 144)をご覧ください。

4 点滅→点灯で充電おわり



バッテリーを取りはずすとき

バッテリー取りはずしスイッチをレンズ側に押して取りはずす。

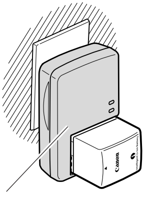


ご注意

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源をOFFにし、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損するおそれがあります。
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上の場所では充電できません。

MEMO

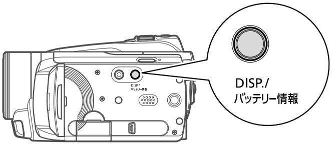
- 充電するときは電源をOFFにしてください。電源ONのときは充電されません。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーをフル充電したときの使用時間は186ページをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- 付属のバッテリーの充電時間は約155分です。なお、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 別売のバッテリーチャージャーCG-800を使うと約105分で充電できます。詳しくはバッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては、171ページをご覧ください。



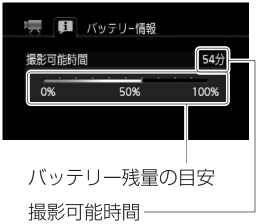
バッテリーチャージャーCG-800

バッテリーの残量を確認するには

電源OFFのときにバッテリー情報ボタンを押すと、バッテリーの残量を確認できます。バッテリー情報画面は5秒間表示されて自動的に消えます。
バッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



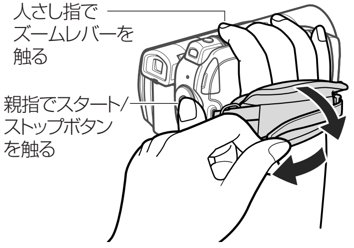
バッテリー情報画面

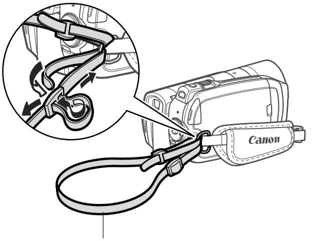


付属品を準備する

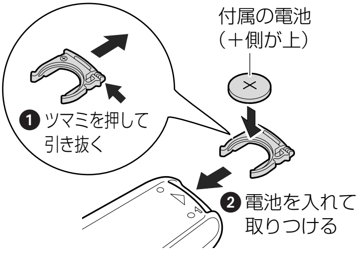
グリップベルトやストラップの調整、リモコンの準備をしましょう。

■ グリップベルトやショルダーストラップ(別売)を調整する

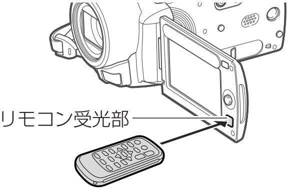




■ リモコンを準備する



使うときは受光部に向けて

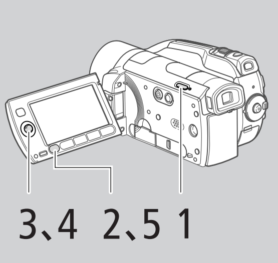


MEMO

- リモコンの受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。
- リモコンで操作できないときは、メニューの「リモコンセンサー」を「入」にしてください(📖 82)。または電池を交換してください。

時計を合わせる

時刻は2カ所セットできます。海外旅行先の日時を設定しておくと、現地の日時で記録できます（📖 177）。



ON/OFF 電源

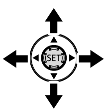
1 「ON」にする

はじめて使うとき

自動的に操作4の画面が表示されるので、❷〜❸の操作をして終了。

FUNC.

2 押す



3 地域を選ぶ

❶ (メニュー)→ を選ぶ。

❷「エリア/サマータイム」を選ぶ→ SET を押す。



❸ [トウキョウ]を確認する→ SET を押す。

- 海外に住んでいるときは、左右に押して居住地域を選ぶ。



4 日時を設定する

❶ 上下に押して「日付/時刻」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 上下に押して、年を設定する。

- ジョイスティックを左右に押すと年、月、日、時刻を選択できる。

❸ 左右に押して OK を選ぶ→ SET を押す。



FUNC.

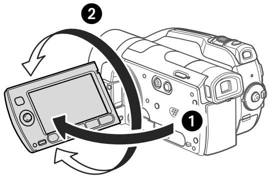
5 押す

MEMO

- 本機を約3ヶ月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（📖 173）。

液晶画面を調整する

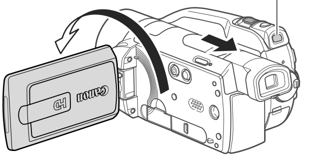
■ 位置を調節する



❶ 手前に90度引いて開ける。
❷ 回転させて見やすい位置にする。

液晶画面を相手に見せて撮る

液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。レンズと同じ方向を向くように回転させ、ファインダーボタンを押すと画面が出ます。

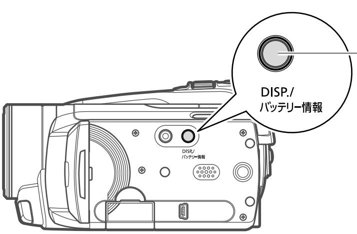


自分自身を撮る

リモコンを使って自分自身を撮影することもできます。

■ 画面の明るさを調節する

画面の明るさを2段階に切り換えられます。屋外撮影時、太陽光などで画面が見にくいときは明るくしてください。ファインダーの明るさも同時に切り換わります。



MEMO
- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。

カードを使う

本機は動画や静止画をSDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに記録できます。

■ 使えるカード

容量やSDスピードクラスによって、使用できる機能が異なります。

	容量	SDスピードクラス	動画記録	静止画記録
SDメモリーカード	64MB以下	未対応	×	○
	128MB以上	未対応	○*1*2	
		CLASS 2	○*1	
		CLASS 4 以上	○	
SDHCメモリーカード	2GB超	CLASS 2	○*1	
		CLASS 4 以上	○	

○：使用できる ／ ×：使用できない

*1 MXPモードまたはFXPモードでは使用できない。
*2 動画記録できないことがある。

次のメーカー製のSDメモリーカードとSDHCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2008年6月現在）。
SDスピードクラス4以上のカードの使用をおすすめします。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

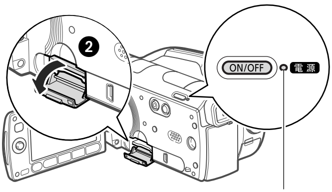
SDスピードクラスとは？

SDメモリーカードやSDHCメモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する基準として定められた規格です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのロゴを確認してください。

カードを入れる

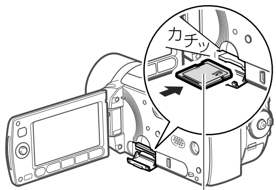
カードをはじめて使用するときは、まず初期化してください（ 📖 30）。

1 カバーを開ける



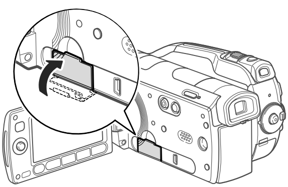
❶ 電源が切れていることを確認

2 カードをまっすぐ入れる



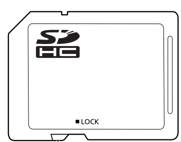
ラベル面を上にする

3 カバーを閉じる



- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

誤ってデータを消さないために



誤消去防止ツマミ

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できる。

ご注意
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。正しい向きで入れてください。

MEMO

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

記録メディアを準備する

動画や静止画をハードディスク（HDD）かカードに記録できます。

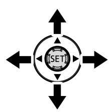
■ 記録メディアを選ぶ

動画や静止画の記録先を選択します。

モードダイヤル　かんたん　かんたん **応用**

FUNC.

1 押す



2 動画/静止画の記録先を選ぶ

❶ （メニュー）→ または を選ぶ。

❷「動画記録」または「静止画記録」を選ぶ→ SET を押す。



❸「HDD」または「カード」を選ぶ→ SET を押す。



FUNC.

3 押す

記録先の総容量や使用量をチェックする

操作2の❸でHDDやカードの総容量と使用量、記録可能容量を確認できます。



総容量

使用量

動画撮影時間/ 静止画記録枚数

動画撮影可能時間*/ 静止画記録可能枚数*

* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズをもとに算出されます。

■ 初期化する

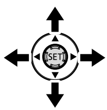
カードを初めて使うときや、ハードディスクやカードに記録した動画/静止画をすべて消すときは、初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。また、記録/消去を繰り返すと動画/静止画が正しく記録できなくなることがあります。この場合は、記録メディアを初期化してすべての情報を消去することで回復します。

準備

モードダイヤル　かんたん　かんたん　**応用**

FUNC.

1 押す

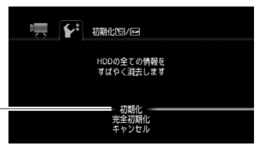


2 初期化を選ぶ



❶ (メニュー)→→「初期化」を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「HDD」または「カード」を選ぶ→ SET を押す。



❸ 「初期化」または「完全初期化」を選ぶ→ SET を押す。

❹ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

完全初期化を中止するとき

SET (中止)を押す。ハードディスクやカードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

❺ SET (OK)を押す。

FUNC.

3 押す

ご注意

- 初期化すると、プロテクト設定した静止画を含め、すべての情報が消え、元に戻せません。必ず、記録した動画/静止画をパソコンやDVDなどにバックアップ(128、136)してから、初期化してください。
- 初期化するときはコンパクトパワーアダプターをつなぎ、初期化中は取りはずさないでください。
- ハードディスク(120GB)を完全初期化すると、約2時間かかります。

Chapter
2
ビデオ

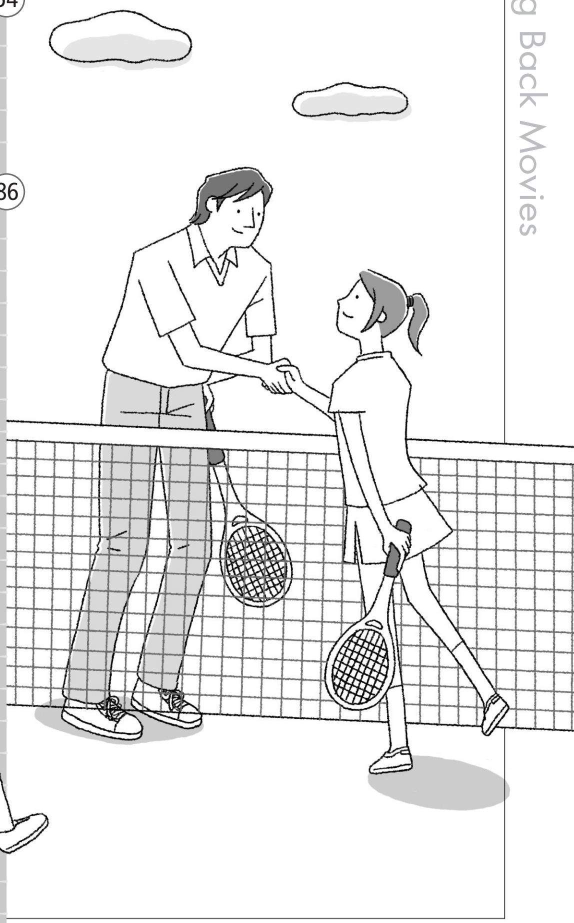
Recording and Playing Back Movies

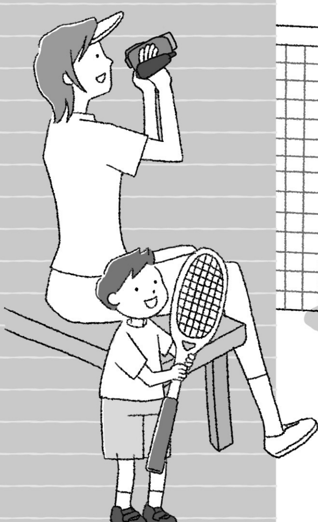
かんたんに撮る（基本編）……32
すべて「おまかせ」でカンタンに撮りたいときにご覧ください。

かんたんに見る（基本編）……39
撮った映像を本機やテレビで見たり、消したりしたいとき。

こだわって撮る/見る（応用編）54
「もっと明るく撮りたい」、「ピントを合わせたい」など…こだわって撮りたいときなどにご覧ください。

編集する……86
撮った映像を分割したり、プレイリストを作って順番を移動したりしたいときなどにご覧ください。

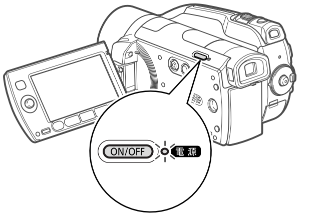




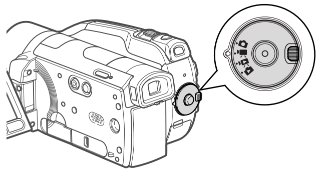
ビデオを撮る

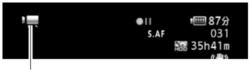
動画はハードディスクとカードに記録できます。

1 ONにする



2 🎥にする

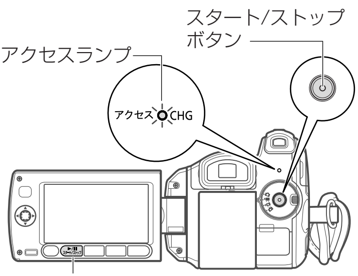




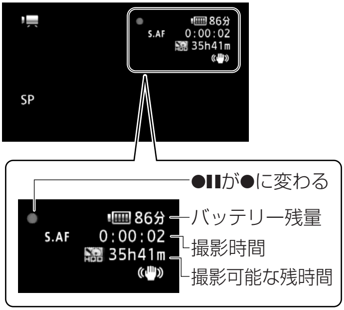
🎥 が表示される

- カードに記録するとき（📖 29）。

3 押す ▶ 撮影開始！



▶/II スタート/ストップ を押しても撮影をはじめられる。



撮影を終えるとき

もう一度、スタート/ストップボタンを押す。

電源を切るとき

1. アクセスランプが消えていることを確認。
2. 電源ボタンを押す。
3. 液晶画面を垂直にしてから閉じる。

バッテリー残量について

バッテリーで撮影できる残り時間です。
▭ が赤く表示されたら、バッテリーが消耗しています。充電したバッテリーと交換してください。

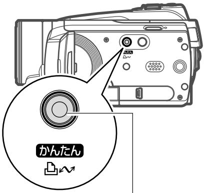
かんたんモード/応用モード（かんたんボタン）

とにかく簡単にビデオや写真を撮影するための「かんたんモード」と、いろんな調整や設定を変更できる「応用モード」を切り換えられます。

かんたんモード

難しい設定をしないで、すべての調整をカメラまかせで撮影したいときは、かんたんボタンを押して「かんたんモード」（ボタンが青く点灯）にします。
次のボタンや機能だけが動作するので、知らないうちに何かのボタンを押してしまい、元に戻せなくなる心配がありません。

- モードダイヤル
- スタート/ストップボタン
- ズームレバー
- ファインダーボタン
- クイックスタート機能



かんたんボタン

応用モード

撮影シーンに合わせて個別に調整したり、メニューの設定を変更したいときなどは、かんたんボタンを押して「応用モード」（ボタンが消灯）にします。

かんたんモードに切り換えても設定が変わらない機能

- 録画モード（動画）
- サイズ/画質（静止画）
- オートスローシャッター
- メニューの「 システム設定1」、「 システム設定2」、「 日時設定」の全項目

ご注意

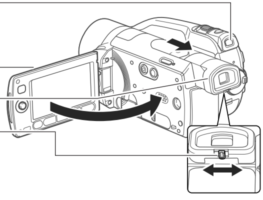
- アクセスランプが点滅しているときは、撮影した動画をハードディスクまたはカードに書き込んでいます。このときは、次のことを必ず守ってください。動画のデータを破損するおそれがあります。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。
- 本機で撮影した動画は、内蔵ハードディスクまたはカードに記録されます。万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください（128）。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO
- メニューの「パワーセーブ」を「入」にしてバッテリーを使っているときに、約5分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（ 82）。このときは電源を入れ直してください。
- 打上げ花火など大きな音の近くで撮影すると、音がひずんだり、小さく録音されたりすることがありますが、故障ではありません。

周囲が明るくて液晶画面が見づらいときは

液晶画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節する（ 26）か、ファインダーを使います。ファインダーと液晶画面を同時に使うこともできます。また、撮影した動画や静止画をファインダーで見ることもできます。

1. ファインダーボタンを押す
   - ファインダーに画面が表示される。
2. 液晶画面を垂直にしてから閉じる
3. ファインダーを引き出す
4. ハッキリ見えるようにレバーを動かす



ファインダーの明るさを調節する

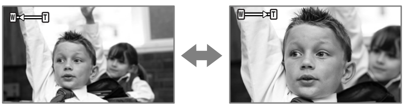
DISP.ボタンを2秒以上押すごとに、ファインダーの明るさが切り換わる。

拡大して撮る　ズーム

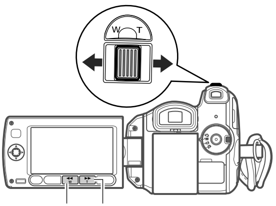
ズームレバーをT側（望遠）に押すと12倍まで拡大して撮影できます（光学ズーム）。W側（広角）に押すと、元の大きさに戻ります。デジタルズーム*を使うと、さらに200倍まで拡大することができます（📖 77）。

* デジタルズームは静止画撮影時には使えません。

モードダイヤル
かんたん　かんたん　応用



W側（広角）　T側（望遠）



Wボタン　Tボタン

MEMO

- ズーム撮影をするときは被写体から1m以上離れてください。
- ズームレバーをW側に押して最も広角にすると約1cmまで近づいて撮影できます。
- ズームレバーを浅く押すとゆっくりとズームし、深く押すと速くズームします（可変速）。メニューでズームスピードを一定にすることもできます（📖 77）。スピードは1（遅い）～3（速い）から選びます。
- ズームスピードを「可変速」に設定した場合、リモコンや液晶画面のズームボタンでズーム操作するとズームスピード3（速い）になります。
- 撮影一時停止状態でのズームは、撮影中に比べスピードが速くなります（ただし、ズームスピードを「可変速」に設定したときのみ）。

画質を選ぶ　録画モード

録画モードにはMXP、FXP、XP+、SP、LPの5種類があります。高画質で撮影したいときはMXPまたはFXP、長時間撮影したいときはLPをお選びください。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

FUNC.

1 押す

2 録画モードを選ぶ

❶ 上下に押して**SP**を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。



FUNC.

3 押す

画質（録画モード）ごとの録画時間の目安

	MXP*	FXP*	XP+	SP	LP
120GBハードディスク	11時間05分	15時間45分	21時間40分	36時間00分	45時間55分
4GBカード	20分	30分	40分	1時間10分	1時間30分
8GBカード	40分	1時間00分	1時間25分	2時間20分	3時間00分
16GBカード	1時間25分	2時間05分	2時間50分	4時間45分	6時間05分
32GBカード	2時間55分	4時間10分	5時間45分	9時間35分	12時間15分

* 水平1920×垂直1080画素で記録します。他の録画モードは、水平1440×垂直1080画素で記録します。

- 動画の連続撮影が可能な時間は、MXPモードでは約9時間、それ以外のモードでは約13時間です。

MEMO

- 別売のDVDライターDW-100を使ってMXPモードの映像をディスクに保存することはできません。付属のソフトウェアImageMixer 3を使って保存してください。
- 被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しているため、録画時間は撮影するシーンによって変化します。
- かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。

撮影チャンスを逃さない

クイックスタート

液晶画面を閉じると、省エネ状態*1でスタンバイします。撮りたいときに液晶画面を開けば、約1秒*2で撮影可能状態に戻るので、大切なシーンを逃すことはありません。

*1 バッテリーの消耗は撮影時の約半分となります。

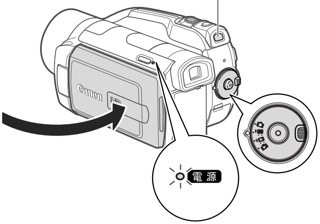
*2 撮影可能状態になるまでの時間は、状況によって異なります。

モードダイヤル　かんたん　かんたん 応用

1. スタンバイする

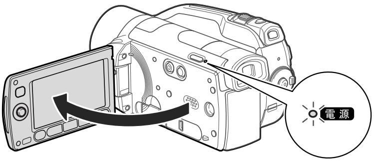
モードダイヤルが 🎥 または 📷 のとき、次のいずれかの操作をすると、電源ランプがオレンジ色に点灯して、スタンバイ状態になる。

- 液晶画面で撮影している（ファインダーは切）ときに、液晶画面を閉じる。
- ファインダーで撮影している（液晶画面は閉じている）ときに、ファインダーボタンを押す。



2. クイックスタートする

液晶画面を開くかファインダーボタンを押すと電源ランプが緑色に点灯して、撮影できる状態になる。



ご注意

- **スタンバイ中は電源を取りはずさないでください。**

MEMO

- アクセスランプ点滅中やメニューの表示中などは、スタンバイ状態にならない場合があります。かならず電源ランプがオレンジ色に変わるのを確認してください。
- スタンバイ後、10分経過すると電源が切れます。電源が切れるまでの時間は、メニューの「クイックスタート」で選択できます（📖 82）。電源が切れたときは、電源を入れ直してください。なお、「パワーセーブ」（📖 82）は、スタンバイしているときは無効となります。
- メニューの「クイックスタート」を「切」にして、クイックスタートが機能しなくすることもできます。
- スタンバイ中にモードダイヤルを動かすと、切り換えたモードで起動します。

いま撮ったシーンを確認する

直前に撮ったシーンを再生して、録画状態をチェックすることができます。この場合、音声は聞こえません。

モードダイヤル　かんたん　かんたん **応用**

1 SET を押す



- 操作案内が出る。⊡ が表示されないときは、ジョイスティックを下に押す。

2 左（⊡）に押す

■ いま撮ったシーンを消す

モードダイヤル　かんたん　かんたん **応用**

1 SET を押す

- 操作案内が出る。

2 シーンを消す

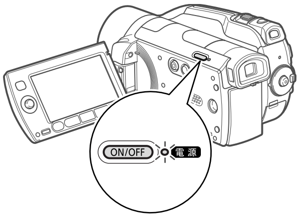


❶ 左（⊡）に押す。
❷ 右に押して 🗑 を選ぶ → SET を押す。
❸ 右に押して「はい」を選ぶ→ SET を押す。

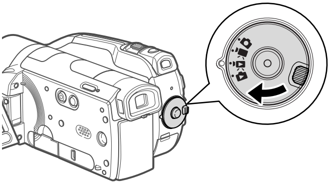
MEMO
- 消去中は一切の操作をしないでください。
- モードダイヤルを切り換えたり、電源を切ったりした場合は、直前のシーンは消せません。

ビデオを見る 撮った動画を液晶画面で見ます。

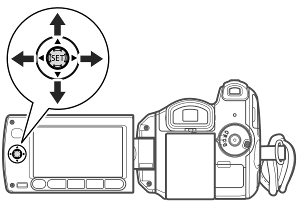
1 ONにする



2 ▶ にする



3 見たいシーンを選ぶ





⬅ で前のシーンへ

再生メディアを切り換える

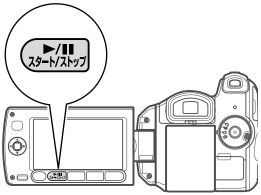
ジョイスティックで
見たいシーンを選ぶ

撮影日時

シーン数

➡ で次のシーンへ

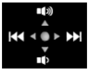
4 押す ▶ 再生開始！



- SET を押しても再生をはじめられる。

- もう一度押すと、再生一時停止となる。
- 選んだシーンの再生が終わると、次のシーンが再生される。
- 再生を終えるときは ■逆光補正 を押す。

音の大きさを変える



1. ジョイスティックの SET を押す。
2. 操作案内が出たら、上下に押して調整する。

ご注意

- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。
- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

MEMO

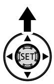
- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- ファインダーで見る場合、液晶画面を閉じると音声は出ません。その場合は、ヘッドホンなどを使用してください。

■ インデックス画面の表示を切り換える

モードダイヤル

表示する再生メディアを切り換える

インデックス画面で、ハードディスクとカードのオリジナルとプレイリストを切り換えられます。静止画の場合は、ハードディスクとカードの切り換えのみになります。



1 上に押す

- オレンジ色になる。





2 左右に押して再生メディアを切り換える

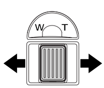
- 選んだ再生メディアのシーンがインデックス画面に出る。



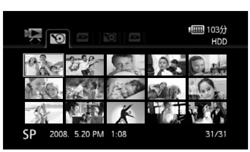
3 下に押す

- 1つのシーンが選択される。

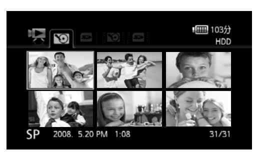
表示するシーン数を切り換える



インデックス画面に一度に表示するシーン数を切り換えられます。ズームレバーをW側に押すと15シーン表示になり、T側に押すと6シーン表示になります。



15シーン表示



6シーン表示

MEMO
- リモコンのプレイリストボタンを押すと、インデックス画面を表示している再生メディアのプレイリストとオリジナルを切り換えることができます。

早送り、早戻し、さまざまな再生

以下の操作中は音声が聞こえません。早送り/早戻し中に [スタート/ストップ] を押すとふつうの再生に戻り、スロー再生/スロー逆再生中に押すと一時停止に戻ります。「/」の右のボタンはリモコンを使用した場合の操作です。

早送り*1	再生中に [▶▶ T] / [▶▶]	ボタンを押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる*2。
早戻し*1	再生中に [◀◀ W] / [◀◀]	
スロー再生*1	一時停止中に [▶▶ T] / [▶▶]	ボタンを押すたびに再生速度が約1/8倍→約1/4倍に切り換わる。
スロー逆再生*1、*3	一時停止中に [◀◀ W] / [◀◀]	
コマ送り	一時停止中に ― / [II▶]	ボタンを押すたびに1コマ進む。 押し続けると連続してコマごとに進む。
コマ戻し*4	一時停止中に ― / [◀II]	ボタンを押すたびに1コマ戻る。 押し続けると連続してコマごとに戻る。
スキップ再生	再生中に [SET]➡ / [▷]	次のシーンの先頭から再生
	再生中に ⬅[SET] / [◁]	現在のシーンの先頭から再生
	再生中に2回押す ⬅⬅[SET] / [◁]	前のシーンの先頭から再生

*1　操作中、画面が乱れることがあります。
*2　画面に出る倍速表示は目安です。
*3　スロー逆再生では連続したコマ戻しのように再生されます。
*4　コマ戻しのコマの間隔（0.5秒）はコマ送りの場合よりも長くなります。

見たいシーンを探す

モードダイヤル

インデックス画面ごとに探す

W または T を押し続ける

- インデックス画面全体に枠が出る。

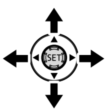


撮影した日付から探す

オリジナルの動画のときのみ、撮影した日付から見たいシーンを探せます。

FUNC.

1 押す



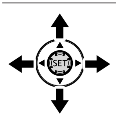
2 日付選択を選ぶ

❶ 左右に押して (シーン検索)を選ぶ→ SET を押す。

❷「日付選択」を選ぶ→ SET を押す。



- 撮影順で並べられた日付の一覧が表示される。
- 撮影した日のシーン数とその日の撮影時間が表示される。

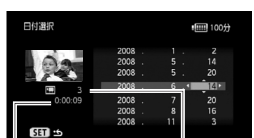


3 撮影した日付を選ぶ

❶ 左右に押して枠を年、月、日に合わせ、上下に押して年、月、日を選ぶ。

中止するとき

FUNC.を押す。



その日の撮影時間　シーン数

❷ SET を押す。

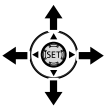
- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

カレンダー表示から探す

オリジナルの動画のときのみ、撮影した日付から見たいシーンを探せます。



1 押す



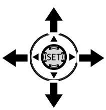
2 カレンダーを選ぶ

❶ 左右に押して 🔍(シーン検索)を選ぶ→ SET を押す。

❷「カレンダー」を選ぶ→ SET を押す。

- カレンダー表示画面が出る。





3 撮影した日付を選ぶ

❶ 上下に押して枠を年、月に合わせ、左右に押して年、月を選ぶ。

❷ 上下に押して枠を日に移動させ、上下左右に押して日を選ぶ。



- シーンのある日は白で表示される。
- [T] / [W] を押すと、シーンのある次/前の日に枠が移動する。

中止するとき

FUNC.を押す。



4 SET を押す

- 選んだ日付の最初のシーンがインデックス画面に出る。

MEMO
- メニューの「カレンダー指定」で、週の始まりの曜日を切り換えられます（ 📖 84）。

■ お好みのコマから再生する（タイムライン）

見たいシーンの任意のコマから再生できます。







1 押す

- タイムライン画面が出る。

インデックス画面に戻るとき

DISP.ボタンを押す。



2 左右に押してコマを選ぶ

他のシーンを見るとき

上下に押して選択枠を現在のシーンに移動させ、左右に押す。

コマを画面ごとに進める/戻すとき

上下に押して選択枠をコマ位置バーに移動させ、左右に押す。

コマの間隔を変えるとき

FUNC.を押す→左右に押して間隔を変える→を押す。



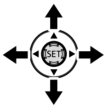
3 押して再生する

シーンを消す

1つのシーン、撮影したある日のすべてのシーン、または記録されたすべてのシーンをまとめて消すことができます。また、あらかじめ選んだシーンをまとめて消すこともできます。シーンを消すことでハードディスクまたはカードの空き容量を増やせます。撮影直後のシーンを消す場合は38ページをご覧ください。

■ ひとつのシーン、ある日のシーン、すべてのシーンをまとめて消す

モードダイヤル



1 シーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンを消す場合は、その日のシーンのうちの1つを選ぶ。
- 全シーンを消すときは、操作1は不要。



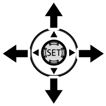
2 押す



3 消去を選ぶ

左右に押して 🗑（消去）を選ぶ → SET を押す。

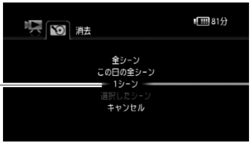




4 シーンを消す

❶「1シーン」、「この日の全シーン」または「全シーン」を選ぶ → SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。



中止するとき

SET（中止）を押す。「この日の全シーン」または「全シーン」を選んだときは操作を中止できる。一部のシーンは消去される。

❸ SET（OK）を押す。



5 押す

ご注意
- **一度消したシーンは元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください。
- シーン消去中、アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。

MEMO
- 消したシーンがプレイリストに追加されている場合は、プレイリスト上のシーンも消去されます。
- ハードディスクまたはカードに記録されているすべてのシーンを消して記憶容量を元に戻す場合は、初期化します。
- 他機で記録/編集したシーンは消去できないことがあります。

選んだシーンをまとめて消す

選択設定する

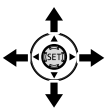
消去やコピー、プレイリストの追加などを行うシーンを、あらかじめ選んでおくことができます。静止画の場合も同じ操作であらかじめ選んで、消去やコピー、静止画プロテクト、印刷指定、送信指定ができます。

モードダイヤル

FUNC.

1 押す

- 静止画の場合は、インデックス画面に切り換えてから操作する。



2 選択画面を出す

❶ 左右に押して ☑（選択）を選ぶ→ SET を押す。

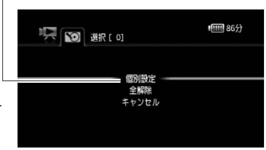
❷「個別設定」を選ぶ→ SET を押す。

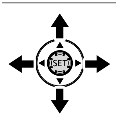
- 選択画面が出る。

選択をすべて解除するとき

❷で「全解除」を選ぶ→ SET を押す→「はい」を選ぶ→ SET を押す。







3 シーンまたは静止画を選ぶ

❶ 1つのシーン/静止画を選ぶ→ SET を押す。

- ☑ が出る。

❷ ❶の操作を繰り返して、選びたいシーン/静止画をすべて選ぶ。



FUNC.

4 2回押す

MEMO

- シーンまたは静止画は100個まで選べます。
- 選択設定は、電源を切ったりモードダイヤルを切り換えたりすると解除されます。
- プレイリストのシーンは選択設定できません。

選んだシーンをまとめて消す

シーンを選んだ後で操作します。

モードダイヤル

(FUNC.) **1 押す**

2 消去を選ぶ

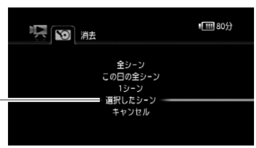
左右に押して 🗑（消去）を選ぶ
→ (SET) を押す。



3 シーンを消す

❶「選択したシーン」を選ぶ→ (SET) を押す。

❷「はい」を選ぶ→ (SET) を押す。



中止するとき

(SET)（中止）を押す。一部のシーンは消去される。

❸ (SET)（OK）を押す。

(FUNC.) **4 押す**

テレビで見る

テレビにつないで再生すると、大きな画面で鑑賞できます。
ハイビジョンテレビにつないで美しいハイビジョン映像をお楽しみください。

モードダイヤル

1 テレビの端子と使用するケーブルを確認する

テレビの入力端子	接続	使用するケーブル
HDMI端子	A	HDMIケーブル
D端子 音声端子	B	D端子ケーブル（付属） ステレオビデオケーブル（付属）
映像/音声端子	C	ステレオビデオケーブル（付属）

2 本機とテレビの電源を切る

3 テレビに接続する

4 本機とテレビの電源を入れ、
テレビ側で入力端子を切り換える

5 再生する

ビデオを見るとき（ 39）
写真を見るとき（ 100）

HDMIとは？

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI出力端子では、接続するテレビの解像度に自動的に変換して映像を出力します（ 85）。

接続A

ハイビジョン
画質で見る

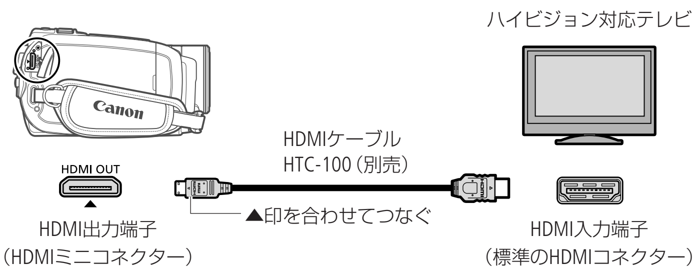
HDMI端子

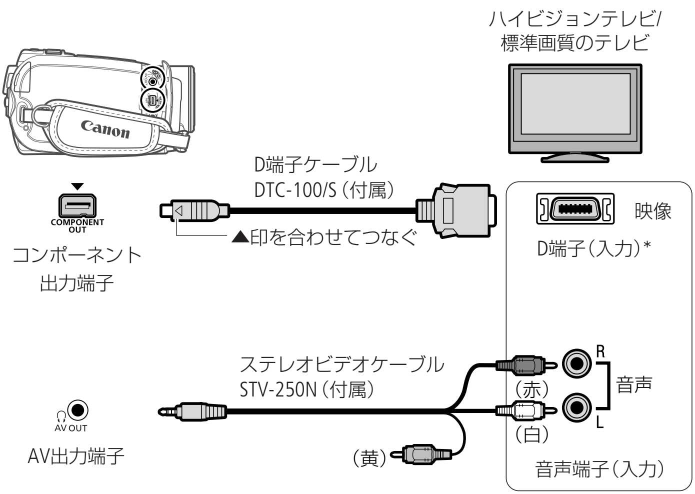
接続B

ハイビジョン
画質/標準画質で
見る

D端子
音声端子

メニュー設定

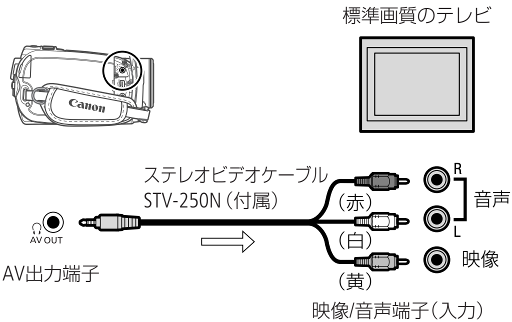


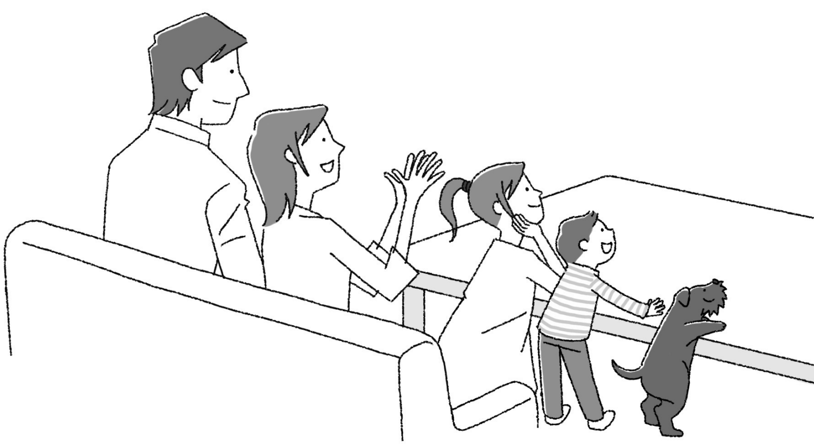


* ハイビジョン画質で見るときはD3/D4/D5端子につなぎます。

●テレビのD端子に合わせて、「コンポーネント出力」を設定する（ 📖 81）。
ハイビジョン画質で見るときは「1080i」に、標準画質で見るときは「480i」に設定します。

●「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定する（ 📖 80）。

接続C 標準画質で見る 映像/音声端子	
メニュー設定	●「AV/ヘッドホン」を「AV」に設定する（📖 80）。 ● ワイド（16：9）モードのない標準画質のテレビ（4：3）につなぐときは、「テレビタイプ」を「4：3」に設定する（動画再生時のみ）（📖 81）。

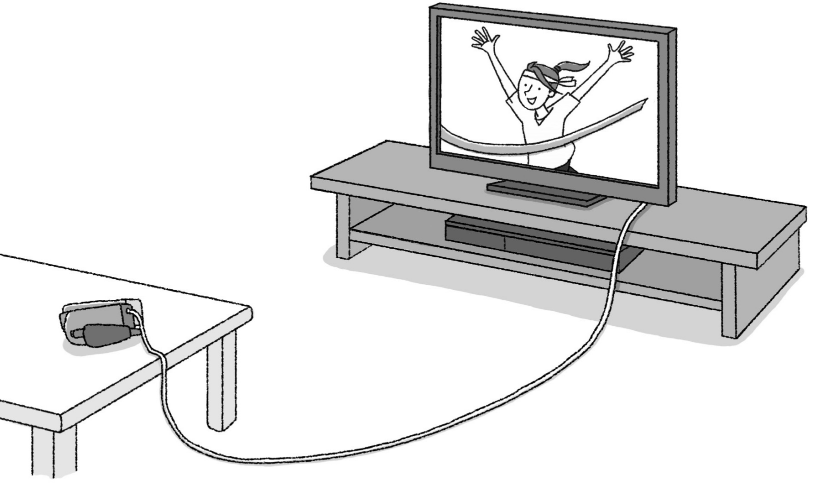


HDMI出力端子に接続するときのご注意

- 本機のHDMI出力端子は出力専用です。他の出力端子をつながないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。そのときは、他のつなぎ方で接続してください。
- HDMI出力端子で接続しているときは、他の端子から映像は出力されません。

MEMO

- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- AV出力端子にステレオビデオケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- 接続C でつなぐ場合、テレビがビデオID-1方式に対応していると、自動的にワイド画面(16:9)に切り換わります。切り換わらない場合は、テレビ側で切り換えてください。



場面に合わせて撮る

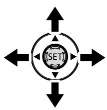
スペシャルシーンモード（SCN）

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

FUNC.

1 押す



2 撮影モードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押して を選ぶ→ SET を押す。

❸ 左右に押していずれかを選ぶ。



FUNC.

3 押す

「場面に合わせて撮るとき」に選べる項目

ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



スポーツ

動きの速い被写体を撮る。



ナイト

暗い場所で被写体を明るく撮る。



スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。



スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。



MEMO

ナイトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
- 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- 画面に白い点などが出ることがあります。
- 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください。

打上げ花火について

- 手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。
- 静止画撮影中は、シャッタースピードが遅くなるため、必ず三脚をお使いください。

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ポートレートのときにズームをT側にすると、背景がより効果的にぼけます。
- スノー/ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。

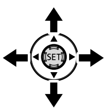
動きの速いものを撮る シャッタースピード
背景をぼかして撮る しぼり

シャッタースピードが速いと、動きの速い被写体を一瞬でとらえ、遅いと水の流れのような流動感を表現できます。しぼり数値が小さい（開く）と背景をぼかしたポートレート、大きい（閉じる）と風景を全体的にはっきりと、撮影できます。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用



1 押す



2 撮影モードを選ぶ



❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

P（プログラムAE）	シャッタースピードとしぼりが自動で設定される。
Tv（シャッター優先AE）	シャッタースピードを自分で選ぶ。しぼりは自動で設定される。
Av（絞り優先AE）	しぼりを自分で選ぶ。シャッタースピードは自動で設定される。



3 押す



TvまたはAvを選んだとき



❶ 操作案内が出ているときは、SET を押して消す。

❷ 左右に押して数値を選ぶ。

MEMO

Tv のとき

- 暗いところでスローシャッターを使うと明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化したり、ピントが自動では合いにくいことがあります。
- 高速シャッターでは、映像がちらついて、なめらかに見えないことがあります。
- 蛍光灯下で動画を撮影するとき、画面のちらつきがとれない場合は、Tv を選んでから1/100秒を選んでください。

Av のとき

- しぼり数値
  1.8、2.0、2.4、2.8、3.4、4.0、4.8、5.6、6.7、8.0
- 設定できる数値は、ズームの位置によって変わります。

- AEはAuto Exposure（オート エクスポージャー）（自動露出）、TvはTime value（タイム バリュー）（時間量）、AvはAperture value（アパーチャー バリュー）（開口量）の略です。
- 数値が点滅するときは、適正な明るさになっていません。数値が点滅しなくなるまで、シャッタースピードやしぼりを調整してください。

シャッタースピードを選ぶときの目安

例　画面に「Tv30」と出ているときは、シャッタースピードが「1/30秒」であることを表します。

（動画のとき）	（静止画のとき）	こんなときに使います
1/8、1/15、1/30秒	1/2、1/4、1/8、1/15、1/30秒	少し暗い場所で、被写体を明るく撮影するとき。水の流れなどの流動感を撮影するとき。
1/60秒	1/60秒	一般的な撮影のとき。
1/100秒	1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/250、1/500、1/1000秒	1/250、1/500秒	動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	―	晴天下でスポーツをしている人を撮影するとき。

メニューの「フレームレート」を「PF24」（76）に設定しているときのシャッタースピードは、1/6、1/12、1/24、1/48、1/60、1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000秒です。

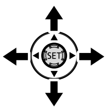
映画のように撮る　シネマエフェクト

シネマエフェクトを使用すると映画のような雰囲気のある映像を撮影できます。

モードダイヤル　　かんたん　かんたん **応用**



1 押す



2 シネマモードを選ぶ

❶ 上下に押して **P** を選ぶ。

❷ 左右に押して 🎞 を選ぶ。





3 フレームレートをPF24にする

❶ (メニュー)→ →
「フレームレート」を選ぶ
→ SET を押す。

❷ 「PF24」を選ぶ→ SET を押す。





4 押す

セルフタイマーを使う

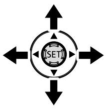
自分を入れて撮影するときに便利です。約10秒後に撮影が始まります。

モードダイヤル　かんたん　応用



1 押す

● 動画を撮影しているときは、撮影一時停止中に操作する。



2 セルフタイマーを選ぶ

❶ （メニュー）→ または →「セルフタイマー」を選ぶ→ SET を押す。

❷「入」を選ぶ→ SET を押す。



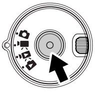
解除するとき

❷で「切」にする。



3 押す

● 画面にが出る。





4 **動画の場合** 押す

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

静止画の場合 浅く押し続け、深く押す

● 浅く押し続けるとピントが合う。

● 撮影開始までの時間が、10秒から1秒までカウントダウンされる（リモコンの場合は2秒）。

MEMO

● 撮影開始までの時間が出ているときに、スタート/ストップボタン（動画のとき）やPHOTOボタン（静止画のとき）を押すか、電源を切ると、セルフタイマーは解除されます。

明るさを調整する　露出

逆光のとき被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、使用できません。

モードダイヤル　かんたん　応用



1 SET を押す

● 操作案内が出る。



2 露出を選ぶ



❶ 下に押して「露出」の画面を選ぶ。

❷ 上（露出）に押す。

● 明るさによって長さが変わり、調整範囲も変わる。「±0」が出る。

● ズームを動かすと、明るさが変わることがある。



3 露出を調整する



❶ 左右に押す。

❷ SET を押す。

● 画面の明るさが固定され、操作案内が消える。

● もう一度 SET を押してから上（露出）に押すと、自動での露出調整に戻る。

逆光下で撮るときは

窓際や水辺の人物を撮るときなど、逆光下での撮影では、一般的に、被写体が暗くなります。このようなとき、逆光補正 を押すだけで（逆光補正マークが画面に出る）明るさを補正して、被写体を明るく撮影できます。もう一度 逆光補正 を押すと、逆光補正は解除されます。

ピントを合わせる　フォーカス

自動でピントが合いにくい場合は、ピントの調整をします（マニュアルフォーカス）。なお、ズーム操作はピントを合わせる前に行ってください。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　**応用**

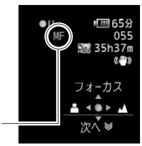
1　SET を押す

- 操作案内が出る。

2　フォーカスを選ぶ

❶ 下に押して「フォーカス」の画面を選ぶ。

❷ 上（フォーカス）に押す。



「MF」が出る。

3　ピントを合わせる

❶ 左右に押す。

- メニューの「フォーカスアシスト」を「入」に設定しているときは、画面の中央が拡大され、輪郭が強調される（📖 76）。

❷ 左右に押し続ける。

- 上に押すと、自動のピント合わせに戻る。

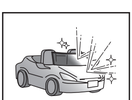
❸ SET を押す。

- ピントが固定され、操作案内が消える。
- もう一度 SET を押してから上（フォーカス）に押すと、自動のピント合わせに戻る。

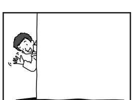
花火や山など、遠くにピントを合わせたいときは

操作2の❶の後に、ジョイスティックを上に2秒以上押し続けてください。画面に ∞ が表示されます。もう一度、上に押すとピント合わせは自動に戻ります。ジョイスティックを左右に押したり、ズームレバーを押したりすると、手動でのピント合わせに戻ります。

自動でピントが合いにくいときはどんなとき？



強い光が反射



明暗の差がない



動きが速い



水滴が付いている
ガラス越しの撮影



夜景

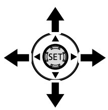
色合いを調整する ホワイトバランス

太陽光や蛍光灯など、周りの光によって白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが、P/Av/Tv/シネマモードのときに調整できます。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

FUNC.

1 押す



2 目的のホワイトバランスを選ぶ

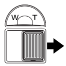


❶ 上下に押して AWB を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

AWB オート	通常は AWB（オート）を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	晴天の屋外で撮影するときに選択。
日陰	日陰で撮影するときに選択。
くもり	曇天時に撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
蛍光灯H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ（3波長型）の蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

（セット）を選んだとき



❸ 白紙、白布を写す。
T側にして、画面いっぱいに写す。



❹ SET を押す。
が点滅→点灯に変わったら調整完了。調整内容は電源を切っても記憶されている。

FUNC.

3 押す

MEMO

（セット）を選んで調整するとき

- 明るさが十分な場所で操作してください。
- メニューの「デジタルズーム」を「切」にしてください（📖 77）。
- 光が変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに が点滅→点灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB（オート）でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば、（セット）で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影
- クローズアップ撮影
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影
- 水銀灯や一部の蛍光灯のもとでの撮影

● 蛍光灯の種類によっては、（蛍光灯）や （蛍光灯H）を選んでも色合いが最適に調整されないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、AWB（オート）または （セット）を選んでください。

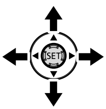
好みの画質にする　画質効果

肌をなめらかに表現してきれいに撮影することができます。ほかにも、輪郭の強調を抑えてソフトに撮影したり、コントラストに強弱を付けて撮影することもできます。撮影モードが、P/Av/Tv/シネマモードのときに設定できます。

モードダイヤル　かんたん　かんたん　**応用**



1 押す



2 目的の画質効果を選ぶ



❶ 上下に押して ◈OFF を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

◈OFF 画質効果切	画質効果を使わないとき。
◈V くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調。
◈N すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑える。
◈LS ソフト	輪郭の強調を抑える。
◈SD 美肌	肌をなめらかに表現して、きれいに見せる。
◈C カスタム	色の濃さ、シャープネス、コントラスト、明るさを自由に設定。 色の濃さ：（－）薄い、（＋）濃い シャープネス（輪郭強調）：（－）弱い、（＋）強い コントラスト（明暗差）：（－）弱い、（＋）強い 明るさ：（－）暗い、（＋）明るい

◈C（カスタム）を選んだとき



❸ SET を押す→上下に押してカスタムの項目を選ぶ。

❹ 左右に押して調整する→ SET を押す。



3 押す

場面の切り換えと特殊効果 デジタルエフェクト

映像の始まりと終わりを演出するフェーダーや、色を変えるエフェクトを使って、思い出のシーンや静止画にひと工夫加えてみましょう。静止画のときは「シロクロ」と「セピア」のみ使用できます。

フェーダー

映画のようにシーンの始まりと終わりを演出します。

F1 オートフェード



F2 ワイプ



エフェクト

シロクロやセピアにして雰囲気を出したり、絵画のようなイメージにできます。

E1 シロクロ



E2 セピア



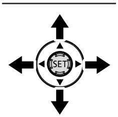
E3 アート



モードダイヤル | かんたん　かんたん 応用



1 押す



2 目的のデジタルエフェクトを選ぶ

❶ 上下に押して を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。





3 押す



4 デジタルエフェクトを有効にする

❶ SET を押す。

- 操作案内が出る。が表示されないときは下に押す。

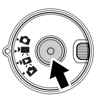
❷ 上()に押す。



緑色に変わる。

デジタルエフェクトを無効にするとき

上()にもう一度押す。



5 動画撮影時 押す

- 撮影一時停止中(●❚❚)にフェーダーを使うと、映像と音声が徐々に出る。
- 撮影中(●)に使うと、映像と音声が徐々に消えて、撮影一時停止になる。



静止画記録時 押す

- 静止画が「シロクロ」または「セピア」で記録される。

MEMO

- 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても記憶されています。

画面の表示を切り換える

画面に表示する撮影情報を切り換えられます。

モードダイヤル　　かんたん　かんたん　**応用**

DISP./
バッテリー情報

1 押す

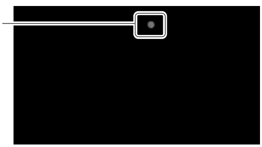
- 撮影情報が表示される。
- 表示される情報は、押すたびに切り換わる。

例：動画撮影中の場合



すべて表示

●や●❚❚は表示される。



表示なし

- 表示される内容や切り換わりかたは、モードダイヤルの位置によって異なります。

動画撮影中	すべて表示 → 表示なし*
動画再生中	すべて表示 → 「データコード表示」メニューの設定情報を表示 → 表示なし
静止画撮影中	すべて表示 → 表示なし*
静止画再生中	すべて表示 → 記録枚数、日時、画質などを表示 → 表示なし

＊ メニューで設定したマーカー（水平線やグリッド）は表示される。

データコードとは?

画面に表示される日時やカメラデータ（シャッタースピードやしぼり数値）などの撮影情報を、「データコード」といいます。動画再生時に表示されるデータコードは切り換えられます（📖 79）。

録音時の音量を変える　録音レベル

内蔵マイクや外部マイクの録音時の音量（録音レベル）を手動で調整できます。

モードダイヤル　[ビデオモード]　かんたん　応用



1 SET を押す

- 操作案内が出る。



2 録音レベルを選ぶ

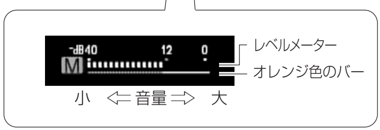
❶ 下に押して「MIC」の画面を選ぶ。
- レベルメーターが表示される。

❷ 上（MIC）に押す。
- M（マニュアル）とオレンジ色のバーが表示される。





3 録音レベルを調整する



❶ 左右に押して、録音レベルを調節する。
- レベルメーターが12より右の位置で時々点灯するように調整する。

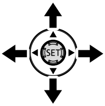
❷ SET を押す。
- 録音レベルが固定され、操作案内が消える。
- もう一度 SET を押してから上（MIC）を押すと、自動調整に戻る。

■ 録音レベルを表示する

モードダイヤル　かんたん　かんたん　応用

FUNC.

1 押す



2 レベルメーターを表示する

❶ (メニュー)→ → 「レベルメーター」を選ぶ → SET を押す。

❷ 「入」を選ぶ→ SET を押す。



FUNC.

3 押す

● レベルメーターが出る。

MEMO

● レベルメーターの0で赤く点灯するときは、音がひずむことがあります。
● レベルメーターが適切に点灯しているのに音声がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください(79)。
● 録音レベルを調整したり、「マイクアッテネーター」を使ったりするときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします(70)。

ヘッドホンを使う

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

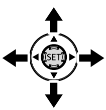
■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影/再生する

🎧（ヘッドホン）端子は、AV（映像/音声）出力端子と共通です。ヘッドホンを使うときは、メニューで切り換えます（📖 80）。

モードダイヤル | かんたん 応用

FUNC.

1 押す



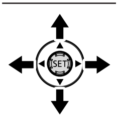
2 ヘッドホンを選ぶ

❶ メニュー（メニュー）→ [設定] →「AV/ヘッドホン」を選ぶ → SET を押す。

❷「ヘッドホン」を選ぶ → SET を押す。



● ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。



3 ヘッドホン音量を調整する

❶「ヘッドホン音量」を選ぶ → SET を押す。

❷ 左右に押して音量を調節する。→ SET を押す。



FUNC.

4 押す

● 画面に 🎧 が出る。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

モードダイヤル　　かんたん　かんたん　**応用**



1 再生中 SET を押す

● 操作案内が出る。



2 音量を調整する



❶ 上下に押して音量を調節する。

❷ SET を押す。

ご注意

● ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

● **画面に 🎧 が出ていないときは、雑音が出るためヘッドホンを接続しないでください。**

MEMO

● 再生時、モードダイヤルを切り換えると、「AV/ヘッドホン」は「AV」に戻ります。

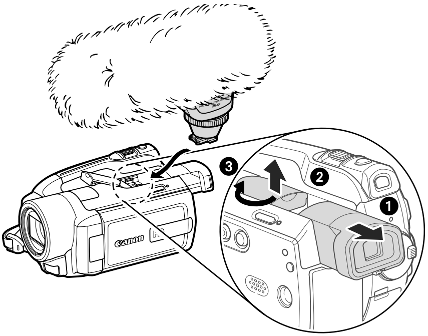
ミニアドバンストシューを使う

本機のミニアドバンストシューに、別売の指向性ステレオマイクロホンDM-100やビデオライトVL-5を取り付けられます。取り付け方や使い方については、各アクセサリーの説明書もあわせてご覧ください。

モードダイヤル ｜ かんたん ｜ かんたん 応用

■ ミニアドバンストシューに取り付ける

1. ファインダーを引き出す。
2. ミニアドバンストシューのカバーを持ち上げて、レンズ側に回す。
3. ミニアドバンストシューに取り付ける。

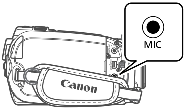


■ 別売の指向性ステレオマイクロホンDM-100を使う

とらえたい音声を確実に記録したいときなどは、指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、大切なシーンの言葉を逃しません。外部マイクDM-100を取り付けると、画面に が表示されます。

市販のマイクを使うとき

MIC端子に接続し、マイクは手に持つなどして使う。



MEMO

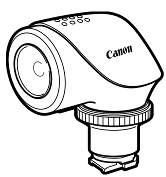
- 静かな場所で撮影するときに、内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合は、外部マイクの使用をおすすめします。
- 市販のマイクを使うときは、電源内蔵タイプのコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどが使用できます。音量は内蔵マイクと異なります。
- 外部マイク接続中、「ウィンドカット」は自動的に「切」になります。
- 本機には、右のロゴ表記があるミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機には取り付けられません。

Mini
ADVANCED SHOE

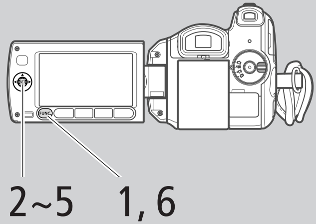
- 音声がひずむときは、メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にしてください。それでもひずむときは、録音レベル（📖 68）を調整してください。

■ 別売のビデオライトVL-5を使う

暗いところで撮影する場合、ビデオライトVL-5を使って被写体を明るく撮影できます。ビデオライトVL-5を取り付けて、ビデオライトの電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に が表示されます。



メニューの設定を変える

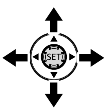


本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。かんたんボタンを応用モード（消灯）にして操作します。かんたんモード（点灯）のときは、一部を除いてご購入時の設定になります（ 📖 33）。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する



1 押す



2 上下に押して 🗒（メニュー）を選び、SET を押す



3 左右に押して項目を選ぶ

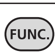


4 上下に押して機能を選び、SET を押す



5 上下に押して設定内容を選び、SET を押す





6 押す

MEMO
- FUNC.ボタンを1秒以上押したり、リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は､灰色で表示されます。
- メニューの「文字サイズ」を「大」にすると、メニュー項目が1画面に表示されないことがあります。その場合は、上下に押すと残りの項目を表示できます。

■ メニューの紹介

設定できる機能は、モードダイヤルの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。欄が「－」になっている機能は、欄外の説明をご参考ください。

/ カメラ設定1

機能	設定内容	ビデオ	写真	参照ページ
動画記録	**HDD**、カード	●	●	29
静止画記録	**HDD**、カード	●	●	29
フレームレート	60i **標準（60i）**、PF30 PF30、PF24 PF24	●		－
セルフタイマー	ON 入 、OFF **切**	●	●	59
フォーカスアシスト	ON **入**、OFF 切	●	●	－
マーカー表示	OFF **切**、水平（白）、水平（グレー） グリッド（白）、グリッド（グレー）	●	●	－
レベルメーター	ON 入、OFF **切**	●		69
静止画確認時間	OFF 切、2sec **2秒**、4sec 4秒、6sec 6秒、 8sec 8秒、10sec 10秒		●	－

フレームレート

「PF24」に設定すると、映画の雰囲気で撮影できます。

60i	通常通りに撮影する。
PF30	映像を30コマ/秒で送る方式で撮影する。インターネットに映像を掲載するときなどに便利。
PF24	映画と同じように映像を24コマ/秒で送る方式で撮影する。「シネマモード」（📖 58）と組み合わせると、より映画の雰囲気に近い映像になる。

フォーカスアシスト

ピントを調整するとき、画面の中央を拡大表示し、全体的に輪郭を強調します（📖 61）。

- 拡大表示によってピントを合わせる部分を見やすくし、輪郭を強調することでピントが合っている部分を際立たせて、ピントを調整しやすくします。
- 記録する動画/静止画には影響しません。撮影を開始すると解除されます。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）が表示されます。被写体が水平/垂直になっているかを確認しながら撮影できます。

- 撮影された動画/静止画には表示されません。

静止画確認時間

記録メディアに静止画を記録した直後に、静止画を確認する時間を変えます。

- ドライブモードで連写、高速連写、AEBを選んでいると、静止画確認時間は設定できません。
- 静止画確認時間中にDISP.ボタンを押すと、静止画が表示され続けます。PHOTOボタンを浅く押すと、撮影状態に戻ります。

カメラ設定2

機能	設定内容	ビデオ	写真	参照
デジタルズーム	OFF 切、40x 40×、200x 200×	●		–
ズームスピード	VAR 可変速、››› スピード3 ›› スピード2、› スピード1	●	●	35
AFモード	S.AF ハイスピードAF、AF ノーマルAF	●	●	–
フォーカス優先	AiAF 入:AiAF、[・] 入:中央固定、OFF 切		●	–
手ブレ補正	ON 入、OFF 切	●	●	–
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	●	●	–
ウィンドカット	A オート、OFF 切	●		–
マイクアッテネーター	ON 入 ATT、OFF 切	●		–

デジタルズーム

デジタルズームの設定を選びます。

- デジタルズームを設定したときは、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。
- デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなります。
- ズーム表示は、12倍から40倍までは水色、40倍から200倍までは青色になります。

AFモード

ピントが合う速さを選びます。

ハイスピードAF	遠くと近くの被写体に順にピントを合わせるときや、子供を追いかけるときなど被写体が速く動くときに、素早くピントを合わせる。
ノーマルAF	別売のワイドコンバーターやテレコンバーターを使うときなど、ハイスピードAFセンサーを隠してしまうときに使用する。

フォーカス優先

PHOTOボタンを浅く押したときに表示されるピントを合わせる枠（AF枠）の選びかたを変えられます。

入：AiAF	撮影状況によって、9つの枠の中から、自動でピントを合わせる枠を選ぶ。
入：中央固定	9つの枠の中央にピントを合わせる。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利。
切	PHOTOボタンを押してすぐに記録したいとき。AF枠は表示されない。

- 撮影モードをFUNC.メニューで「打上げ花火」に設定しているときは、自動的に「切」になります。

手ブレ補正

ズームの望遠側で撮影するときなど、手ブレの少ない安定した画面で撮影できます。

- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 三脚などを使って撮影するときは、手ブレ補正を切ることをおすすめします。

オートスローシャッター

暗めの室内など明るさが不足する場所でスローシャッターを使って明るく撮影します。

- 1/30秒までのスローシャッターになります。メニューの「フレームレート」を「PF24」に設定しているときは1/12秒、「PF30」に設定しているときや静止画記録時は1/15秒までになります。
- 「P（プログラムAE）」のときに設定でき、かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。
- 静止画記録時は、フラッシュが「発光禁止」のときに使用できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。
- 画面に （手ブレ警告）が出たときは、三脚などでビデオカメラを固定することをおすすめします。

ウィンドカット

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。

- 低い音の一部も風の音と一緒に低減されますので、風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

マイクアッテネーター

録音した音声がひずむときに使います。

- 録音レベル（ 68）が適切に設定されているのに録音した音声がひずむときは、マイクアッテネーターを「入」にします。「入」にすると画面に ATT が出ます。

/ 再生設定

機能	設定内容	ビデオ	写真	ページ
静止画記録	**HDD**、カード	●		29
あとからフォト画質	**LW** スーパーファイン、**LW ファイン**、LW ノーマル	●		–
データコード表示	日付、時刻、**日付&時刻**、カメラデータ	●		–
USB接続指定	DVDライター、パソコンなど、**接続時に選択**	●	●	–
DVDライター書き込み指定	**全シーン**、未作成シーン、プレイリスト	●		–
	全ての静止画、送信指定静止画		●	–
→ 印刷	–		●	125

あとからフォト画質

動画から一場面を静止画として記録するあとからフォトの画質を選びます。

データコード表示

日付や時刻、カメラデータの表示のしかたを切り換えます。

USB接続指定

他の機器とUSBケーブルでつないだときの動作を選びます。

DVDライター	DVDライターDW-100（別売）とつなぐとき
パソコンなど	パソコンやプリンターとつなぐとき
接続時に選択	USBケーブルをつないだときに、相手がDVDライターDW-100（別売）か、それ以外かを選びたいとき。

DVDライター書き込み指定

DVDライター（別売）を使って、ディスクに保存するデータを選びます。

動画：

全シーン	インデックス画面に表示している再生メディアのすべてのシーン。
未作成シーン	インデックス画面に表示している再生メディアのシーンのうち、ディスクに保存したことがないシーン。
プレイリスト	インデックス画面に表示している再生メディアのプレイリストのシーン。

静止画：

全ての静止画	画面に表示している再生メディアのすべての静止画。
送信指定静止画	画面に表示している再生メディアの静止画のうち、送信指定した静止画。

システム設定1

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	📖
文字サイズ	A 大、A 小	●	●	●	●	–
オンスクリーン表示	ON 入、OFF 切	●		●		–
液晶明るさ調整	（スライダー）	●	●	●	●	–
言語	日本語、ENGLISH（英語）	●	●	●	●	–
コンポーネント出力*	480i 480i、1080i 1080i	●	●	●	●	–
テレビタイプ *	4:3 ノーマルテレビ、16:9 ワイドテレビ		●			–
AV/ヘッドホン出力	AV AV、ヘッドホン	●	●			51
ヘッドホン音量	（音量）、OFF	●	●			70
スピーカー音量	（音量）、OFF		●			39

* HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。

文字サイズ

メニュー画面などの文字サイズを切り換えます。

大	文字サイズが大きくなる。
小	文字サイズが小さくなる。

- 「大」にすると、画面によっては表示内容が省略されることがあります。また、画面によっては文字サイズが大きくならないことがあります。

オンスクリーン表示

液晶画面に表示される情報を、本機に接続したテレビの画面に表示します。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ジョイスティックを左右に押して、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。

言語

画面に表示される言語を変えます。

コンポーネント出力

D端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i	D1端子(480i)対応のテレビにつなぐとき。
1080i	D3/D4/D5端子(1080i)対応のテレビにつなぐとき。

テレビタイプ

接続するテレビに合わせて選びます。映像の縦･横の比率を正しく再生します。

4：3　ノーマルテレビ	ノーマルテレビに接続するときに選ぶ。
16：9　ワイドテレビ	ワイドテレビに接続するときに選ぶ。

- テレビタイプの設定を「4：3」にして、「16：9」で撮影した映像を再生すると、液晶画面に表示される映像が小さくなります。
- 「あとからフォト」で動画を静止画に切りとる場合は、「16：9」に設定してください。「4：3」では静止画に切りとれません。

システム設定2

機能	設定内容	動画撮影	動画再生	静止画撮影	静止画再生	📖
リモコンセンサー	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
おしらせ音	大、小、OFF 切	●	●	●	●	–
パワーセーブ	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
クイックスタート	OFF 切、10min 10分、20min 20分、30min 30分	●		●		–
HDMI機器制御*1	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
初期化 HDD/SD	[HDD、カード] 初期化、完全初期化、キャンセル	●	●*2	●	●	30
静止画番号	オートリセット、通し番号	●	●	●	●	–
落下検出	ON 入、OFF 切	●	●	●	●	–
Firmware	–				●	–

*1 HDMIケーブルで他の機器に接続している場合は、設定できません。
*2 オリジナルのときのみ

リモコンセンサー

リモコンの信号を受け付けるかどうかを設定します。

おしらせ音

電源を入れたり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

パワーセーブ

バッテリーを使用時、約5分間何も操作をしないと、省電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「AUTO POWER OFF」が表示されます。
- スタンバイ中は、メニューの「クイックスタート」で設定した時間で電源が切れます。

クイックスタート

スタンバイ中、設定した時間になると節電のために電源が切れます。

- 「切」にすると、クイックスタート機能は使用できなくなります。

HDMI機器制御

「入」にしてHDMI機器制御機能（HDMI CEC*）に対応したテレビとHDMIケーブルでつなぐと、電源の入/切を連動させたり、ビデオカメラを接続した入力に自動で切り換えたり、テレビのリモコンで再生したりできます。

- 再生は、テレビのリモコンの▲/▼/◀/▶/決定ボタンを操作して行います。
- テレビによってはHDMI機器制御機能を有効にする必要があります。詳しくはテレビの説明書をご覧ください。
- HDMI機器制御機能に対応したテレビであっても、正しく操作できないことがあります。その場合は、ビデオカメラ側で操作して再生してください。
- HDMI機器制御機能は、本機が動画/静止画の再生モードの場合に使用できます（撮影モードで接続したときには、テレビによっては、本機が撮影中でもテレビの電源OFFに連動して本機の電源が切れることがあります）。

* HDMI CECとは、HDMI規格で決められた相互機器制御機能のことです。

静止画番号

静止画の静止画番号の付けかたを選びます。

オートリセット	静止画番号は101-0101から始まる。すでに静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	静止画番号は、最後に記録した静止画の続き番号から始まる。静止画番号の方が大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 記録された静止画は、自動的に0101～9900までの静止画番号が付き、1つのフォルダーに100枚ずつ保存されます。それぞれのフォルダーには、101～998までの番号が付きます。
- 例えば「101-0107」という静止画番号の場合、「DCIM¥101CANON」というフォルダーにある「IMG_0107.JPEG」という静止画を指します。
- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

落下検出

本機の落下を検出して内蔵ハードディスクを保護します。

入	本機の落下状態を検出すると内蔵ハードディスクを保護する。落下を検出すると [icon] が出る。
切	落下検出は動作しない。

- ご購入時は「入」になっています。通常はご購入時の設定のまま、ご使用ください。「切」にすると、落下したときにハードディスクを損傷するおそれがあります。
- 本機は落下状態（無重力状態）を検出すると、正常な撮影/再生ができないことがあります。本機を落とさなくても正常に撮影できないときは、落下検出を「切」にすると撮影できます。

Firmware

ビデオカメラの、現在のバージョンを確認できます。

- 通常は黒色で表示されます。

日時設定

機能	設定内容	[動画撮影]	[動画再生]	[静止画撮影]	[静止画再生]	[参照]
エリア/サマータイム	–	●	●	●	●	25
日付/時刻	–	●	●	●	●	25
日時スタイル	**Y.M.D（2008.1.1 AM12:00）**、M.D,Y（JAN. 1, 2008 12:00AM）、D.M.Y（1. JAN. 2008 12:00AM）	●	●	●	●	–
カレンダー指定	土曜、**日曜**、月曜		●			–

日時スタイル

日時の表示のしかたを変えます（印刷時を含む）。

カレンダー指定

カレンダー表示の開始曜日を変更できます。

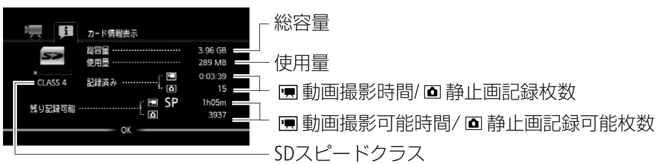
情報表示

機能	設定内容					
HDD情報表示	–	●	●	●	●	–
カード情報表示	–	●	●	●	●	–
バッテリー情報	–	●	●	●	●	23
HDMI出力状態	–	●	●	●	●	–

HDD情報表示 ／ カード情報表示

ハードディスクやカードの総容量/使用量、動画の撮影時間/撮影可能時間*、静止画の記録枚数/記録可能枚数*を確認できます。カードの場合はSDスピードクラスも確認できます。

* 現在設定している動画の録画モードや静止画の画質/サイズをもとに算出します。



**カード情報表示の画面を載せています。

バッテリー情報

バッテリーの残量(%)と撮影/再生可能時間(分単位まで)を確認できます。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

シーンを分割する

撮影したシーンを分割することで、不要なシーンを消すことができます。オリジナルのシーンのみ分割できます。

モードダイヤル

1 分割するシーンを選ぶ

2 押す

FUNC.

3 分割を選ぶ

左右に押して✂(分割)を選ぶ
→(SET)を押す

● 再生が始まる。



4 分割する



❶ 分割する位置を決める

● 早送り、早戻しやスロー再生などの再生機能（📖 42）を使って、分割する位置で一時停止する。

⏮/⏭：再生中のシーンの先頭または末尾へ。

◀II/II▶：逆コマ送り/コマ送り。

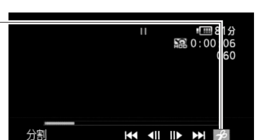
中止するとき

■(逆光補正)またはFUNC.ボタンを押す。

❷ 左右に押して✂を選ぶ
→(SET)を押す。

❸「はい」を選ぶ→(SET)を押す。

● 分割した元のシーンの次に挿入される。



MEMO

- 分割する位置を決める場合、一時停止すると分割可能な位置で止まります。コマ送りの1コマは通常再生のときの1コマより長くなります。
- 選択設定されているシーンは分割できません。分割する場合は選択を解除してください。
- 約3秒以内のシーンは分割できません。また、シーンの初めまたは終わりから約0.5秒以内の位置では分割できません。
- 本機で撮影したシーンのみ分割できます。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。その場合は、付属のImageMixer 3を使って分割/編集してください。

プレイリストを作る

プレイリストとは、撮影したシーンを再生(プレイ)したい順に並べた一覧(リスト)のことです。お好みのシーンを集めて自分だけのアルバムができます。プレイリストのシーンを移動したり、消したりしても、撮影したオリジナルデータは変わりません。

モードダイヤル

プレイリストにシーンを追加する

ひとつのシーン、ある日のシーンをまとめて追加する

オリジナルデータの1つのシーンまたは撮影したある日のすべてのシーンをプレイリストに追加できます。

1 シーンを選ぶ

- 撮影したある日のすべてのシーンを追加する場合は、その日のシーンの内の1つを選ぶ。

FUNC.

2 押す

3 プレイリスト追加を選ぶ

左右に押して (プレイリスト追加)を選ぶ→ SET を押す。



4 プレイリストに追加する



❶「1シーン」または「この日の全シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在、インデックス画面を表示している再生メディアのプレイリストに追加される。
- プレイリストに切り換えると、追加したシーンを確認できる(41)。

選んだシーンをまとめて追加する

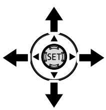
あらかじめ選んだシーンをまとめてプレイリストに追加できます。

1 シーンを選ぶ

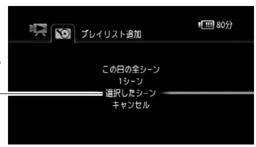
- プレイリストに追加するシーンを「選択設定」で選ぶ（ 48）。

FUNC.

2 押す



3 プレイリストに追加する



❶ 左右に押して（プレイリスト追加）を選ぶ→ SET を押す。

❷「選択したシーン」を選ぶ → SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

MEMO

- ハードディスクとカード両方のシーンを同じプレイリストに追加するときは、まず追加したいハードディスクのシーンをカードにコピー（ 92）し、次にカードのシーンを選んでプレイリストに追加します。
- 再生メディアの空き容量が少ないときや他機で記録/編集したシーンは、プレイリストに追加できないことがあります。

■ プレイリストのシーンを消す

プレイリスト内の不要なシーンを消すことができます。1シーンだけを消す方法のほかに、全シーンをまとめて消す方法もあります。

ひとつのシーン、すべてのシーンをまとめて消す

1 プレイリストのインデックス画面に切り換える

参考 ▶▶ 📖 41

2 消すシーンを選ぶ

- 全シーンを消すときは、操作2は不要。

3 FUNC. 押す

4 消去を選ぶ

左右に押して 🗑（消去）を選ぶ
→ SET を押す。



5 シーンを消す

❶「1シーン」または「全シーン」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

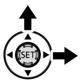
SET（中止）を押す。「全シーン」を選んだときは操作を中止できる。

❸ SET （OK）を押す。

6 FUNC. 押す

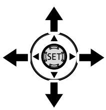
■ プレイリストのシーンを並べ換える

プレイリスト内のシーンをお好みの順に並べ換えられます。



1 プレイリストのインデックス画面に切り換える

参考 ▶▶ 📖 41



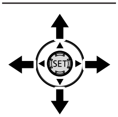
2 移動するシーンを選ぶ

FUNC.

3 押す



4 ⇅（移動）を選び、SET を押す



5 移動する位置を選ぶ

❶ バーを移動する位置に動かす→ SET を押す。



移動元位置　　移動先位置

❷ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。



MEMO

- 再生メディアの空き容量が少ないと、プレイリストのシーンの並べ換えができないことがあります。

ビデオをコピーする

1つのシーン、撮影したある日のすべてのシーン、または記録されたすべてのシーンをハードディスクからカードにのみコピーできます。あらかじめ選んだシーンをまとめてコピーすることもできます。プレイリストの場合は、すべてのシーンをまとめてコピーする方法のみになります。静止画のコピーについては、115ページをご覧ください。

モードダイヤル

■ ひとつのシーン、ある日のシーン、すべてのシーンをまとめてコピーする

1 コピーするシーンを選ぶ

- ハードディスクのシーンを選ぶ。
- 撮影したある日のすべてのシーンをコピーする場合は、その日のシーンを1つ選ぶ。
- 全シーンをコピーするときは操作1は不要。

FUNC.

2 押す

3 コピーを選ぶ

左右に押して （コピー）
または （プレイリストのコピー）
を選ぶ→ SET を押す。



4 コピーする

❶「1シーン」、「この日の全シーン」または「全シーン」を選ぶ→ SET を押す。

- プレイリストのときは「全シーン」のみのため、操作❶は不要。



❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき SET（中止）を押す。

❸ SET を押す。

FUNC.

5 押す

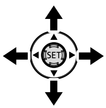
■ 選んだシーンをまとめてコピーする

1 **コピーするシーンを選ぶ**

- コピーするシーンを「選択設定」で選ぶ（📖 48）。

FUNC.

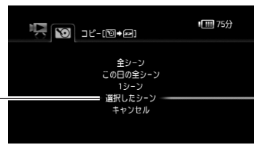
2 **押す**



3 **コピーする**

❶ 左右に押して （コピー）を選ぶ→ SET を押す。

❷「選択したシーン」を選ぶ→ SET を押す。



❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。

❹ SET（OK）を押す。

FUNC.

4 **押す**

ご注意

- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - ■ 本機に振動や衝撃を与えない。
  - ■ カードカバーを開けない。
  - ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - ■ モードダイヤルを切り換えない。

MEMO

- カードカバーが開いている、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている、などのときはコピーできません。
- 付属のImageMixer 3で編集後、本機に書き戻したシーンはコピーできません。また、他機で記録したシーンがあると、正しくコピーできないことがあります。

かんたんに撮る（基本編）…96
すべて「おまかせ」でカンタンに撮りたいときにご覧ください。

かんたんに見る（基本編）…100
撮った写真を本機で見たり、消したいときにご覧ください。

こだわって撮る/見る（応用編）105
「ビデオを撮りながら写真も撮りたい」、「フラッシュを使いたい」などこだわって撮影したいとき。

編集する……………………………112
誤って消さないよう写真を守りたいときなどにご覧ください

印刷する……………………………117
「撮った写真をさっそく印刷したい」というとき。



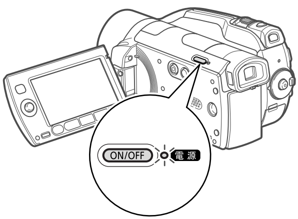
Chapter
3
写真



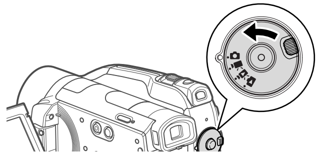
写真を撮る

静止画はハードディスクとカードに記録できます。

1 ONにする



2 📷にする

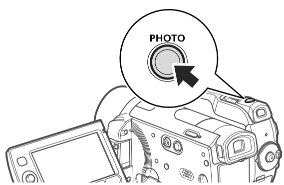




📷 が表示される。

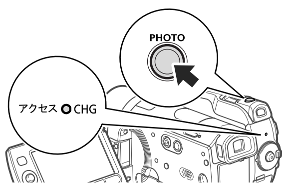
- カードに記録するとき（ 📖 29）。

3 浅く押し続ける



- ピントを調整し、終わると ⊙ が緑色になって緑色の枠が出る。
- リモコンのPHOTOボタンを押したときは、ピントを調整後すぐに静止画が記録される。

4 深く押す



- アクセスランプが点滅。

ご注意

- アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
  - カードカバーを開けない。
  - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。

MEMO
- 自動でピントが合いにくい被写体の場合は、⊙ が黄色くなります。手動でピントを調整してください（📖 61）。
- 被写体が明るすぎると「露出オーバー」が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-H37UのNDフィルターを取り付けてください。

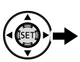
■ いま撮った写真を消す

メニューで設定した静止画確認時間中にいま撮った静止画を消せます。静止画確認時間（📖 76）を「切」に設定したときは記録直後に消します。単写で記録しているときに操作します。

モードダイヤル | かんたん　かんたん　**応用**



1 **記録直後または静止画確認時間中** 下に押す



2 静止画を消す



「はい」を選ぶ→ SET を押す。

画質やサイズを選ぶ

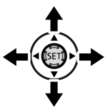
静止画のサイズは、高画質で撮るときは大きく、枚数を多く撮るときは小さく設定しましょう。**LW**を選ぶと、ワイド画面で撮影できます。







1 押す



2 静止画のサイズを選ぶ

❶ 上下に押して ◢Lを選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。



記録できる枚数の目安



3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。





4 押す

MEMO

- 画質やサイズ、撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。
- かんたんモードに切り換えても設定は変わりません。

写真 かんたんに撮る（基本編）

カードに記録できる枚数の目安

サイズ	LW 1920×1080			L 2048×1536			M 1440×1080			SW 848×480*1			S 640×480		
画質	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル	スーパーファイン	ファイン	ノーマル
128MB	50	75	150	30	50	100	65	100	200	260	370	740	340	490	890
512MB	315	470	925	205	310	625	420	625	1225	1585	2245	4495	2070	2995	5390
1GB	670	1000	1970	445	660	1325	890	1325	2595	3360	4760	9325	4395	6350	11430*2

*1 同時記録（📖 108）のとき
*2 画面には「9999」と出ますが、実際は表の枚数の目安まで記録できます。

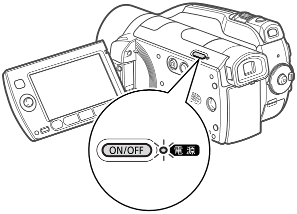
スーパーファイン：スーパーファイン、ファイン：ファイン、ノーマル：ノーマル

静止画サイズによって用途が異なります

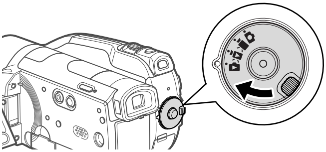
L 2048×1536 ：A4サイズまでを印刷するとき
M 1440×1080 ：Lサイズまたはポストカードサイズで印刷するとき
S 640×480 ：電子メールで添付するときやWeb用
LW 1920×1080
SW 848×480 ：ワイドサイズの用紙に印刷するとき

写真を見る 撮った静止画を見てみましょう。

1 ONにする



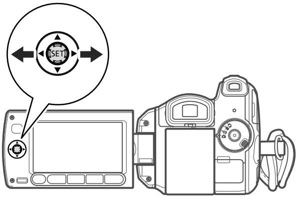
2 ▶ にする





▶ が表示される。

3 静止画を選ぶ



- 押し続けると連続して探せる。

インデックス画面から選ぶ

インデックス画面に切り換えると、動画（ 41）と同じように静止画を選べます。

インデックス画面に切り換えるとき

- （ズームレバー）をW側に押すと6枚表示になる。
- さらにW側に押すと15枚表示に、T側に押すと6枚表示になる。

再生メディアを切り換える



- 静止画を選んで SET を押すと、1枚表示になる。

インデックス画面をページごと送るとき

W または T を押し続ける。

順番に再生する（スライドショー）

撮った静止画を順番に再生します。テレビにつないで見るときなどに便利です。

スライドショーを始めるとき

1. スライドショーを始める静止画を選ぶ。
2. スタート/ストップ ボタンを押す。

スライドショーを止めるとき

逆光補正 ボタンを押す。

■ 10枚/100枚ごとに探す

静止画を10枚または100枚ごとに飛ばして表示できます。

❶ ジョイスティックの SET を押して、操作案内を出す。

❷ 上( )に押す。

❸ 左右に押すと、10枚ごとにジャンプする。

- 上下に押すたびに10枚ごと/100枚ごとのジャンプに切り換わる。
- SET を2回押すと終了する。



ご注意

● アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
- ■ 本機に振動や衝撃を与えない。
- ■ カードカバーを開けない。
- ■ 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
- ■ モードダイヤルを切り換えない。

● 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
- ■ 本機以外の製品で記録したとき。
- ■ パソコンで作成や加工をしたとき。
- ■ パソコンでファイル名を変更したとき。

写真を消す 静止画消去

モードダイヤル

■ 1枚の静止画を消す

1 静止画を選ぶ

- 静止画の1枚表示画面で消去する静止画を選ぶ。

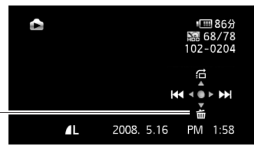
2 SET を押す

- 操作案内が出る。

3 静止画消去を選ぶ

❶ 下（🗑）に押す。

❷ 右に押して「はい」を選ぶ → SET を押す。



■ 選んだ静止画をまとめて消す

1 消す静止画を選ぶ

- 消す静止画を「選択設定」で選ぶ（📖 48）。

2 FUNC. 押す

3 静止画を消す

❶ 左右に押して 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。

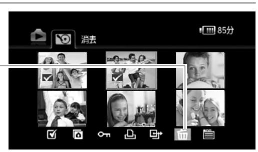
❷「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

中止するとき

SET（中止）を押す。

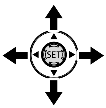
❹ SET（OK）を押す。





4 FUNC. 押す

■ すべての静止画をまとめて消す

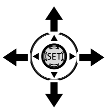


1 **消す静止画のある画面に切り換える**

- 消したい静止画がある記録メディアの画面に切り換える。

FUNC.

2 **押す**



3 **すべての静止画を消す**

❶ 左右に押して 🗑（消去）を選ぶ→ SET を押す。



❷ 「全ての静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在、表示中のハードディスクまたはカードの静止画がすべて消える。

中止するとき

SET（中止）を押す。

❹ SET（OK）を押す。

FUNC.

4 **押す**

ご注意

- **一度消した静止画は元に戻せません。消す前に静止画を確認してください。**

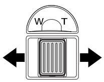
MEMO

- プロテクトされている静止画は消せません。

写真を拡大して見る　再生ズーム

静止画を再生中にズームレバーを操作すると、最大5倍まで拡大できます。拡大できない静止画のときは、 が表示されます。



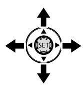


T側に押す

- 拡大した静止画を縮小したいときはW側に押す。

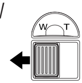
静止画を上下左右に動かす

拡大した後、静止画を上下左右に移動できます。



画面の拡大をやめる

拡大表示枠が消えるまでW側に押し続けます。





上下左右に動かすと静止画が動く。



この枠が消えるまで押し続ける。

フラッシュを使う

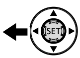
フラッシュを使うと、暗いところで静止画をきれいに撮影できます。

モードダイヤル　｜　かんたん　応用



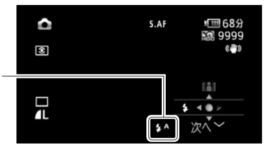
1 SET を押す

- 操作案内が出る。⚡ が表示されないときはジョイスティックを下に押す。



2 押す

- 左に押すたびに表示が変わる。
- ⚡A は約4秒後に消える。



⚡A	オート	被写体の明るさによって、自動で光る。
⚡	強制発光	被写体の明るさに関係なく光る。
⊘	発光禁止	光らない。



3 浅く押し続け、深く押す

- 浅く押し続けるとピントが合う。

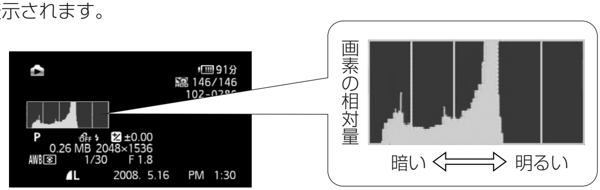
MEMO　フラッシュが発光しない場合

- ■ ϟA の場合に露出を固定したとき。
- ■ ドライブモードでAEBを選んでいるとき。
- ■ FUNC.メニューで撮影モードを「打上げ花火」に設定しているとき。
- ■ 別売のビデオライトVL-5を使用しているとき。

- ● フラッシュで撮影できる距離は、約1～2mです（撮影条件により距離は変わります）。
- ● 連写のときはフラッシュの光量が減るため、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。
- ● 露出を固定したときは、フラッシュの設定を変更できません。
- ● 別売のワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときは、影が映るため、フラッシュは使わないことをおすすめします。

静止画の明るさを図で確認する（ヒストグラム）

撮影した静止画の明るさを図（ヒストグラム）で確認できます。画素の相対量が図の右側に多いと明るく、左側に多いと暗いことを表しています。表示はDISP.ボタンで切り換えます（🕮 18）。ヒストグラムは、撮影直後の静止画確認時間中にも表示されます。



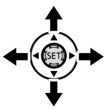
連写する　ドライブモード

運動会で走る子供を連続して静止画で記録したり、子供の表情を自動的に3段階の明るさにして撮ったりできます。撮影モードをFUNC.メニューの「打上げ花火」に設定しているときは操作できません。

モードダイヤル　　かんたん　応用

FUNC.

1 押す



2 設定する内容を選ぶ

❶ 上下に押して □ を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ。



□	単写	1枚の静止画を撮影。
	連写	連続撮影（約3枚/秒）*。
	高速連写	高速の連続撮影（約5枚/秒）*。
	AEB	標準、暗め、明るめの順で3枚の静止画を連続撮影。撮影後、最適な明るさを選べる。AEBはAuto（オート） Exposure（エクスポージャー） Bracketing（ブラケッティング）の略。

* フラッシュ使用時は約2.1枚/秒、連続記録可能枚数は60枚。

FUNC.

3 押す

PHOTO

4 浅く押す

● ピントを合わせる。

PHOTO

5 連写/高速連写の場合　深く押し続ける

AEBの場合　深く押す

MEMO

● 1回の連写で記録できる枚数は撮影条件や被写体によって変わります。スローシャッター（1/30秒以下）のときは、1秒あたりの連写枚数が少なくなります。

ビデオを撮りながら写真も撮る　同時記録

動画撮影中または撮影一時停止中に、静止画を記録できます。静止画の画質やサイズは選べます。

モードダイヤル　かんたん　応用

FUNC.

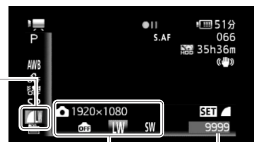
1 撮影一時停止中 押す

2 サイズを選ぶ

❶ 上下に押して OFF を選ぶ。

❷ 左右に押していずれかを選ぶ→ SET を押す。

● 静止画は16：9で記録される。



記録できる枚数の目安

3 画質を選ぶ

いずれかを選ぶ。



FUNC.

4 押す

PHOTO

5 撮影中　撮影一時停止中 押す

● 静止画が記録される。

MEMO

● デジタルエフェクト実行中やデジタルズームを使用しているときは、同時記録できません。

● 高画質での記録は静止画記録モードをおすすめします。

● 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメディアに記録されます。

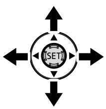
明るさの調整のしかたを選ぶ　測光

通常、カメラは被写体に当たる光を自動的に測って、撮影する明るさを決めます。夕闇に映し出されたタワーを画面の中央におさめて、きれいに撮るときには「中央部重点平均測光」を使います。被写体に応じて、光の測定方法を選択できます。

モードダイヤル　　かんたん　かんたん　**応用**

FUNC.

1 押す



2 目的の測光のしかたを選ぶ



❶ 上下に押して を選ぶ。
❷ 左右に押していずれかを選ぶ。

評価測光	ふだんの撮影のときに適している。画面内を分割して測光する。被写体の位置や明るさ、背景、順光、逆光など複雑な光の要素を本機が判断し、被写体を常に適正な明るさにする。
中央部重点平均測光	画面全体の明るさのバランスをとりながら、中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光する。
スポット測光	画面中央の被写体に明るさを合わせたいとき。画面中央の枠（[　]）内を測光する。

FUNC.

3 押す

写真でも使える便利機能

静止画記録時でも、動画のときと同じようにズームやセルフタイマーを使ったり、明るさを調整したりできます。

35

拡大して撮る

ズーム

光学ズームによって12倍まで拡大して撮影（望遠撮影）できます。

37

撮影チャンスを逃さない

クイックスタート

液晶画面を閉じると省エネ状態で待機します。再び開くと、約1秒で撮影可能状態に戻ります。

50

テレビで見る

テレビにつなぐと、撮った写真を大きな画面で観賞できます。

54

場面に合わせて撮る

スペシャルシーンモード（SCN）

海に沈む夕日や夜空を彩る打上げ花火など、場面に合わせてきれいに撮影します。

56

動きの速いものを撮る
背景をぼかして撮る

シャッタースピード/しぼり

被写体に合わせてシャッタースピードやしぼり値を調整できます。

59

セルフタイマーを使う

PHOTOボタンを押してから約10秒後に撮影されます。自分自身を撮影するときなどに便利です。

60

明るさを調整する

露出

逆光時や、強い光が当たる被写体を撮影するときなどは明るさの調整をします。

61

ピントを合わせる

フォーカス

夜景など自動でピントが合いにくい被写体を撮影するときは手動でピントを調整します。

62

色合いを調整する

ホワイトバランス

撮影時の光に関係なく「白いものを白く」写すように色調整することができます。

64

好みの画質にする

画質効果

コントラストを付けたり、肌をなめらかに表現したりするなどの効果を付けて撮影できます。

65

場面の切り換えと特殊効果

デジタルエフェクト

シロクロやセピア色にして、思い出の静止画にひと工夫加えることができます。

74

メニューの設定を変える

さまざまな機能がメニューから設定できます。設定方法は74ページを、機能紹介は75ページ以降をご覧ください。

映像を写真として切りとる あとからフォト

撮影した映像から、気に入った一場面を静止画として切りとれます。記録される静止画サイズは1920×1080になり、画質は3種類から選べます。

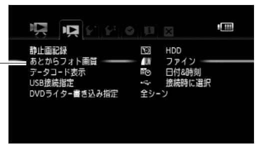
モードダイヤル

FUNC.

1 押す

2 静止画の画質を選ぶ

❶ (メニュー)→ → 「あとからフォト画質」を選ぶ→ SET を押す。



❷ いずれかを選ぶ→ SET を押す。

3 テレビタイプを確認する

- メニューの →「テレビタイプ」が「16:9ワイドテレビ」になっていることを確認する(81)。

FUNC.

4 押す

▶/❚❚ スタート/ストップ

5 押す

- 再生が始まる。
- 切りとりたい場面でもう一度押して、再生一時停止にする。

PHOTO

6 深く押す

MEMO

- 動画を撮影したときの日付や時刻が、静止画の撮影日時として設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。
- 静止画は、メニューの「静止画記録」で記録先として選んだメディアに記録されます。

写真を保護する　静止画プロテクト

大切な静止画を誤って消さないように保護します。

モードダイヤル

■ 1枚の静止画を保護する



1 静止画を選ぶ

- 静止画の1枚表示画面で保護する静止画を選ぶ。



2 押す



3 静止画プロテクトを選ぶ

- 左右に押して O┳ (静止画プロテクト)を選ぶ→ SET を押す。





4 静止画を保護する

SET を押す。

- O┳ が出て、表示中の静止画が保護される。



他の静止画を保護するとき

左右に押して、SET を押す。

保護を解除するとき

もう一度 SET を押す。



5 2回押す

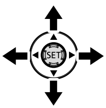
■ 選んだ静止画をまとめて保護する

1 保護する静止画を選ぶ

- 保護する静止画を「選択設定」で選ぶ（ 48）。

FUNC.

2 押す



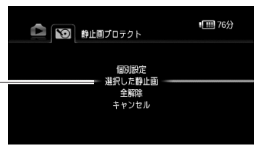
3 静止画を保護する

❶ 左右に押して （静止画プロテクト）を選ぶ→ SET を押す。

❷ 「選択した静止画」を選ぶ → SET を押す。

❸ 「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET （OK）を押す。



静止画の保護をすべて解除するとき

❷ で 「全解除」を選ぶ。

FUNC.

4 押す

MEMO

- 操作3の❷で「個別設定」を選ぶと、113ページの操作4の画面が出て、インデックス画面で選んでいる静止画を保護できる。

ご注意

- プロテクト設定をしても、記録メディアを初期化するとすべてのデータは消えます。

写真
編集する

写真をコピーする

静止画をハードディスクからカードにのみコピーできます。動画のコピーについては、92ページをご覧ください。

モードダイヤル

■ 1枚の静止画をコピーする



1 コピーする静止画を選ぶ

- ハードディスクの静止画を選ぶ。
- 静止画の1枚表示画面でコピーする静止画を選ぶ。

FUNC.

2 押す



3 コピーする

❶ 左右に押して（コピー）を選ぶ→ SET を押す。

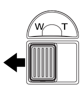
❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。



FUNC.

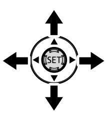
4 押す

■ 選んだ静止画、すべての静止画をまとめてコピーする



1 W側に押す

- インデックス画面に切り換わる。



2 コピーする静止画を選ぶ

- ハードディスクの静止画を選ぶ。
- 選んだ静止画をまとめてコピーする場合は、コピーする静止画を「選択設定」で選ぶ（48）。
- すべての静止画をコピーするときは操作2は不要。

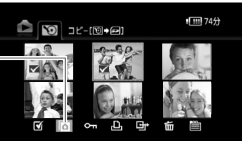
FUNC.

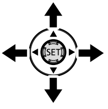
3 押す



4 コピーを選ぶ

● 左右に押して (コピー)を選ぶ→ SET を押す。

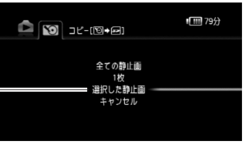




5 コピーする

❶「選択した静止画」または「全ての静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❷「はい」を選ぶ→ SET を押す。



中止するとき

SET (中止)を押す。

❸ SET (OK)を押す。

1枚の静止画をコピーするとき

❶ で「1枚」を選ぶ→「はい」を選ぶ→ SET を押す。

FUNC.

6 押す

ご注意

● アクセスランプが点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
- 本機に振動や衝撃を与えない。
- カードカバーを開けない。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
- モードダイヤルを切り換えない。

MEMO

● カードの空き容量が足りない場合、コピーは中断されます。

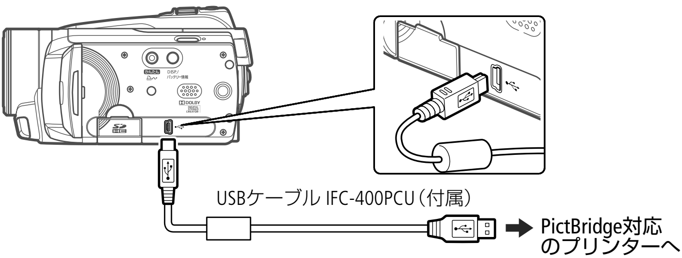
● カードカバーがあいている、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっている、などのときはカードへコピーできません。

● 他機で記録した静止画は正しくコピーできないことがあります。

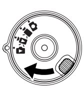
写真を印刷する

本機に直接、別売のPictBridge対応プリンターを接続できます。パソコンなしで簡単な操作で印刷できます。印刷指定すると連続で印刷できます（□ 123）。
キヤノン製プリンターの場合は、PictBridge対応のSELPHY CP/ES/DSシリーズやPIXUSシリーズを使用できます。

■ プリンターとつなぐ PictBridge



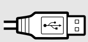
モードダイヤル



1 本機 ▶ にする

● インデックス画面が表示されているときは、ズームレバーをW側に押して1枚表示画面にする。

2 プリンター 電源を入れる



付属のUSBケーブル

3 本機とプリンターをつなぐ

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選び、SET を押す。

● 本機の画面に が点滅した後、 が出る。
● （イージーダイレクト）ボタンが点灯し、現在の印刷設定が約6秒間画面に出る。



ご注意

- 操作3で が約1分以上点滅し続ける場合、または が出ない場合は、ビデオカメラとプリンターから接続ケーブルを抜き、電源を入れ直してからつないでください。
- すべての静止画の消去中やすべての印刷指定/送信指定の解除中は、プリンターにつないでも認識されません。

MEMO

- 印刷できない静止画のときは が表示されます。
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- プリンターの説明書もあわせてご覧ください。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、プリンターとつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- ハードディスクまたはカードに1800枚以上の静止画があると、PictBridge対応プリンターに接続できません。
- プリンター接続時は、静止画を100枚以下にすると快適に操作できます。

■ 簡単に1枚印刷する

静止画を選んでそのまま1枚印刷するときは、 ボタンを押すだけで印刷できます。

モードダイヤル



1 印刷する静止画を選ぶ



2 押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。
- 印刷中は ボタンが点滅し、終了すると点灯。

続けてほかの静止画を印刷するとき

左右に押して静止画を選ぶ。

■ 用紙や枚数などを選んで印刷する







1 操作案内が出ていないとき

SET を押す

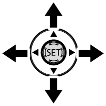
● 操作案内が出る。



2 下（🖶）に押す

● 印刷設定画面が出る。





3 設定する項目を選び、SET を押す

用紙設定	用紙サイズ	プリンターによって異なります。
	用紙タイプ	フォト、高級フォト、標準設定、普通紙
	レイアウト	フチなし*1、フチあり、2/4/8/9/16面配置、標準設定
（日付印刷）		入、切、標準設定
（画像補正-イメージオプティマイズ）*2		入、切、VIVID*3、NR、VIVID+NR*3、標準設定
（印刷枚数）		1～99枚

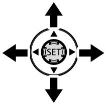
*1 撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右をカットして印刷されることがある。

*2 画像補正機能（イメージオプティマイズ）付きプリンターを使うときのみ

*3 キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズをお使いの場合のみ



4 設定内容を選び、SET を押す



5 「印刷」を選び、SET を押す

- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻る。

続けてほかの静止画を印刷するとき

左右に押して静止画を選ぶ。

印刷を中止するとき

印刷中に SET を押す。確認画面が出たら、「OK」を選び、SET を押す。

印刷が終了したとき

1. USBケーブルを本機とプリンターから抜く
2. 本機の電源を切る

印刷中に異常が発生したとき

「用紙がありません」、「用紙が詰まりました」、「インクがありません」などのお知らせ表示が本機の画面に出るので、トラブルを解決する。

キヤノン製のPictBridge対応プリンターの場合

以下のいずれかの操作をする。

- ジョイスティックで[続行]を選んで SET を押す。
- [中止]を選んで SET を押して印刷し直す。

上記操作をしても再開しない場合

USBケーブルを抜き差しした後、本機の電源を入れ直す。

ご注意

- 他機で記録や作成・加工したり、ファイル名を変更したりした静止画は、PictBridge対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
- 本機とプリンターをつないでいるときに、「処理中...」が長時間表示される場合、USBケーブルを一度抜き、つなぎ直してください。

MEMO

- 設定内容は接続するプリンターによって異なります。「標準設定」は、お使いのプリンターであらかじめ設定されている内容です。詳細については、プリンターの説明書をご覧ください。

「用紙設定」の「レイアウト」で設定できる配置（キヤノン製プリンター）

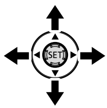
	カード	L判	はがき	A4
PIXUS/SELPHY DSシリーズ	—	—	2/4/9/16面配置（専用のシール紙にも印刷可能）	4面配置
SELPHY ES/CPシリーズ	2/4/8面配置（8面配置のとき専用のシール紙にも印刷可能）	2/4面配置	2/4面配置	

* SELPHY CPシリーズの場合は、ワイド用紙を使用して「標準設定」を選ぶと、2/4面配置ができます。

印刷する範囲を選ぶ　トリミング

用紙設定などの印刷設定（📖 119）を行った後に、トリミングを設定します。
トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

モードダイヤル

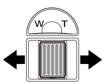


1 トリミングを選ぶ

「トリミング」を選ぶ→ SET を押す

- 緑の枠が出る。





2 W側またはT側に押す

- 印刷される枠の大きさが変わる。

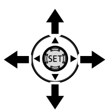


縦長と横長を切り換えるとき

SET を押す。

トリミングを解除するとき

枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に押す。



3 上下左右に押す

- 枠が移動する。





4 押す

- トリミングが設定され、印刷設定画面の静止画に緑の枠が出る。
- 印刷するときは120ページの操作5をご覧ください。

MEMO　**トリミングの設定が解除される場合**

- 本機の電源を切る。接続ケーブルを抜く。
- トリミングの枠を、最大より大きくする。
- 用紙サイズを変える。

- 他機から取り込んだ静止画はトリミングできないことがあります。

印刷する写真を選ぶ　印刷指定

印刷したい静止画と枚数を指定できます。998枚までの静止画に印刷指定できます。PictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。本機にUSBケーブルをつなぐ前に、操作をしてください。

モードダイヤル

■ 1枚の静止画を印刷指定する



1 静止画を選ぶ

- 静止画の1枚表示画面で印刷指定する静止画を選ぶ。

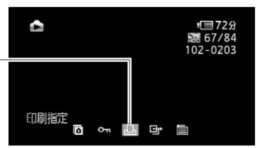
FUNC.

2 押す



3 印刷指定を選ぶ

左右に押して (印刷指定)を選ぶ→ SET を押す。



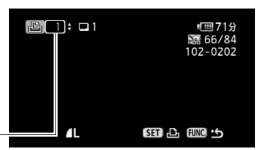


4 枚数を選ぶ

❶ SET を押す。

- 枚数がオレンジ色になる。

❷ 上下に押して枚数を選ぶ→ SET を押す。



他の静止画を印刷指定するとき

左右に押して静止画を選び、❶❷の操作を行う。

印刷指定を解除するとき

❷ で枚数を「0」にする。

FUNC.

5 2回押す

■ 選んだ静止画をまとめて印刷指定する

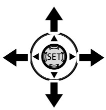
選んだ静止画に、1枚の印刷指定をまとめて設定します。

1 印刷指定する静止画を選ぶ

- 印刷指定する静止画を「選択設定」で選ぶ（□ 48）。

FUNC.

2 押す



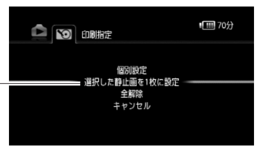
3 静止画を印刷指定する

❶ 左右に押して 🖨（印刷指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷「選択した静止画を1枚に設定」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET（OK）を押す。



FUNC.

4 押す

MEMO

- 操作3の❷で「個別設定」を選ぶと、123ページの操作4の画面が出て、インデックス画面で選んでいる静止画を印刷指定できる。

■ 印刷する

付属のUSBケーブル

1 本機とプリンターをつなぐ(🕮 117)

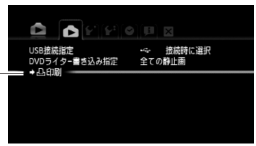
FUNC.

2 押す

3 印刷を選ぶ

(メニュー)→ [再生] →
「➡ 印刷」を選ぶ→ SET を押す。

- 印刷設定画面が出る。
- 印刷指定をしていないときは、「 印刷指定が必要です」が出る。
- 接続するプリンターによっては、この後、用紙設定などの印刷設定ができる(🕮 119)。

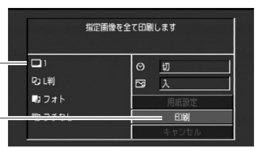


4 印刷する

- 印刷指定による全印刷枚数が出る。

「印刷」を選ぶ→ SET を押す。

- 印刷が始まり、終了すると再生画面に戻る。

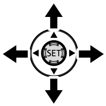


MEMO 印刷を中止するとき(🕮 120)

印刷を再開するとき

- FUNC.ボタンを押し、(メニュー)→「➡ 印刷」を選びます。印刷設定画面から「印刷」(1枚目で中断したとき)または「再開」(2枚目以降で中断したとき)を選び、SET を押すと、残りの静止画が印刷できます。
- 印刷を再開する前に印刷指定を変更したり、印刷指定をした静止画を消した場合は再開されません。

■ すべての印刷指定を消す

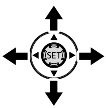


1 印刷指定を解除する静止画のある画面に切り換える

- 印刷指定を解除したい静止画がある記録メディアの画面に切り換える。

FUNC.

2 押す



3 すべての印刷指定を解除する



❶ 左右に押して (印刷指定)を選ぶ→ SET を押す。

❷「全解除」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 現在、表示中のハードディスクまたはカードにある静止画の印刷指定がすべて解除される。

❹ SET（OK）を押す。

FUNC.

4 押す

Chapter

4

保存

Copying and Backing Up Movies/Photos

映像をバックアップする ………… 128

撮った映像をバックアップするときにご覧ください。

ハイビジョンDVD/フォトDVDを作る … 129

撮った映像からハイビジョン画質のDVDを作りたいとき。

ほかのビデオ機器へ録画する …… 134

撮った映像をほかのビデオ機器へダビングしたいときにご覧ください。

パソコンに写真を取り込む …… 136

パソコンに写真を取り込んで見たいときにご覧ください。

パソコンに送る写真を選ぶ … 139

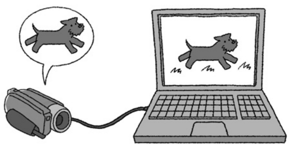
写真と枚数を選んでパソコンに取り込みたいときにご覧ください。

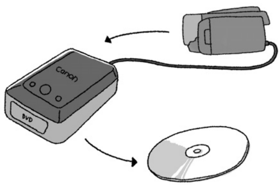


映像をバックアップする

撮影した映像は内蔵ハードディスクやカードに記録されます。万一に備えてパソコンなどにバックアップしましょう。

モードダイヤル





シーンを選んでバックアップする

付属のPIXELA ImageMixer 3 SE（以下、ImageMixer 3）を使うと、シーンを選んでパソコンにバックアップできます。パソコンに保存した映像を本機に書き戻したり、ImageMixer 3のアルバムに整理することもできます。詳しくはImageMixer 3の中にある取扱説明書をご覧ください。

パソコンがない場合は

次の方法で保存できます。

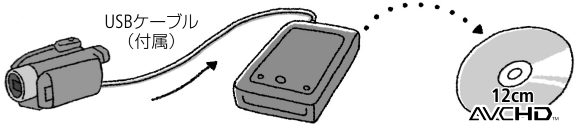
- DVDライターDW-100（別売）を使用してハイビジョンのDVDに保存（📖 129）
- ビデオ機器、DVD/HDD機器にダビングして保存（📖 134）

ご注意

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- 本機に接続したパソコンから本機のハードディスクまたはカード内のフォルダー/ファイルを直接操作すると、記録したデータが破損する恐れがあります。映像データをパソコンに保存したり、本機に書き戻したりするときは、付属のImageMixer 3を使って行ってください。

ハイビジョンDVD/フォトDVDを作る

DVDライターDW-100（別売）を使って、大切な映像をハイビジョン（AVCHD規格）画質のままディスクに保存できます。また、本機で撮った静止画をDVDに保存することもできます（フォトDVD）。本書とDVDライターの説明書をあわせてご覧ください。



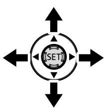
本機にコンパクトパワーアダプターをつないで操作してください。

モードダイヤル



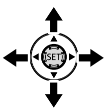
1　本機　電源を入れ、にする

フォトDVDを作るとき　にする。



2　本機　記録メディアを切り換える

- 記録メディアを切り換えて、保存するデータのあるインデックス画面を出す（41）。
- フォトDVDを作るときは、静止画の1枚表示画面からも操作できる。



3　本機　ディスクに保存するデータを指定する

❶ FUNC.ボタンを押す。

❷ （メニュー）→またはは→「DVDライター書き込み指定」を選ぶ→SETを押す。 参考 ▶▶ 80



❸「全シーン」、「未作成シーン」または「プレイリスト」を選ぶ→SETを押す。

- MXPモードのシーンは保存できない。MXPモードのシーンがあるときは、それ以外のシーンのみプレイリストに登録し、ここで「プレイリスト」を選ぶ。

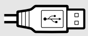
フォトDVDを作るとき

「全ての静止画」または「送信指定静止画」を選ぶ。

❹ FUNC.ボタンを押す。

4 DVDライター 電源を入れる

参考 ▸▸ DVDライター使用説明書の「DVDを作成する」



付属のUSBケーブル

5 本機とDVDライターを接続する

参考 ▸▸ DVDライター使用説明書の「接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

- 接続準備のあと、「ディスクがありません」が出る。

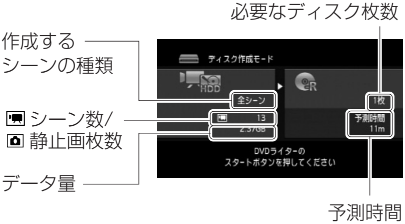
6 DVDライター 未使用のディスクを入れる

❶ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを開く。

❷ 未使用のディスクを入れる。

❸ OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレイを閉じる。

- 本機の画面に確認画面が出るので、予想時間や必要なディスク枚数などを確認し、ディスクを準備する。



「使用済み-RWディスクです」が出たとき

上書きするときは、SET を押す→「はい」を選ぶ→ SET を押す。

- 上書きすると記録されていたデータはすべて消去されます。

7 DVDライター スタートボタンを押す

- 本機の画面に書き込み状況が出る。
- スタートボタンを押してディスクの作成を開始した後は、中止できません。
- 「終了しました」が出たら、ディスクを取り出してディスクトレイを閉じる。

「未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉じてください」が出たとき

❶ 未使用のディスクを入れる。

❷ OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレイを閉じる。

同じディスクをもう1枚作るとき

未使用のディスクを入れてディスクトレイを閉じる。

ご注意

作成したディスクを他機で再生する場合

	AVCHD規格対応 DVDプレーヤーまたはブルーレイディスクプレーヤー	AVCHD規格非対応プレーヤー
FXP/XP+/SP/LPモードの映像を保存したDVD	○ 再生できる	× 再生できない

ご注意：×が付いているプレーヤーにディスクを入れないでください。取り出せなくなることがあります。

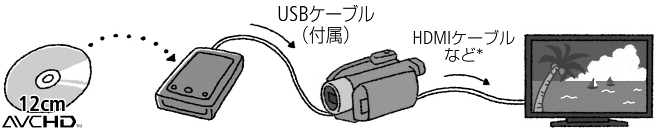
- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのアクセスランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やDVDライターの電源を切らない。バッテリーなどの電源を取りはずさない。
  - モードダイヤルを切り換えない。

- 保存するシーン数が多いと、操作5の接続準備に時間がかかることがあります。保存するシーン数は500シーン以内をおすすめします(その場合、接続準備にかかる時間は約3分以内です)。
- ディスクの取り扱い上のご注意やDVDライターの操作については、DVDライターの説明書をご覧ください。

MEMO
- 1枚のディスクに入りきらないシーンは、シーンの途中から次のディスクに保存される場合があります。

■ ハイビジョンDVDを見る

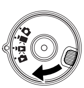
本機とDVDライターDW-100（別売）を使って、ハイビジョンのディスクを再生できます。ハイビジョンテレビにつないで、高精細なハイビジョン映像をお楽しみください。本書とDVDライターの説明書をあわせてご覧ください。



* 本機とテレビの接続については、50ページをご覧ください。

モードダイヤル

1 本機とテレビを接続する



2 本機 電源を入れ、再生モードにする

3 DVDライター 電源を入れ、「再生モード」にする

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「DVDを再生する」



4 本機とDVDライターを接続する

参考 ▶▶ DVDライター使用説明書の「接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「DVDライター」を選ぶ→ SET を押す。

5 DVDライター 再生するディスクを入れる

- ディスクの内容がインデックス画面に出る。



6 本機 見たいシーンを再生する

ご注意

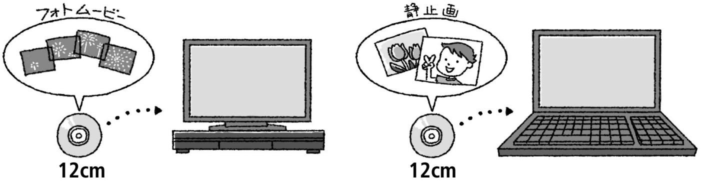
- DVDライターと接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。

MEMO

- DVDライターDW-100で作成したハイビジョンのディスクが再生できます。
- DVDライターと接続中は、メニューやFUNC.メニューは使用できません。
- 約60倍の早送り/早戻し以外の再生機能が使用できます（📖 42）。

フォトDVDを見る

フォトDVDに作成したフォトムービーは、DVD-Video規格に対応したDVDプレーヤーやDVDレコーダーで再生できます。また、フォトDVDに保存した静止画はパソコンで読み込むことができます。なお、フォトムービーはAVCHD規格ではありません。



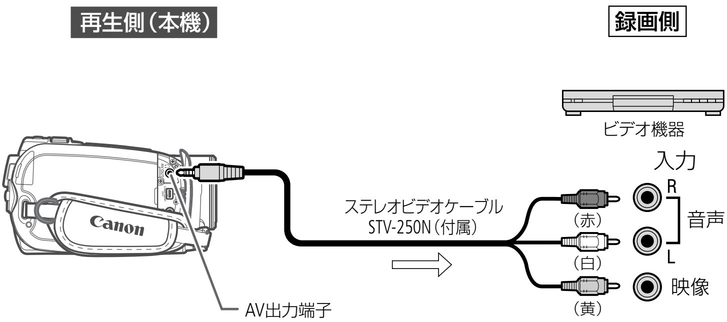
MEMO

- フォトDVDは、DVDライターDW-100では再生できません。

ほかのビデオ機器へ録画する

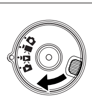
本機で撮った動画を映像/音声入力端子付きのビデオ機器にダビングできます。ハイビジョンで記録した動画は、標準画質でダビングされます。

■ 接続する



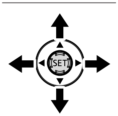
■ 操作する





1 本機 にする

2 録画機 録画一時停止状態にする



3 本機 再生を始めるシーンを選ぶ

保存



4 本機 押す

- 再生が始まる。
- 本機に表示される日時やカメラデータを入れて録画できる。DISP.ボタンを押すたびに、表示が切り換わる（📖 67）。

5 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

6 録画機 録画を終える



7 本機 押す

- 再生が終わる。

MEMO
- コンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。

パソコンに写真を取り込む

ダイレクト転送

付属のUSBケーブルとDigital Video Softwareを使うと、（イージーダイレクト）ボタンを押すだけで、簡単に静止画をパソコンに転送できます。

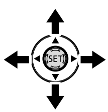
■ 準備する

はじめてビデオカメラをパソコンにつなぐときには、ソフトウェアのインストールと自動起動の設定が必要です。2度目からは、ビデオカメラをパソコンにつなぐだけで、準備は完了です。

モードダイヤル

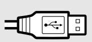
1 パソコンにDigital Video Softwareをインストールする

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskスタートガイド



2 取り込む静止画があるメディアの画面に切り換える

- パソコンに取り込みたい静止画がある、ハードディスク/カードのインデックス画面に切り換える。



付属のUSB ケーブル

3 本機とパソコンをつなぐ

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「ビデオカメラをパソコンに接続する」

「接続機器を選択してください」が出たとき

「パソコンなど」を選び、SET を押す。

Windowsのとき

接続ソフトウェア「CameraWindow」が自動で起動するようにパソコンで設定する。

参考 ▶▶ DIGITAL VIDEO Solution Diskの中にある使用説明書の「CameraWindowを起動する」

- ビデオカメラの画面にダイレクト転送メニューが出て、ボタンが点灯。

保存

ご注意

- パソコンに接続しているときは、カードカバーを開けたり、カードを抜き差ししないでください。
- ビデオカメラのアクセスランプが点滅しているときは、次のことを必ず守ってください。データが破損することがあります。
  - 本機に振動や衝撃を与えない。
  - カードカバーを開けない。
  - USBケーブルを抜かない。
  - 本機やパソコンの電源を切らない。
  - モードダイヤルを切り換えない。
- 使用するソフトウェア、パソコンの仕様/設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- 大切な元のデータを消さないために、静止画は必ずパソコンにコピーし、コピーした静止画をパソコンで使用してください。
- すべての静止画の消去中やすべての印刷指定/送信指定の解除中は、パソコンにつないでも認識されません。

MEMO

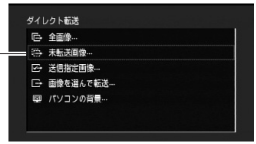
- 本機にコンパクトパワーアダプターをつないで使うことをおすすめします。
- パソコンの説明書もあわせてご覧ください。
- Windows Vista、XPとMac OS Xをお使いの場合、付属のDigital Video Softwareをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画をパソコンに取り込めます。
- DVDライターを使用しない場合は、メニューの「USB接続指定」を「パソコンなど」にすると、パソコンをつないだときに「接続機器を選択してください」が出なくなります。
- ハードディスクまたはカードに1800枚以上(Windows)/1000枚以上(Macintosh)の静止画があると、パソコンに取り込めないことがあります。その場合はカードリーダーなどをお使いください。ハードディスクの場合はカードに静止画をコピーしてから行ってください。

■ 静止画を転送する



1 転送方法を選ぶ

転送方法を選ぶ。



全画像	すべての静止画。
未転送画像	まだ転送していない静止画。
送信指定画像	送信指定した静止画（📖 139）。
画像を選んで転送	静止画を選んで転送。
パソコンの背景	パソコンのデスクトップの背景にする静止画。

「画像を選んで転送」「パソコンの背景」のとき



❶ (SET) を押す。
❷静止画を選ぶ。





かんたん

2 押す

- 全画像、未転送画像、送信指定画像：転送された静止画がパソコンの画面に出る。転送を中止するときは、(SET)（キャンセル）を押す。
- 「画像を選んで転送」の場合は転送された静止画がパソコンの画面に出る。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、続けて他の静止画を選ぶときは操作1の❷～操作2を繰り返す。
- 「画像を選んで転送」、「パソコンの背景」の場合、転送中は ボタンが点滅する。
- FUNC.ボタンを押すと、操作1の画面に戻る。

MEMO
- ビデオカメラとパソコンをつないだときに、静止画を選ぶ画面が出た場合は、FUNC.ボタンを押してください。ダイレクト転送メニューになります。

パソコンに送る写真を選ぶ

送信指定

パソコンに転送する静止画を指定できます。998枚までの静止画に送信指定できます。本機とパソコンをUSBケーブルで接続する前に、操作をしてください。

■ 1枚の静止画を送信指定する

モードダイヤル

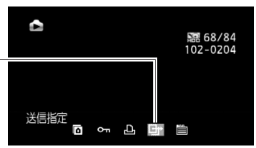
1 静止画を選ぶ

- 静止画の1枚表示画面で送信指定する静止画を選ぶ。

2 押す FUNC.

3 送信指定を選ぶ

左右に押して（送信指定）を選ぶ→ SET を押す。



4 送信指定する

SET を押す。

- ☑ が出る。



他の静止画を指定するとき

ジョイスティックを左右に押して、SET を押す。

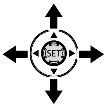
設定を解除するとき

もう一度 SET を押す。

5 2回押す FUNC.

- 送信指定した静止画をパソコンに転送する（📖 138）。

■ 選んだ静止画をまとめて送信指定する

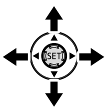


1 送信指定する静止画を選ぶ

- 送信指定する静止画を「選択設定」で選ぶ（📖 48）。

FUNC.

2 押す



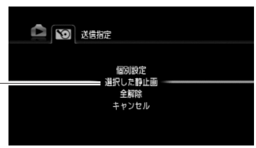
3 静止画を送信指定する

❶ 左右に押して 📤（送信指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷「選択した静止画」を選ぶ→ SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。

❹ SET（OK）を押す。



FUNC.

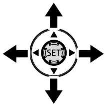
4 押す

MEMO

- 操作3の❷で「個別設定」を選ぶと、139ページの操作4の画面が出て、インデックス画面で選んでいる静止画を送信指定できる。

保存

■ すべての送信指定を消す

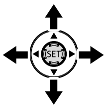


1 送信指定を解除する静止画のある画面に切り換える

- 送信指定を解除したい静止画がある記録メディアの画面に切り換える。



2 押す



3 すべての送信指定を解除する

❶ 左右に押して（送信指定）を選ぶ→ SET を押す。

❷「全解除」を選ぶ → SET を押す。

❸「はい」を選ぶ→ SET を押す。



- 現在、表示中のハードディスクまたはカードにある静止画の送信指定がすべて解除される。

❹ SET（OK）を押す。



4 押す

故障かな？ …… 144

「故障かな？」と思ったときや、いつも通りに操作できないときにご覧ください。

メッセージが出たら？ …… 152

画面にメッセージが出たときにご覧ください。

安全上のご注意 …… 165

安全に使っていただくための注意事項です。かならずお読みください。

取り扱い上のご注意 …… 169

取り扱うときに注意していただきたいことについて説明しています。

日常のお手入れ …… 175

本機の汚れが気になったときのお手入れ方法について。

海外で使う …… 176

旅先で充電する、テレビで見るなど、海外で使うときにご覧ください。

その他 …… 178

アクセサリーや仕様などについて知りたいときにご覧ください。



Chapter
5
ふろく



故障かな？

修理に出す前に下記のことをもう一度確認してください。それでも直らないときは、修理受付センターまたはご購入になった販売店にご相談ください。



まずココを確認しよう！

電源

- □ バッテリーは充電されていますか？（📖 22）
- □ 本機はコンパクトパワーアダプターに正しく接続されていますか？（📖 22）

撮影するとき

- □ 電源を入れてモードダイヤルを 🎥 または 📷 にしていますか？（📖 32、📖 96）
- □ カードに記録する場合は、本機にカードが入っていますか？（📖 28）

再生するとき

- □ 電源を入れてモードダイヤルを ▶🎥 または ▶📷 にしていますか？（📖 39、📖 100）
- □ カードから再生する場合は、本機にカードが入っていますか？（📖 28）

■ 電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	22
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。	22
	● バッテリーの温度が40℃以上になっている。バッテリーを放置して、40℃以下になってから充電を開始する。 ● 周囲が0℃～40℃の温度のときに充電する。	23
	● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	

コンパクトパワーアダプターから音がする。	● コンパクトパワーアダプターを使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	–
長時間使うと熱くなる。	● 故障ではない。電源を切ってから、涼しい場所でしばらく放置し、本機を冷ます。	–
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。 新しいバッテリーを購入する。	–

■ 撮影中

スタート/ストップボタンを押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。 ● 記録メディアに空き容量がない。または撮影できるシーン数を超えている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。 ● (落下検出)が出ているときは、撮影できないことがある。 ● 本機が高温になっている(が画面に出る)ので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。 ● 本機が低温になっている(が画面に出る)ので、一度電源を切り、急激な温度変化を避けて暖かい場所に移動してから電源を入れる。	– 46 102 30 169 – –
スタート/ストップボタンを押した時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	● スタート/ストップボタンを押してから、実際に録画が始まったり終わったりするまでに、時間差が多少かかることがある。故障ではない。	–
撮影を始めても、すぐ止まってしまう。	● 大音量の場所、振動する場所から移動する。 ● 本機が高温になっている(が画面に出る)ので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	–

こんなときは	どうするの？	📖
ピントが合わない。	●被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ●視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ●レンズやハイスピードAFセンサーが汚れているのでお手入れする。	61 34 175
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	●撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切った場合、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	–
動画の「●撮影/●❚❚撮影一時停止/▶再生」の切り換えに時間がかかる。 直前のシーンの確認に時間がかかる。	●シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップして記録メディアを初期化する。	128 136 30
静止画が記録できない。	●FUNC.メニューの「静止画記録」を「OFF 静止画記録切」に設定している場合は、ビデオを撮りながら同時に写真を記録できない。 ●ズーム倍率がデジタルズーム領域で撮影中やデジタルエフェクト実行中は、ビデオを撮りながら同時に写真を記録できない。	108 –

■ 再生中

再生ボタンを押しても再生しない。	●本機が高温になっている（ が画面に出る）ので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。 ●本機が低温になっている（ が画面に出る）ので、一度電源を切り、急激な温度変化を避けて暖かい場所に移動してから電源を入れる。	– –

プレイリストに追加できない。	● プレイリストに映像が999シーンある場合は追加できない。MXP/FXPモードとそれ以外のモードのシーンが混在する場合は、999シーン未満でも追加できないことがある。 ● 他機で記録/編集したシーンは追加できないことがある。	– –
シーンの消去ができない。	● 他機で記録/編集したシーンは消去できないことがある。	–
シーンの消去に時間がかかる。	● シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップして記録メディアを初期化する。	128 136 30
静止画を消せない。	● 静止画のプロテクト設定を解除する。	113

■ 表示やランプ

画面で が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	22
画面に が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	–
が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。 ● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画または静止画を消す。	28 30 46 102
が赤く点灯する。	● 故障ではない。電源を切ってから、涼しい場所でしばらく放置し、本機を冷ます。	–
が赤く点滅する。	● 本機が故障している。修理受付センターにご相談ください。	–
撮影を中断してもアクセスランプが点灯している。	● 撮影したシーンをハードディスクに書き込んでいる。故障ではない。	–

こんなときは	どうするの？	
電源ONのときにアクセスランプの点滅が長く続く。	● ハードディスクを修復しているので電源を切らない。故障ではない。	–
充電中にCHGランプが速く点滅する。	● （0.5秒に1回の点滅） コンパクトパワーアダプター、バッテリーに異常があると、充電が中止される。修理受付センターにご相談ください。	–
充電中にCHGランプがゆっくりと点滅する。	● （2秒ごとに1回の点滅） バッテリーの温度が40℃以上になっている。バッテリーを放置して、40℃以下になってから充電を開始する。 ● 周囲の温度が0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。	23
充電中にCHGランプが消灯する。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、充電できない。	–

■ 画面や音

画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	22
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取りはずし、しばらくしてから取り付ける。それでも解決しない場合は、電源を取りはずし、先のとがったものでRESET（リセット）ボタンを押す。すべての設定が解除される。	19
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	–

画面に横帯が見える。	●撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。かんたんモードにすると軽減する。故障ではない。	33
ファインダーに映像が出ない。	●ファインダーボタンを押す。	34
ファインダーの映像がはっきりしない。	●視度調整レバーで調整する。	34
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	●大きな音の近く(打上げ花火やコンサートなど)で撮影すると、音がひずんだり、実際より小さく記録されることがある。メニューの「マイクアッテネーター」を「入」にするか、録音レベルを手動で調整すると適切に録音できることがある。	79 68
雑音が聞こえる。	●撮影中に本機を急に動かさない（撮影中に本機を急に動かすと、ハードディスクの駆動音が記録されることがあります）。	–
本機から小さな音が聞こえる。 一定の間隔で本機から動作音がする。	●ハードディスク記録/再生時に、ハードディスクを定期的に動作させている音で、故障ではない。	–
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	●液晶画面を開く。 ●スピーカーの音量がOFFになっているので、音量を調整する。 ●ステレオビデオケーブルをはずす。	39
本機からカタカタ音がする。	●電源を切ったときに内部のレンズが動く音で、故障ではない。	–
本機が振動する。	●ハードディスク記録/再生時に、ハードディスクの状態によっては本機が振動することがある。故障ではない。	–

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	28
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要な動画/静止画を消す。 ● 初めて使用するときは、カードを初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 静止画番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「静止画番号」を「オートリセット」にする。 ● FUNC.メニューの「静止画記録」を「OFF 静止画記録切」に設定していると、ビデオを撮りながら同時に写真を記録できない。 ● メニューの「テレビタイプ」を「4：3」に設定している場合（ が出る）は、映像を静止画として切りとれない。「16：9」に設定する。	46 102 30 28 83 108 81
リモコンが動作しない。	● メニューの「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	82 24

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用しているときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプターを離す。	–
再生しても、テレビに映像が出ない。	● テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	50
テレビで音声が出ない。	● D端子ケーブルでテレビにつないでいる場合は、音声を出力するためにステレオビデオケーブルの白と赤のプラグもつなぐ。	51

HDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● HDMIケーブルを抜き差しするか、本機とテレビの電源を入れ直す。	–
HDMI機器制御機能が動作しない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機とテレビの電源を入れ直す。 ● 本機の「HDMI機器制御」が「切」になっている。「入」にする。 ● テレビのHDMI機器制御機能が無効になっている。有効にする。 ● テレビによってHDMI機器制御機能でできることが異なる。テレビの説明書をご覧ください。	– 83 – –
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	79 – –
正しく接続しているのにプリンターが動作しない。	● メニューの「USB接続指定」が「DVDライター」になっているときは、「接続時に選択」か「パソコンなど」にする。 ● 接続ケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直す。	79 –
正しく接続しているのにDVDライターが認識されない。	● メニューの「USB接続指定」が「パソコンなど」になっているときは、「接続時に選択」か「DVDライター」にする。	79

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。
本機を使用中のメッセージ、DVDライターを接続中のメッセージ（📖 160）、プリンターを接続中のメッセージ（📖 162）に分けて説明しています。

■ 使用中に表示されるメッセージ

メッセージ	どんな意味？	📖
アクセスエラーです	●ハードディスクまたはカードの書き込み中/読み込み中にエラーが発生した。 ●結露したときにも、このメッセージが出る場合がある。完全に乾いてから使用する。	– 174
カードカバーがあいています	●カードカバーがあいている。カードを入れたらカバーを閉じる。	28
カードがありません	●カードが本機に入っていない。	28
カードがいっぱいです	●カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、動画/静止画を消す。	28 46 102
カード シーン数がいっぱいです	●カードのシーン数がいっぱいのため、動画のコピーができない。カードの不要な動画を消す。	46
カードにアクセス中です　カードを取り出さないでください	●カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。または、カードカバーを開けたときにアクセスが発生した。メッセージが消えるまでカードを絶対抜かない。	28
カード読み込み中です	●カードを読み込んでいる。	–
カード 認識できない記録方式です	●テレビ方式が異なる動画をカードにコピーしたり、記録/再生したりしようとした。	–
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	●カードに書き込めない。カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっていないか確認する。	28

カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	● カードに記録中に電源がはずれた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にして電源を入れると表示される。誤消去防止ツマミを反対側にする。	28
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 ● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。 ● マルチメディアカードを入れた。本機が対応しているSD/SDHCメモリーカードを使用する。 ●「カードを確認してください」が4秒後に消えて SD が赤く点灯するときは電源を切り、カードを出し入れする。SD が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。 ● 初期化をする。ただし初期化するとすべてのデータが消去される。	28 – 27 28 30
書き込みエラーがあります 他の機器で使用していなければ修復を推奨します メディアを修復しますか？	● 記録中に電源がはずれた後、電源を入れると表示される。記録中の撮影データを修復するときは「はい」を選択する。他の機器で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選択することを推奨する。	–
カメラの温度が上がりました カメラの電源を切ってお待ちください	● 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	170
カメラの温度が低すぎます カメラの電源を入れたままお待ちください	● 本機の温度が低すぎるので、 が消えるまで電源を入れたままで待つ。	170
かんたん モードでは使えません	● かんたんモードでは使えないボタンを押した。かんたんモードを解除して応用モードに切り換えるときは、かんたんボタンを押す。	33

メッセージ	どんな意味？	📖
記録できません	● 記録メディアに異常があるため、記録できない。 ● 結露したときにも、このメッセージが出ることがある。完全に乾いてから使用する。	– 174
記録できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、記録できない。	–
記録できません HDDにアクセスできません	● ハードディスクに異常があるため、記録できない。	–
高温のため記録できません	● 本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから操作する。	170
高温のため再生できません		
このカードでは記録できない録画モードです	● SDスピードクラス2以下のカードには、MXP/FXPモードでは記録できない。他の録画モードにするか、クラス4以上のカードを使用する。	27
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードを入れた。クラス2以上のカードを使用する。	27
このカードは動画記録できません	● 64MB以下のカードには動画記録できない。	27
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	30
このカードは動画再生できません	● 64MB以下のカードから動画再生できない。	27

このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	30
このデータはプロテクトされています	● 他機でプロテクト/編集されたシーンは消去できない。	–
コピーできません	● カードの空き容量がコピーサイズより小さい。カードの不要なシーンを消去するか、コピーするシーンを減らす。	46 92
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● 本機にバッテリーのみを取り付けて動画の再生モードにし、パソコンとUSBケーブルで接続した。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。	–
再生できない静止画です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をしたりした静止画は再生できないことがある。	–
再生できません	● 記録メディアに異常があるため、再生できない。	–
再生できません カードを確認してください	● カードにエラーが発生した。	–
再生できません HDDにアクセスできません	● ハードディスクに異常があるため、再生できない。	–
シーンがありません	● 表示するシーンがない。	–
シーン数がいっぱいです	● 記録可能なシーン数を超えた。不要な動画を消す。	46
消去ができないシーンがありました	● 他機でプロテクト/編集されたシーンは消去できない。	–
処理中です 電源をはずさないでください	● 記録メディアに書き込んでいるので、電源をはずさない。	–
処理を中止しました	● 中止操作をしたため、処理を中止した。	–

メッセージ	どんな意味？	📖
振動を与えないでください	● 記録しているときは振動を与えない。	–
スタンバイに入れません	● バッテリー残量が少なくなっているときはスタンバイに入れない。	–
静止画がありません	● 再生する静止画がない	–
静止画像が多すぎます USBケーブルをぬいてください	● USBケーブルを抜いて、カードリーダーなどを使用して静止画をパソコンに移動するか、不要な静止画を消す（プリンターまたはWindowsのパソコン：1800枚未満、Macintosh：1000枚未満に）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● パソコンの場合、OSの設定によってはパソコンのモニターに画面が出ることがある。画面を閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	102 –
🔑 静止画は消去できません（でした）	● プロテクトされた静止画は消去できない。静止画のプロテクト設定を解除する。	113
静止画モードです	● 静止画記録時にスタート/ストップボタンを押した。	32
送信指定エラー	● 送信指定できる枚数（998枚）を超えたので、枚数を減らす。	139
追加できませんでした	● プレイリストには999シーンまでしか追加できない。MXP/FXPモードとそれ以外のモードのシーンが混在する場合は、999シーン未満でも追加できないことがある。不要なシーンを消す。	90
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。 ● 結露したときにも、このメッセージが出ることがある。完全に乾いてから使用する。	– 174

低温のため動作できません 暖かいところでお使いください	● 気温が低すぎるので本機が動作できない。気温が0～40℃の場所に移動する。	170
動画／静止画データのバックアップは 定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて撮影したデータを定期的にバックアップする。	128 169
認識できない記録方式です	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。	−
パソコンで安全な取り外しをするまでは ・USBケーブルをぬかないでください ・電源をはずさないでください 接続中は電源OFFやモード切替はできません	● 動画再生時、本機をUSBケーブルでパソコンに接続しているときは、本機の操作はできない。本機の記録メディア内のデータが破損するおそれがあるので、パソコンで安全な取り外しのための操作を行った後、USBケーブルや電源をはずしたり、本機の操作を行う。	−
バッテリーと通信できません このバッテリーを使用しますか？	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。	−
バッテリーパックを取り替えてください	● バッテリーが消耗している。十分に充電されたバッテリーと交換する。	22
バッファオーバーです 記録を中断しました	● ハードディスク記録時に落下検出動作が繰り返し行われたため、一時的に記憶領域がいっぱいになった。いったんカメラを安静にしたあと、撮影を継続する。落下や振動が繰り返し発生する環境で使用するときは、落下検出を「切（ ）」にする。 ● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中断した。SDスピードクラス2以上のカードを使用する。	84 169 27
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号や静止画番号が最大になった。「オートリセット」して、カードを初期化するか、静止画をすべて消してください。	83

メッセージ	どんな意味？	
プレイリスト登録数オーバーとなります 分割できません	● プレイリストに映像が999シーンあると、プレイリストに追加しているシーンを分割できない。プレイリストの不要なシーンを消去する。	90
分割できません 初期化が必要です	● 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。動画と静止画をバックアップして、記録メディアを初期化する。	128 136 30
編集できません	● オリジナル/プレイリストのシーンの移動/消去やオリジナルのシーンの分割ができなかった。	–
編集できません カードを確認してください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	30
本機で記録したシーンではありません 分割できません	● 他の機器で撮影／記録したシーンは分割できない。	–
本機で初期化してお使いください	● 記録メディアに不具合が発生し修復できない。ハードディスクまたはカードを本機で初期化する。	30
落下検出がOFFになっています	● 落下検出が「切（ ）」の設定で電源を入れた。カメラを落とすとハードディスクが破損するおそれがある。	169
落下を検出したため電源を切りました	● 落下検出が「入」の場合、電源を入れたときにカメラを落とすと、ハードディスク保護のため自動的に電源が切れる。次に電源を入れるとこのメッセージが表示されるが、故障ではない。	–
レンズカバーが開ききっていません 電源を入れなおしてください	● 動画/静止画の撮影開始時、レンズカバーが正常に開かなかった。電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、修理受付センターにご相談ください。	–

レンズカバーが閉まっていません 電源を入れなおしてください	●動画/静止画の再生開始時、レンズカバーが完全に閉まらなかった。電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、修理受付センターにご相談ください。	–
HDDエラーです	●ハードディスクにエラーがあり、記録、再生できない。本機で初期化する。	30
HDDから動画再生できません 本機で初期化してお使いください	●ハードディスクがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	30
HDDがいっぱいです	●ハードディスクに空き容量がない。画面で「 END」が点灯。不要な動画を消す。	46
HDDが認識できません	●ハードディスクを認識できない。 ●本機が高温になっているので、電源を切って本機を冷ましてから使用する。 ●結露したときにも、このメッセージが出ることがある。完全に乾いてから使用する。	– 170 174
HDDにアクセスできません	●ハードディスクに異常があるため、アクセスできない。	–
HDDに動画記録できません （本機で初期化してお使いください）	●ハードディスクがパソコンから初期化された。本機で初期化する。	30
HDD読み込み中です	●ハードディスクを読み込んでいる。	–
MXP/FXPのシーンがあるため、このカードへはコピーできません	●カードのSDスピードクラスが2以下のため、MXP/FXPモードの動画が記録できない。クラス4以上のカードを使用する。	27

■ DVDライター（別売）を接続しているときのみ表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、DVDライターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どんな意味？
カードカバーを閉めてください	● カードカバーがあいている。カードを入れたらカバーを閉じる。
コピーが中断されました	● USBケーブルがはずれたため、ディスク作成を中断した。USBケーブルを確認する。 ● MXPモードのシーンは保存できない。MXPモード以外のシーンのみプレイリストに登録し、メニューの「DVDライター書き込み指定」を「プレイリスト」に設定して、保存する。
コンパクトパワーアダプターを接続してください	● コンパクトパワーアダプターがつながれていない。本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ。
シーンがありません	● ディスクに保存できるシーンがない。
静止画がありません	● ディスクに保存できる静止画がない。
送信指定がありません	● 送信指定された静止画がない。
データを修復できませんでした	● 壊れたデータを修復できない。
ディスクがありません	● ディスクを入れる。 ● 結露したときにも、このメッセージが出ることがある。完全に乾いてから使用する。
ディスクが認識できません ディスクを確認してください	● ディスク作成時に、8cmのDVDディスクや市販のDVDソフトなどを入れた。 ● ディスク再生時に、未使用のディスクや市販のDVDソフトなどを入れた。
ディスク認識中です	● ディスクを読み込んでいる。

ディスクへのアクセスに失敗しました ディスクを確認してください	● ディスクの書き込み中または読み込み中にエラーが発生した。 ● 結露したときにも、このメッセージが出ることがある。完全に乾いてから使用する。 ● ディスクを取り出してから入れ直す。
ビデオカメラから読み出せません	● ビデオカメラからデータを読み出せない。USBケーブルがはずれていないか確認する。
未作成シーンがありません	● ディスクに未保存のシーンがない。

■ プリンター接続中に表示されるメッセージ

メッセージの対処方法については、プリンターの説明書もあわせてご覧ください。

メッセージ	どんな意味？
インクエラー	● インクに異常がある。インクを交換する。
インクがありません	● インクが正しく入れられていない、またはインクがない。
インクが残りわずかです	● インクの交換時期が近づいている。「続行」を選ぶと、印刷を再開する。
インク吸収体が満杯です	● お早めにお客様相談センターまたは修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）に、インク吸収体の交換を依頼してください。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできません。
印刷エラー	● 「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。プリンターの状態を確認する。
印刷指定エラー	● 印刷指定の設定可能な静止画の枚数（998枚）を超えた。
印刷指定が必要です	● 記録メディアに印刷指定をした静止画がない。
印刷できない画像です	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
印刷できない画像が＊枚ありました	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を＊枚印刷指定して印刷しようとした。
サイズを選びなおしてください	● ビデオカメラとプリンターで用紙サイズの設定が異なっている。

紙間レバー位置が不正です	● 紙間レバー位置を正しい位置に直す。
設定を確認してください	● ボタンを使って印刷するときに、プリンターで対応していない設定になっている。
通信エラー	● 通信中にエラーが発生した。「中止」を選んで印刷を中止し、接続ケーブルを抜いて、プリンターの電源を切る。しばらくしてから、電源を入れ直し、接続ケーブルをつなぐ。ボタンを使って印刷しているときは、印刷設定を確認する。 ● 大量の静止画が記録されたカードを使って印刷しようとした。静止画の枚数を減らす。
トリミングできない画像です	● 本機以外で撮影した静止画では、トリミングできないことがある。
トリミングの再設定が必要です	● トリミングの設定後に「用紙設定」を変更した。
ハードウェアエラー	●「中止」を選んで印刷を中止し、プリンターの電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直す。 ● プリンターの状態を確認する。
ファイルエラー	● 他機で記録したり、異なる画像タイプで記録したり、パソコンで加工した静止画を印刷しようとした。
プリンターカバーが開いてます	● プリンターのカバーを閉じる。
プリンタートラブル発生	● 修理が必要なエラーが起きている可能性がある（キヤノンのプリンターの場合、電源ランプ（緑色）とエラーランプ（オレンジ色）が交互に点滅）。接続しているUSBケーブルを抜いた後、プリンターの電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

メッセージ	どんな意味？
プリンターは使用中です	● プリンターが使用中。プリンターの状態を確認する。
プリントヘッド未装着	● プリントヘッドが取り付けられていないか、プリントヘッドの不良。
用紙エラー	● 用紙に異常がある。プリンターに用紙が正しく入っていないか、用紙サイズが間違っている。 ● 排紙トレイが閉じているときは、開ける。
用紙がありません	● プリンターに用紙が正しく入っていない、または用紙がない。
用紙が詰まりました	● 印刷中に用紙が詰まった。「中止」を選んで印刷を中止する。詰まった用紙を取り除き、用紙を入れ直してから再度印刷する。

MEMO キヤノン製プリンターPIXUS/SELPHY DSシリーズについて

- プリンターのエラーランプが点滅しているときや、操作パネルや接続したテレビにエラーメッセージが出ているときは、必ずプリンターの説明書でご確認ください。
- 本書やプリンターの説明書を参考に対処をしてもエラーメッセージが表示されるときは、修理受付窓口（プリンターに付属の一覧参照）にご相談ください。

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

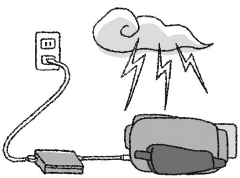
- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

▶ **バッテリーをはずして、電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、修理受付センターに問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告　死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています。

禁止



内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグや機器に触れない。 ➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 ➤ 感電

ぬらさない。 ➤ 火災 感電 やけど

降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用はとくに気をつける。

液もれしたバッテリーは使用しない。 ➤ 皮膚の障害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。



分解や改造をしない。 ➤ 発熱 火災 感電 けが

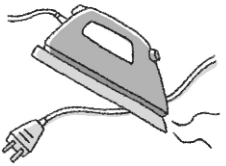
強い衝撃や振動を与えない。 ➤ 火災 やけど けが

ストラップ使用時は特に注意する。

液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

禁止

電源コードについて次のことを守る。
- 傷つけない　● 加工しない
- 無理に曲げない　● 引っ張らない
- 熱機具に近付けない　● 加熱しない
- 重いものを載せない ➤ 火災 感電



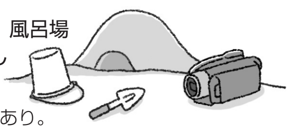
バッテリーやコイン型リチウム電池を熱しない、火中投入しない。
➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れの恐れあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

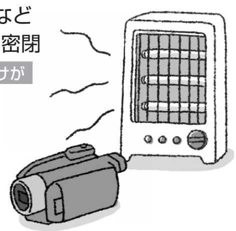
海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC/ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。➤ 火災 感電 やけど
内部にほこりや水などが入る恐れあり。



直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。➤ 火災 やけど けが
発熱や破裂の恐れあり。

不安定な場所に置かない。➤ けが
落下、転倒の恐れあり。



指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

禁止

乳幼児の手の届くところに置かない。
➤ 感電 けが

コイン型リチウム電池を乳幼児の手の届くところに置かない。➤ けが

誤飲した場合はすぐに医師に相談する。

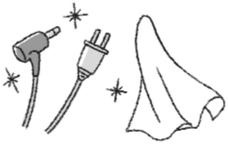
運転中に使用しない。➤ 交通事故



強制

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電



コンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜く。➤ 火災 感電

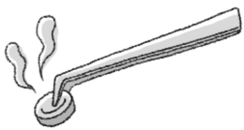
撮影しているときは、周囲の状況に注意する。➤ けが 交通事故

⚠注意　傷害、物的損害を負うおそれがある内容を示しています。

禁止

コイン型リチウム電池を金属ピンセットなどでつかまない。➤ やけど

発熱の恐れあり。



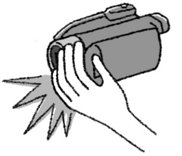
ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。➤ 火災

内部に熱がこもる恐れあり。

フラッシュを目に近づけて発光しない。➤ けが

目を痛める恐れあり。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

車の運転者に向けてフラッシュを使用しない。 ➤ 交通事故



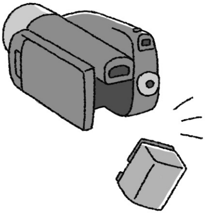
フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない。 ➤ やけど

コード類は、つまづかないように配置する。 ➤ けが

足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下する恐れあり。

強制

バッテリー、ショルダーストラップ、グリップベルトなどは脱落しないように確実に取りつける。 ➤ けが



バッテリーやテレコンバーター、ワイドコンバーターなどを取りはずすときは、落ちないように手をそえる。 ➤ けが

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従う。

機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れ。

使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ➤ 火災

注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。

撮影時に不用意にビデオカメラを揺らしたり、素早いズームを多用したりすると、再生時に乗り物酔いのような症状を起こす恐れがあります。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休めてください。

取り扱い上のご注意

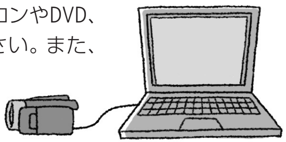
ここでは本機やバッテリーとカードを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

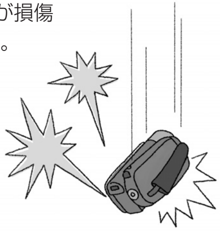
本機はハードディスクに動画や静止画を記録できます。ハードディスクに記録する場合は、次のことに特にご注意ください。ハードディスクが損傷すると、記録した動画や静止画が失われることがあります。

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンやDVD、ビデオ機器などにこまめにバックアップしてください。また、重要な撮影後は必ずバックアップしてください。
データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。



振動や衝撃を与えない



- 本機に落下や振動/衝撃を与えると、ハードディスクが損傷して記録した動画/静止画が失われることがあります。
- 撮影/再生中と撮影後のアクセスランプ点灯中は、特にご注意ください。本機への振動が続くと、撮影や再生が停止することがあります。
- 別売のショルダーストラップを取り付けているときは、本機を物にぶつけないようにしてください。

落下検出は「入」にして使う

- 落下による衝撃からハードディスクを保護するため、本機は落下検出機能を搭載しています。落下検出を「入」にすると、無重力状態を検出したときに保護機能が働き、録画や再生を停止します。「切（OFF）」にすると保護機能は働きません。落下の状況によっては、落下検出を「入」にしていても、ハードディスクを保護できないことがあります。
- 本機を動かすと、落下検出が働いて電源が切れることがあります。
- 本機を落下状態（無重力状態）で撮影すると、ハードディスク保護のための動作音が録音されることがあります。また、落下状態を繰り返し検出すると、撮影/再生が停止することがあります。

大音量の場所で使わない

大きな音のする場所で使用すると、撮影や再生が停止することがあります。
大音量の場所で撮影する場合は、記録メディアをカードにします。

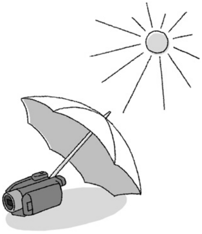
電源ONのとき、アクセスランプ点灯中/点滅中やスタンバイ中は電源を切らない

アクセスランプが点灯中/点滅中のときやスタンバイ中のときに、電源を切ったりバッテリーなどの電源を取りはずしたりすると、ハードディスクが損傷するおそれがあります。

電源を切ってからバッテリーや電源コードを取りはずす

電源ONのときに取りはずすと、データやハードディスクが損傷するおそれがあります。

温度に注意



本機の温度が高すぎたり低すぎたりすると、ハードディスクのデータ保護のために録画/再生ができなくなることがあります。この場合は画面にメッセージ（📖 153）が出ます。

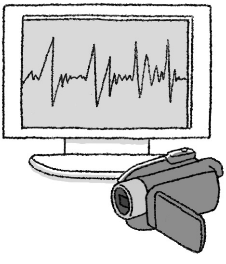
高地では使わない

気圧の低い場所（海抜3000m以上の高地）では本機の電源を入れないでください。ハードディスクを損傷するおそれがあります。

映像が正しく記録/再生できないときは・・・

撮影や消去を繰り返すと、記録メディア内のファイルが断片化され、動画/静止画が正しく記録できなくなることがあります。そのときはハードディスクまたはカードを初期化します（📖 30）。初期化すると記録されたすべてのデータが消去されます。必ず全データをパソコンやDVDなどにバックアップしてから行ってください。

ホコリなどの多い場所で使わない



ホコリ･砂･水･泥･塩分の多い場所で使用･保管しないでください。本機は防水･防塵構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビや携帯電話の近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。

ふろく

太陽にレンズやファインダーを向けない

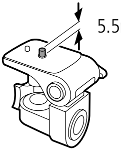
太陽や強いライトなどにレンズやファインダーを向けると内部の部品が溶けることがあります。

液晶画面を...

つかんでもちあげない ➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。
無理に閉じない ➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

三脚を使うとき

- 取り付けネジの長さが5.5mm未満のものを使用してください。本体を破損することがあります。
- ファインダーを太陽に向けないでください。



■ バッテリー

端子はいつもきれいに

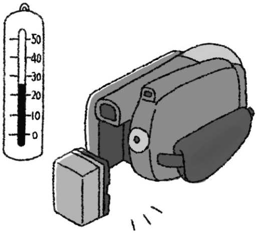
バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃〜30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取りはずし、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。



正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただしバッテリーを高温下で長時間使ったり、フル充電後に放置したりすると、正しく表示されないことがあります。使用回数が多いバッテリーも正しく表示されない場合があります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（📖 179）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャーCG-800（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

高温・多湿の場所に放置しない

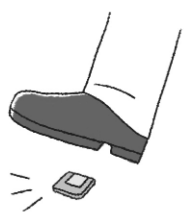


磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

ていねいに扱う

落とす、濡らす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。



シールを貼らない

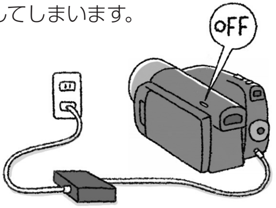
カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機が使用状態にあるときに充電されるため、約3ヶ月使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

① 電源をOFFにする
② 本機にコンパクトパワーアダプターをつなぐ



■ その他のご注意

個人情報の流出に注意（譲渡・廃棄するときは）

ハードディスクやカードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。

譲渡するときは

一度、ハードディスクまたはカードの完全初期化（ 30）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度、完全初期化を行います。これによって、以前に記録されていたデータの復元を困難にすることができます。

破棄するときは

ハードディスクやカードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

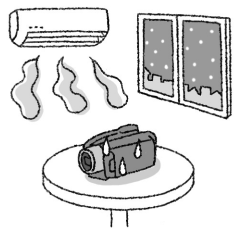
- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

カードを取り出し、本機をビニール袋で密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。



■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用します。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

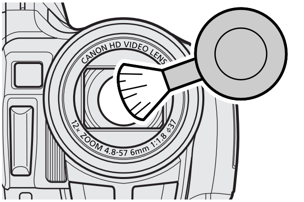
Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、有限責任中間法人 JBRCのホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

日常のお手入れ

レンズ/ファインダー

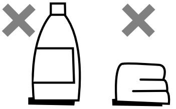
ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。



本体がよごれたときは

柔らかい布で拭こう

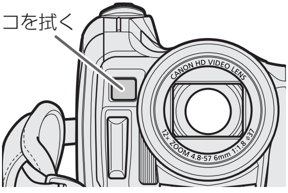
- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面加工を傷めますので使わないでください。





ハイスピードAFセンサー

市販の眼鏡クリーナ（布製）で拭きます。



液晶画面

市販の眼鏡クリーナ（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。

自動でピントが合わない？

レンズやハイスピードAFセンサーが汚れていると自動でピントが合わなくなることがあります。

海外で使う

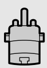
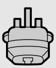
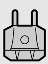
海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター（AC100～240V 50/60Hzまでの電源に対応）を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。

コンパクトパワーアダプターを変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

国や地域によって変換プラグが異なります。

タイプ	A	B	BF	C	O
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. O
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. O
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	O
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	O
ニュージーランド	O
フィジー	O

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. O
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

■ テレビで見る

以下の国や地域では、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 韓国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

（NTSC方式を採用している国や地域　－NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－）

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、旅行先の日時を設定しておくと、撮影日時が現地時間になります。



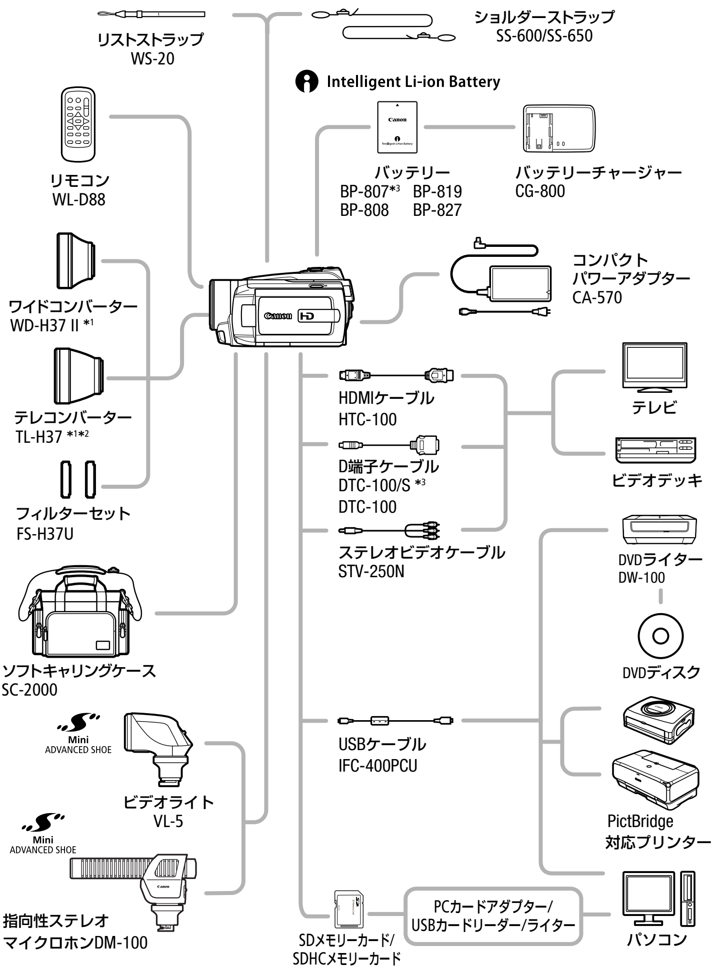
1. 「時計を合わせる」（📖 25）の操作1～3❷までを行う。
2. ジョイスティックを上下に押して、✈ の項目を選ぶ。
3. ジョイスティックを左右に押して、旅行先を選ぶ→ SET を押す。
・旅先がサマータイムの場合、☀ が表示されている項目を選ぶ。
4. 「時計を合わせる」（📖 25）の操作4～5を行う。

海外旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作2でジョイスティックを上下に押して、⌂ の項目を選ぶ。
2. FUNC.ボタンを押す。

アクセサリー紹介

本機の付属品または別売品について紹介しています。



ふろく

*1 本機にワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けて、フラッシュを使用すると影が出ることがあります。
*2 テレコンバーターを使用した場合、ピントの合う距離はズームのT端で約3mとなります。
*3 本機の付属品です。別売していません。

ご注意

- **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
  本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
  なお、純正品以外のアクセサリーの不具合(例えばバッテリーの液漏れ、破裂など)に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 従来の「アドバンストアクセサリーシュー」対応のアクセサリーは、本機の「ミニアドバンストシュー」には取り付けられません。本機には、右のロゴ表記があるミニアドバンストシュー対応アクセサリーをご利用ください。

Mini ADVANCED SHOE

MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-807 / BP-808 / BP-819 / BP-827は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャーCG-800(別売)でのみ使用/充電できます。

CANON GENUINE ACCESSORY

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

FUNC.メニューの紹介

設定できる機能は、モードダイヤルの位置により異なります。ご購入時には、太文字の内容に設定されています。各機能の詳細は、参照ページをご覧ください。

■ 撮影時に使うメニュー

機能	設定内容	動画	静止画	参照ページ
撮影モード	**P（プログラムAE）**、Tv（シャッター優先AE）、Av（絞り優先AE）	●	●	56
	シネマモード	●		58
	SCN（**ポートレート**、スポーツ、ナイト、スノー、ビーチ、夕焼け、スポットライト、打上げ花火）	●	●	54
測光	**評価測光**、中央部重点平均測光、スポット測光		●	109
ホワイトバランス	AWB **オート**、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H、セット	●	●	62
画質効果	**画質効果切**、くっきりカラー、すっきりカラー、ソフト、美肌、カスタム	●	●	64
D.エフェクト設定	**D.エフェクト切**、F1 オートフェード、F2 ワイプ、E1 シロクロ、E2 セピア、E3 アート	●		65
	D.エフェクト切、E1 シロクロ、E2 セピア		●	
ドライブモード	**単写**、連写、高速連写、AEB		●	107
録画モード	MXP 高画質モード24Mbps、FXP 高画質モード17Mbps、XP+ 高画質モード12Mbps、**SP 標準モード7Mbps**、LP 長時間モード5Mbps	●		36
静止画記録	**静止画記録切**、LW 1920×1080、SW 848×480	●		108
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル	●		
静止画サイズ/画質	LW 1920×1080、**L 2048×1536**、M 1440×1080、S 640×480		●	98
	スーパーファイン、**ファイン**、ノーマル		●	

■ 再生時に使うメニュー

機能	設定内容			
選択 *1	個別設定、全解除	●	● *3	48
コピー	オリジナルのとき：全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン	●		92
	プレイリストのとき：　　　　　―	●		92
	静止画インデックス画面のとき：全ての静止画、1枚、選択した静止画		●	115
	静止画1枚表示画面のとき：　　　―		●	115
プレイリスト追加 *1	この日の全シーン、1シーン、選択したシーン	●		88
分割	―	●		86
移動 *2	―	●		91
静止画プロテクト	インデックス画面のとき：個別設定、選択した静止画、全解除		●	113
印刷指定	1枚表示画面のとき：0～99枚 インデックス画面のとき：個別設定、選択した静止画を1枚に設定、全解除		●	123
送信指定	インデックス画面のとき：個別設定、選択した静止画、全解除		●	139
消去	オリジナルのとき：全シーン、この日の全シーン、1シーン、選択したシーン	●		46
	プレイリストのとき：全シーン、1シーン	●		90
	全ての静止画、1枚、選択した静止画		●	102
シーン検索	カレンダー、日付選択	●		43

*1 オリジナルのときのみ
*2 プレイリストのときのみ
*3 インデックス画面のときのみ

MEMO

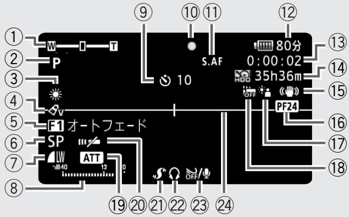
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。
- FUNC.ボタンを押すと、メニューが終了します。

画面の見かた

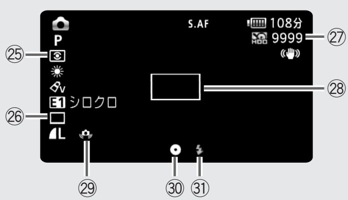
撮影中や再生中に表示される情報です。 ■ 内の数字は参照ページです。

■撮影のときの画面

動画のとき



静止画のとき



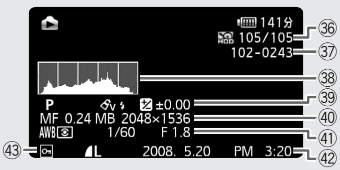
① ズーム 35 、露出 60
② 撮影モード 54
③ ホワイトバランス 62
④ 画質効果 64
⑤ デジタルエフェクト 65
⑥ 録画モード 36
⑦ 静止画画質/サイズ 98 108
⑧ レベルメーター 68
⑨ セルフタイマー 59
⑩ 撮影状況 183
⑪ ハイスピードAF 77
⑫ バッテリー残量の目安 183
⑬ 撮影時間（時:分:秒）
⑭ 撮影可能時間 183
⑮ 手ブレ補正 78
⑯ フレームレート 76
⑰ 逆光補正 60
⑱ 落下検出OFF 84
⑲ マイクアッテネーター 79
⑳ リモコンセンサー 82
㉑ ミニアドバンストシュー 72
㉒ ヘッドホン 70
㉓ ウィンドカット 78
㉔ マーカー 76
㉕ 測光 109
㉖ ドライブモード 107
㉗ 静止画の記録可能枚数 183
㉘ AF枠 78
㉙ 手ブレ警告 78
㉚ ピント・露出の固定状態 96
㉛ フラッシュ 105

■再生のときの画面

動画のとき



静止画のとき



㉜ 再生状況
㉝ 再生時間(時:分:秒)
㉞ 再生シーン番号
㉟ データコード 79
㊱ 表示枚数/全枚数
㊲ 静止画番号 83
㊳ ヒストグラム 106
㊴ 撮影モード 54 /画質効果 64 / フラッシュ 105 /露出 60
㊵ フォーカス 61 /データ量/ サイズ 98
㊶ ホワイトバランス 62 /測光 109 / シャッタースピード 56/しぼり数値 56
㊷ 静止画画質/サイズ 98 /日時 25
㊸ 静止画プロテクト 113

⑩ 撮影状況/㉜ 再生状況

●:撮影(録画) ●❚❚:撮影一時停止 ▶:再生 ❚❚:再生一時停止 ▶▶:早送り ◀◀:早戻し ◀❚/❚▶ :スロー再生 ❚❚▶ :コマ送り ◀❚❚ :コマ戻し

⑫ バッテリー残量の目安



バッテリーの残量の目安を、電池マークと時間(分)で表示します。残量の割合(100%、75%、50%、25%、0%)を電池マークで、使用(撮影または再生)可能な時間を分で表示します。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。

⑭ 撮影可能時間

記録メディアに空きがなくなると、「 END」または「 END」が点灯し、停止します。

㉗ 静止画の記録可能枚数

枚数の緑色表示は残り6枚以上、黄色表示は残り1〜5枚、赤色表示は0枚を示します(ただし、再生時はすべて緑色表示)。記録可能枚数は記録時の状況により異なることがあります。記録しても枚数表示が減らなかったり、一回の記録で2枚減ることがあります。

主な仕様

iVIS HG21 システム	
ハードディスク/カード記録	動画： AVCHD規格 映像圧縮方法：MPEG4-AVC/H.264 音声圧縮方法：Dolby Digital 2ch 記録サイズ：1920×1080、1440×1080 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.2準拠、DPOF対応 静止画圧縮方法：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル）
信号方式	NTSC方式準拠、1080/60i方式
記録メディア	ハードディスク（容量：120GB）、SD/SDHCメモリーカード
録画/再生時間（📖 36）	ハードディスク（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 約11時間05分、約15時間45分、約21時間40分、 約36時間00分、約45時間55分 32GBメモリーカード（MXP、FXP、XP+、SP、LP）： 約2時間55分、約4時間10分、約5時間45分、 約9時間35分、約12時間15分、
撮像素子	1/3.2型CMOS、総画素数331万画素 有効画素　動画：約207万画素 静止画（16:9）:約207万画素　静止画（4:3）:約276万画素
液晶画面	2.7型TFTワイドカラー液晶（約21.1万ドット）
ファインダー	0.27型TFTワイドカラー液晶（約12.3万ドット）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=4.8－57.6mm　F=1.8－3.0　光学12倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 動画：約42.9 - 514.8mm、 静止画（16:9）：約42.9 - 514.8mm 静止画（4:3）：約39.3 - 471.6mm
レンズ構成	9群11枚、非球面レンズ2枚使用
焦点調整	TTL自動焦点（TTL＋外部測距：ハイスピードAF選択時）、 マニュアル調整可
フィルター径	37mm
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、太陽光、日陰、くもり、電球、蛍光灯、蛍光灯H 付）
最低被写体照度	0.2ルクス（ナイト（SCN）、シャッタースピード1/2秒時） 3.0ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	光学式（シフト方式）
静止画記録サイズ	静止画：2048×1536、1920×1080、1440×1080、640×480 同時記録：1920×1080、848×480

* メニューの「フレームレート」を「PF24」に設定しているときは、24コマ/秒で撮影し、60iに変換して記録します。（「PF30」のときは、30コマ/秒で撮影し、60iに変換して記録します。）

ふろく

入・出力端子（レベル/インピーダンス）	
映像/音声出力端子 （AV出力端子）	Φ3.5mmステレオミニジャック、1Vp-p/75Ω -10dBv（47kΩ負荷時）/3kΩ以下
USB端子	mini-B、USB2.0 Hi-Speed
コンポーネント出力端子 （特殊D端子）	Y：1Vp-p、75Ω PB/PR.CB/CR：±350mV、75Ω D3（1080i）/D1（480i）対応/出力のみ
HDMI出力端子	HDMIミニコネクター/CEC対応/出力のみ
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック（AV出力端子兼用）
外部マイク入力端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、-57dBV（600Ωマイク使用時）/5kΩ

電源その他	
電源電圧	DC7.4V（バッテリーパック）、DC8.4V（DC IN）
消費電力 （SPモード、AF合焦時）	液晶画面使用時： 約3.8W（明るさ標準、ハードディスクに記録中） 約3.7W（明るさ標準、メモリーカードに記録中） ファインダー使用時： 約3.7W（ハードディスクに記録中） 約3.5W（メモリーカードに記録中）
動作温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約80×77×139mm（グリップベルトを含まず）
撮影時総質量	約540g（バッテリーパックBP-807、SDメモリーカード含む）
本体質量	約490g

コンパクトパワーアダプター　CA-570	
電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力/消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V）～39VA（240V）
使用温度	0℃～＋40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　BP-807	
使用電池	リチウムイオン（インテリジェントリチウムイオンバッテリー）
使用温度	0℃～＋40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	890mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約30.7×35.2×40.2mm
質量	約49g

バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーBP-807と別売のBP-808 / BP-819 / BP-827をフル充電したときの使用時間（液晶画面使用時）の目安は、次のとおりです。

ハードディスクに記録時

録画モード		MXP	FXP	XP+	SP	LP
連続撮影時間	BP-807 / BP-808	1時間20分	1時間25分	1時間30分	1時間35分	1時間35分
	BP-819	2時間50分	2時間50分	3時間5分	3時間10分	3時間10分
	BP-827	4時間25分	4時間30分	4時間50分	4時間50分	4時間55分
実撮影時間＊	BP-807 / BP-808	50分	50分	55分	1時間	1時間
	BP-819	1時間45分	1時間45分	1時間55分	1時間55分	1時間55分
	BP-827	2時間50分	2時間50分	2時間55分	2時間55分	3時間
再生時間	BP-807 / BP-808	1時間40分	1時間55分	1時間55分	2時間	2時間
	BP-819	3時間25分	3時間55分	3時間55分	4時間5分	4時間5分
	BP-827	5時間25分	6時間	6時間10分	6時間20分	6時間20分

メモリーカードに記録時

録画モード		MXP	FXP	XP+	SP	LP
連続撮影時間	BP-807 / BP-808	1時間30分	1時間35分	1時間35分	1時間35分	1時間35分
	BP-819	3時間5分	3時間10分	3時間20分	3時間20分	3時間20分
	BP-827	4時間45分	4時間50分	4時間55分	4時間55分	4時間55分
実撮影時間＊	BP-807 / BP-808	55分	55分	1時間	1時間	1時間
	BP-819	1時間50分	1時間55分	2時間	2時間	2時間
	BP-827	2時間55分	2時間55分	3時間	3時間	3時間
再生時間	BP-807 / BP-808	2時間5分	2時間5分	2時間10分	2時間10分	2時間10分
	BP-819	4時間20分	4時間20分	4時間25分	4時間25分	4時間25分
	BP-827	6時間20分	6時間20分	6時間20分	6時間25分	6時間25分

* 実撮影時間とは撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面またはファインダーを明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素(走査線)数1080画素(本)のHD (High Definition)映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

iVIS HG21は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
iVIS HG21は、Exif 2.2(愛称「Exif Print」)に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

さくいん

ア行

あとからフォト 112
アフターサービス 194
イージーダイレクト .... 117、136
印刷指定 123
印刷する 117
インデックス画面 .... 41、100
打上げ花火（SCN） 55
ウィンドカット 78
液晶画面 26
エフェクト 65
エリア 25
応用モード 33
おしらせ音 82
オートスローシャッター 78
お手入れ 175
オリジナル 88
音量調整 39

カ行

カードを使う 27
海外で使う 176
画質：動画 36
　　静止画 98
画質効果 64
カメラデータ 67
画面の見かた 182
カレンダー表示画面 44
かんたんボタン 33
かんたんモード 33
記録メディア 29
逆光補正 60
クイックスタート 37
グリップベルト 24
結露 174
広角 35
故障かな？ 144
コピー：動画 92
　　静止画 115
コンポーネント出力端子 51

サ行

サイズ（静止画） 98
再生する：動画 39
　　静止画 100
再生ズーム 104
撮影時間 32
撮影する：動画 32
　　静止画 96
撮影モード 54
サマータイム 25
三脚 171
シーン 38
シーン検索 43
シーンの消去 46
シーンの分割 86
シネマエフェクト 58
シネマモード 58
しぼり 56
シャッタースピード 56
充電 22
消去する（静止画） 102
初期化する 30
ジョイスティック 18
ショルダーストラップ 24
シリアル番号（機番） 20
スノー（SCN） 54
スピーカー 18
スポーツ（SCN） 54
スポットライト（SCN） 55
ズーム 35
スライドショー 100
静止画 96

ふろく

静止画確認時間 76
静止画消去 102
静止画の転送 136
静止画番号 83
静止画プロテクト 113
世界時計 177
セルフタイマー 59
選択設定 48
送信指定 139
測光 109

タ行

タイムライン画面 45
ダイレクト転送 136
デジタルエフェクト 65
データコード 67
デジタルズーム 77
手ブレ補正 78
テレビタイプ 81
テレビで見る 50
動画 32
同時記録 108
ドライブモード 107

ナ行

ナイト（SCN） 54

ハ行

ハードディスク 4
ハイスピードAF..................................... 77
パソコンにつなぐ：動画 128
静止画 136
バックアップ 128
バッテリーの残量表示 .... 23、85、183
パワーセーブ 82
ビーチ（SCN） 55
ヒストグラム 106
日付･時刻 25
日付選択 43
ファインダー 34
フェーダー 65
フォーカス（ピント合わせ） 61
フォーカスアシスト 76
フォーカス優先 78
フラッシュ 105
プレイリスト 88
フレームレート..................................... 76
ヘッドホン 70
望遠 35
ポートレート（SCN） 54
ホワイトバランス 62

マ行

マーカー 76
マイク 72
マイクアッテネーター 79
ミニアドバンストシュー 72
メッセージ 152
メニュー 74
モードダイヤル..................................... 19

ヤ行

夕焼け（SCN） 55

ラ行

落下検出 84
リチウム電池 .... 173、174
リモコン 24
リモコンセンサー 82
レベルメーター 68

連写 107
録音レベル 68
録画モード 36
露出 60

ワ行

ワイドテレビ（16：9） 52

そのほか

AEB 107
AF枠 78
Av（絞り優先AE） 56
AV（映像/音声）出力端子 .... 51、134
AVCHD規格 12
DISP.（ディスプレイ）ボタン .... 26、45、67
FUNC.メニュー 180
HDMI出力端子 51
HDMI機器制御 83
HDMI CEC 83
ID-1方式 53
P（プログラムAE） 56
PF24 76
PF30 76
RESETボタン 19
SD/SDHCメモリーカード 27
Tv（シャッター優先AE） 56
USB端子 117
60i.. 76

Memo

Memo

商標について

- SDHCロゴは商標です。
- SDロゴは商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"および"AVCHD"ロゴは松下電器産業株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

DOLBY
DIGITAL
STEREO
CREATOR

MPEG-4使用許諾について

"This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard."

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存･読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

補修用性能部品について

- ビデオカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。従って、期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましては弊社またはお買い上げ店にお問い合わせください。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 修理内容によっては、内蔵ハードディスクの初期化または交換が必要になることがあります。その場合、ハードディスク内のデータはすべて消去されますので、修理に出される前に、データをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、不具合症状の再現・確認のために、必要最小限の範囲でハードディスク内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。



■ 修理のお問い合わせは

修理受付センター
050-555-99077（全国共通）

平日・土曜日 9:00〜18:00
日曜日、祝祭日、年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

- 故障状態や動作の不具合を確認させていただき、その上で修理方法のご案内をいたします。なお、故障状態のほかに、ご購入年月日と型名「iVIS HG21」であることをお伝えください。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター、QRセンター）をご案内いたします。
- 宅配便による修理品の発送、または、弊社によるお引き取り、お届けについてご案内いたします。

電話番号が050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。このときは、お手数ですがNTTの固定電話からおかけ直しいただくか、043-211-9394をご利用ください。

製品の使いかたがわからないときは

キヤノンマーケティングジャパン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

平日 9:00～20:00 / 土日祝日* 10:00～17:00

*1月1日～1月3日を除く

※上記番号をご利用できない場合は**043-211-9394**をご利用ください。

PIXELA ImageMixer 3 SE についてのお問い合わせは

株式会社ピクセラ　ユーザーサポートセンター

ナビダイヤル **0570-02-3500**（携帯電話も使えます）

10:00～18:00（年末年始、祝日を除く）

※PHSをお使いの場合や上記番号をご利用できない場合は**06-6633-2990**をご利用ください。

本書の記載内容は2008年6月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。

DIJ-298

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報が掲載されておりますので、ぜひお立ち寄りください。

■ デジタルビデオカメラ製品情報

http://canon.jp/ivis

■ キヤノン サポートページ

http://canon.jp/support

■ CANON iMAGE GATEWAY

http://www.imagegateway.net/

Li-ion リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-298B

PictBridge　CANON iMAGE GATEWAY　AVCHD™　HDMI